



TERIC



TERIC 操作手順



Powerful • Simple • Reliable



目次

目次	2
本書の読み方	4
1. はじめに	5
1.1. 本マニュアルに関する注意事項	6
1.2. モードの種類	6
2. 基本操作	7
2.1. 電源を入れる	7
2.2. ボタン	8
2.3. モードの変更	9
2.4. 所有者情報画面	9
2.5. Function (機能) ボタン	9
3. ダイビングモードインターフェイス	10
3.1. デフォルトのダイブ設定	10
3.2. ダイビングモードの区別	10
3.3. メイン画面のレイアウト	11
3.4. 詳細	12
3.5. 情報スクリーン	16
3.6. 情報スクリーンについて	17
3.7. メイン画面のカスタマイズ	21
3.8. 警報	22
4. 安全停止と減圧停止	24
4.1. 安全停止	24
4.2. 減圧停止	25
5. 減圧とグラディエントファクター	26
5.1. 減圧情報の正確性	27
6. ダイビングの例	28
6.1. OC Recダイビングの例	28
6.2. OC Tecダイビングの例	29
6.3. CCダイビングの例	31
6.4. ゲージモード	34
7. フリーダイビングモード	35
7.1. フリーダイビング用のデフォルトレイアウト	35
7.2. フリーダイビングモードの情報スクリーン	36
7.3. フリーダイビングセット	36

8. ダイブツール (Dive Tools)	39
8.1. コンパス	39
8.2. ログのタグ付け	41
8.3. 平均深度のリセット	41
8.4. 警報のテスト	41
8.5. 減圧プランナー	42
8.6. NDLプランナー	44
9. エアーインテグレーション (AI)	45
9.1. AIとは	45
9.2. AIの基本セットアップ	46
9.3. AI表示	49
9.4. 複数のトランスミッターの使用について	51
9.5. SACの算出	52
9.6. GTRの算出	53
10. 時計モード	54
10.1. 日付と時刻	54
10.2. 時計ツール	54
10.3. 文字盤の色	56
11. メニュー	57
11.1. メインメニュー	57
12. 設定について	64
12.1. ダイブ設定 (Dive Settings) メニュー	64
12.2. 減圧 (Deco) メニュー	69
12.3. ガス	70
12.4. セットポイント (Set Points)	71
12.5. AI	72
12.6. コンパス (Compass)	73
12.7. ディスプレイ (Display)	74
12.8. 時計 (Watch)	76
12.9. 一般情報 (General)	77
13. ファームウェアのアップデートとログのダウンロード	78
13.1. Shearwater Cloud Desktop	78
13.2. Shearwater Cloud Mobile	80
14. Tericのストラップ	81
15. 充電	81



16. トラブルシューティング	83
16.1. 警告と情報表示.....	83
16.2. AIの接続性の問題.....	84
17. 保管とメンテナンス	85
17.1. トランスミッターのバッテリー交換.....	85
18. サービス	85
19. 用語集	85
20. Tericの仕様	86
21. AIトランスミッターの仕様	87
22. 規制情報	87
23. お問い合わせ	88



危険

本コンピュータには、減圧停止要件を計算する機能が備わっています。この計算機能によって、実際に必要な減圧要件の最善値を割り出します。段階減圧を必要とするダイビングは、無減圧潜水時間内で行うダイビングに比べ、危険性が著しく高くなります。

リブリーザーや混合ガス、段階減圧を伴うダイビングおよびオーバーヘッド環境でのダイビングは、スクーバダイビングにおいて危険性が極めて高いものです。

実際に生命を危険にさらすことになるので十分にご注意ください。

警告

本コンピュータにはバグが存在します。全てを発見したわけではないため、バグは存在すると考えられるからです。そのため、本コンピュータでは思いがけない動作、または想定外の動作が確実に生じると考えられます。決して1つの情報源にのみ頼って生命を危険にさらすことがないようにしてください。別のコンピュータまたはテーブルを併用してください。危険を伴うダイビングを実施する場合は、適切なトレーニングを受けゆくりと経験を積み上げていくようにしてください。

本コンピュータは不具合が発生する可能性があります。不具合の発生の有無および発生時期については、分かりかねますので、決して本コンピュータのみを単体で使用しないでください。常に不具合が発生した場合の対処方法を用意しておくようにしてください。自動システムは知識やトレーニングに代わるものではありません。

生死を分けるのは科学技術ではなく、知識、スキル、熟練した対処法なのです（但し、ダイビングを行わない場合は当然除きます）。

本書の読み方

本書では、重要な情報をお知らせするために、次のような表示を用いています。



情報

情報欄には、Tericを最大限に活用するために役立つヒントが記されています。



注意

注意欄には、Tericの操作に関する重要な指示が記されています。



警告

警告欄には、あなたの身の安全に関わりうる重大な情報が記されています。



1. はじめに

Shearwater Tericは、あらゆる種類のダイビングに対応する高度な機能を備えたダイブコンピュータです。

ご使用前に必ず本書をご一読ください。Tericの画面を読み、内容を理解することで身の安全が確保できる場合があります。

ダイビングには危険が伴いますが、知識および教養を身につけることで、その危険性をうまく管理することができます。

本書を正規のダイビングトレーニングに代わって使用することや、トレーニングの範囲を逸脱したダイビングを行うことは決してしないでください。悲劇は、無知や無理解が原因で生じるのです。

特長

- ・ 色鮮やかな1.39インチフルカラーAMOLEDディスプレイ
- ・ 堅牢なステンレススチールベゼルとサファイアクリсталを使用
- ・ 200m / 650ftまでのクラッシュプルーフ
- ・ 別々に設定可能な5つのダイブモード
- ・ ダイビングモード別にカスタマイズ可能なレイアウト (2種)
- ・ スクーバモード別にカスタマイズ可能なガス (5種)
- ・ 酸素、窒素、ヘリウムのあるあらゆるコンビネーション (エア、ナイトロックス、トライミックス) に対応
- ・ 十分な減圧とCCRサポート
- ・ ビュールマンZHL-16Cグラディエントファクター
- ・ 減圧停止違反によるロック機能なし
- ・ CNSの計測
- ・ 素早いNDLプランナーと十分な減圧プランナーを搭載
- ・ 1~2本のタンク圧をワイヤレスで同時監視
- ・ 複数ディスプレイで表示可能な傾斜補正デジタルコンパス
- ・ フリーダイビング専用モード
- ・ カスタマイズ可能な警報音と振動
- ・ 高速深度サンプリング
- ・ 15種類のカラーで利用できる3種類の文字盤
- ・ BluetoothでダイブログをShearwater Cloudにアップロード
- ・ フォームウェア無料更新

YouTube

動画を参照してください。

[Teric操作手順](#)



1.1. 本マニュアルに関する注意事項

本マニュアルには、検索が簡単に行えるよう各セクション間に相互参照機能を取り入れています。






下線が引かれたテキストは別のセクションへのリンクがあることを示しています。

ご利用されるTericの設定は、変更によってもたらされる結果を理解してから変更するようにしてください。分からない場合は、マニュアルの該当セクションを参照してください。

本マニュアルは適切なトレーニングに代わるものではありません。

1.2. モードの種類

本マニュアルでは、時計モードのほかに5つのダイビングモードでの操作方法を解説します。

- ・ オープンサーキットレクリエーション (OC Rec) 
- ・ オープンサーキットテクニカル (OC Tec) 
- ・ クローズドサーキット / ペイルアウト (CC/B0) 
- ・ ゲージ (Gauge) 
- ・ フリーダイビング (Freedive) 

Tericでは、一部の機能は特定のダイビングモードにのみ適用されます。対応するモードのアイコンをマニュアル内で検索し、様々なモードでどの機能が利用できるか確認してください。

特に記載されていない場合は、説明されている機能がすべてのダイビングモードで利用できます。

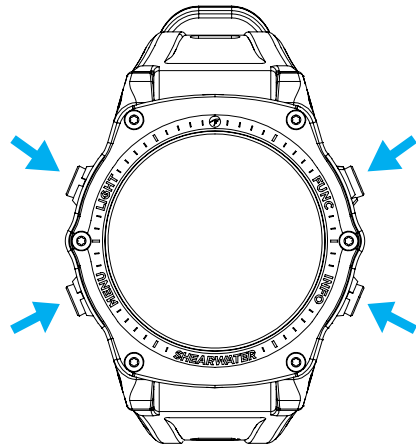
ダイブ設定 (Dive Settings) メニューからダイビングモードを変更してください。詳細は、64ページを参照してください。



2. 基本操作

2.1. 電源を入れる

Tericは、いずれかのボタンを押すと電源が入ります。



自動電源オン

Tericは、水中に入ると自動的に電源が入り、ダイビングモードになります。これは、水に対して反応しているのではなく、圧力の増加を基準に反応するからです。自動電源がアクティブであれば、前回設定したダイビングモードになります。

自動電源オンの詳細

Tericは、絶対圧が1,100ミリバール (mbar) を超えると自動的に電源が入り、ダイビングモードになります。

参考までに、通常の海面気圧は1,013mbarであり、1mbarの圧力は約1cm (0.4インチ) の水に相当します。従って、海拔面にいる時にTericを約0.9m (3ft) 水に沈めると、自動的に電源が入り、ダイビングモードになります。

これより高所にいる場合、さらに深い深度にならないければ、Tericの電源は自動的に入りません。例えば、高度2,000m (6500 ft) にいる時は、大気圧は約800mbarほどあります。そのため、この高度ではTericを300mbar分沈めなければ、絶対圧が1,100mbarに達しません。つまり、高度2,000mにいる場合、自動で電源が入るのは、水深約3m (10 ft) となります。



自動電源オン機能に依存しないようにしてください

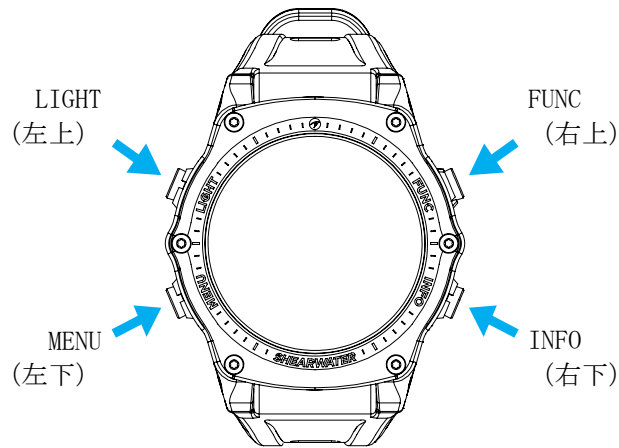
この機能は、Tericの電源を入れるのを忘れた時やダイビングモードに設定し忘れた時のためのバックアップとして用意されています。

Shearwaterでは、各ダイビングの前に手動でコンピュータの電源を入れ、ダイビングモードにするようお勧めしています。これによって、適切に動作するか確認できる上に、バッテリーの状態と設定も再確認できるからです。



2.2. ボタン

Tericはボタンを1回押すだけですべて操作できます。



以下に示されたボタン操作をすべて覚える必要はありません。「ボタンのヒント」に従って簡単に操作できます。

MENUボタン (左下)

メイン画面から > メニューに移動

メニューでは > メニュー項目を下に向かって移動

INFOボタン (右下)

メイン画面から > 情報スクリーンに移動

メニューでは > 前のメニューまたはメイン画面に戻る

LIGHTボタン (左上)

メイン画面から > 輝度 (Brightness) に移動

メニューでは > 次のメニュー項目を上に向かって移動

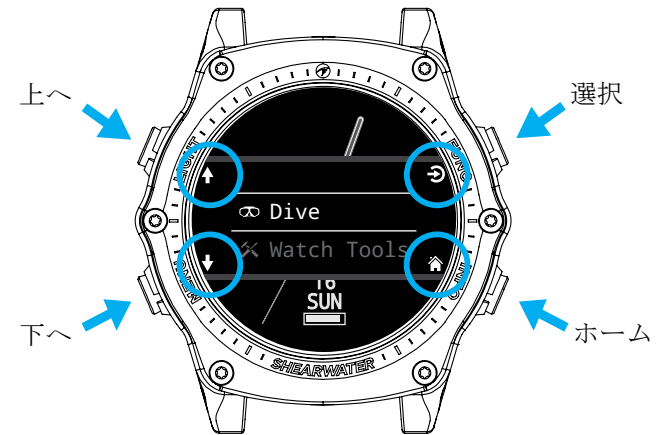
FUNCTIONボタン (右上)

メイン画面から > 設定可能なショートカット

メニューでは > メニュー項目の選択

ボタンのヒント

メニュー表示で、ボタンのヒントが各ボタンに表示されます。



上記の例では、各ヒントは次の意味になります。

- ・ LIGHTを使用してメニュー項目を上に向かって移動
- ・ MENUを使用してメニュー項目を下に向かって移動
- ・ FUNCを使用してメニュー項目を選択
- ・ INFOを使用してメイン画面に戻る

ボタンのヒントのアイコン





2.3. モードの変更

基本モードは、時計 (Watch) モードとダイビング (Dive) モードの2つです。時計モードは水面でのみ使用できます。

ダイビングモードへの切り替え

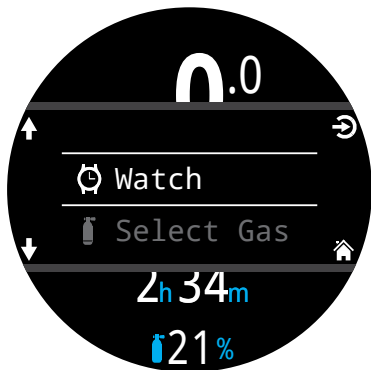


時計モードからダイビングモードに手で切り替えるには、Menuボタンを押してメインメニューからダイビング (Dive) を選択します。

ダイビングモードは、ダイビングが開始されると自動的に始動します。

ダイビングモードの変更については、64ページに記載してあります。

時計モードへの切り替え



ダイビングモードから時計モードへの切り替えは、Menuボタンを押してメインメニューから時計 (Watch) を選択します。

Tericは、水面で使用していない状態が15分経過すると、時計モードに戻ります。

2.4. 所有者情報画面

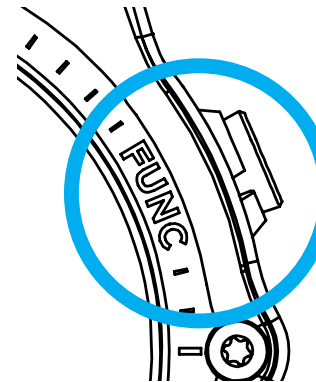


ダイビングモードになると、15秒間経過するかわずれかのボタンが押されるまで、所有者情報画面が表示されます。

所有者および連絡先は、ユーザー情報 (User Info) メニュー (77ページ) にて変更できます。

また、この画面では、現在の警告通知設定を確認して警告音がテストできます。警告通知設定は、警報 (Alerts) メニュー (67ページ) の最初の画面で変更できます。

2.5. Function (機能) ボタン



Function (右上) ボタンは、Tericで最も使用する機能に楽にアクセスできる、カスタマイズ可能なショートカットです。

各モードごとにその操作を個別にカスタマイズできます。

時計モードでは、設定 (Setting) > 時計 (Watch) でカスタマイズできます。

各ダイビングモードでは、設定 (Setting) > ダイビング (Dive) でカスタマイズできます。



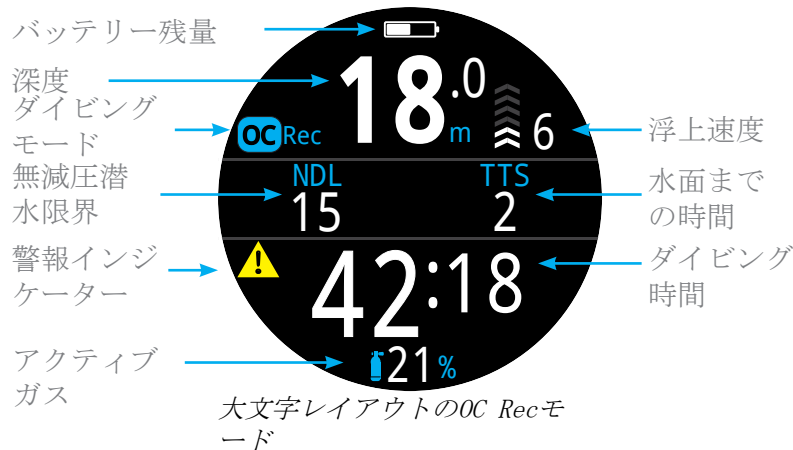
3. ダイビングモードインターフェイス

3.1. デフォルトのダイブ設定

Tericは事前にレクリエーションダイビングに設定されています。

Tericのデフォルトのダイビングモードは、「大文字」レイアウトを用いたオープンサーキットレクリエーション (OC Rec) に設定されています。

下記のデフォルトのダイビング画面をご覧ください。



このデフォルトモードの特性の多くは、他のダイビングモードに共通しています。次のセクションでは、各画面の構成要素について詳しく説明していきます。

この画面がダイビングの各段階を通してどの様に変化するの
かについては、28ページの「OC Recダイビングの例」をご覧ください。



3.2. ダイビングモードの区別

各ダイビングモードは、特定の種類のダイビングに最適になるよう設計されています。

OC Rec

レクリエーションダイビングである
無減圧潜水用です。

- ・ ナイトロックスのみ (ヘリウムなし)
- ・ 安全停止
- ・ 警告を強化

OC Tec

計画的な減圧を含むテクニカルダイビング用です。

- ・ 全てのトライミックス
- ・ 安全停止なし
- ・ 大文字レイアウト、TTSを恒久的に表示

CC/B0

クロズドサーキットリブリーザー用です。

- ・ クロズドサーキットからオープンサーキット (B0) への素早い切り替え
- ・ CCとB0の各ホーム画面がカスタマイズ可能

ゲージ

ゲージ (Gauge) モードでは、Tericに深度と時間 (別名ボトムタイマー) だけが表示されます。詳細は、34ページを参照してください。

- ・ 組織追跡なし
- ・ 減圧情報なし

フリーダイビング

フリーダイビングに最適。詳細は、35ページを参照してください。

- ・ フリーダイビングセット

ダイブ設定 (Dive Settings) メニューからダイビングモードを変更してください。詳細は、64ページを参照してください。

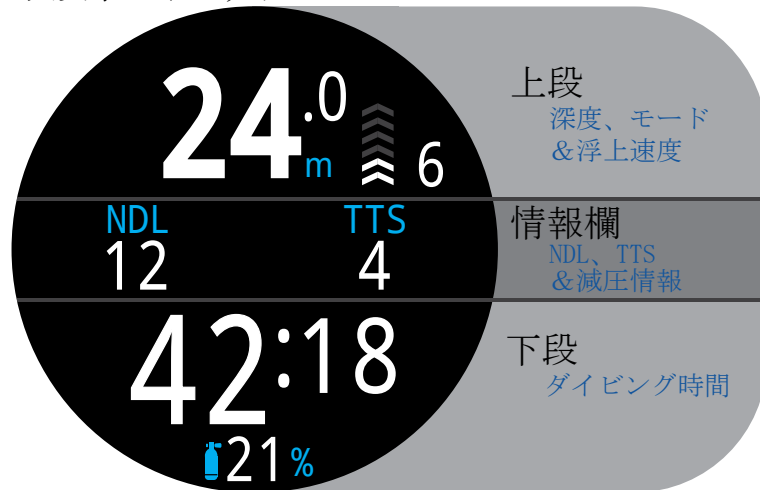


3.3. メイン画面のレイアウト

Tericでは、各ダイビングモードで、**大文字 (Big)**と**標準 (Standard)**の2種類の画面レイアウトが利用できます。

ダイブ設定 (Dive Settings) メニューからスクリーンレイアウトを変更してください。詳細は、64ページを参照してください。

大文字レイアウト



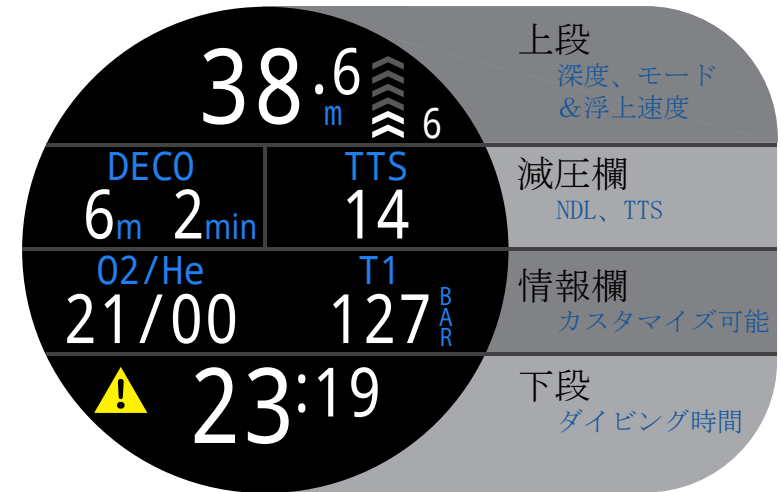
大文字レイアウトでは、画面上に一部の情報を表示しない代わりに、文字のフォントサイズを大きくしています。

上段と下段に最も重要な情報が固定表示され、INFOボタンを押すと情報欄に別のデータがスクロール表示されます。

一部のモードでは、右側の情報欄はカスタマイズできます。詳細は、詳細は、21ページの「メイン画面のカスタマイズ」をご覧ください。

大文字レイアウトは0C Rec、フリーダイビング、ゲージモードのデフォルトレイアウトとなっています。

標準レイアウト



標準レイアウトでは、文字のフォントサイズを小さくする代わりに、重要な情報を4段で表示します。

上段、下段、減圧欄に最も重要な情報が固定表示され、INFOボタンを押すと情報欄に別のデータがスクロール表示されます。

情報欄は最大3種類の情報までカスタマイズできます。詳細は、詳細は、21ページの「メイン画面のカスタマイズ」をご覧ください。

標準レイアウトは0C TecとCC/B0のデフォルトレイアウトとなっています。



3.4. 詳細

上段

上段には深度、浮上速度、バッテリー、モード情報が表示されます。



深度

小数点第1位までをフィートまたはメートルで表示します。






注記：もし深度が赤色のゼロで点滅する場合、または水面で深度が表示される場合は、深度センサーの点検を行ってください。

浮上速度の表示

現在の浮上速度がグラフと数字を用いて表示されます。


矢印1つで3m/分 (mpm) または10 f /分 (fpm) の浮上速度を表します。


-  白色は9mpm/30fpm以下の速度 (矢印1~3つ)
-  黄色は9mpm/30fpm以上18mpm/60fpm未満の速度 (矢印4~5つ)
-  赤色点滅は18mpm/60fpm以上の速度 (矢印6つ)

注記：減圧計算は、浮上速度を10mpm (33fpm) で計算しています。

フリーダイビングモードの浮上/潜降速度表示 FD

フリーダイバーはスクーバダイバーよりも早い速度で浮上します。そのため、フリーダイビングモードの浮上速度は分速ではなく、メートル/秒 (mps) またはフィート/秒 (fps) で測定されます。

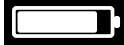


 フリーダイビングモードでは、矢印1つで0.3mps/1fpsの浮上速度を表します。

 浮上速度に加えて潜降速度も表示されます。

詳細は、35ページの「フリーダイビングモード」をご覧ください。







バッテリーアイコン

水面ではバッテリーアイコンが表示されますが、ダイビングの際には消えます。ダイビング中は、ローバッテリーまたは深刻な状況になるとバッテリーアイコンが表示されます。

-  白色であればバッテリー交換不要
-  黄色の場合にはバッテリー交換の必要あり
-  赤色はすぐにバッテリーを交換してください

ダイビングモードインジケーター

ダイビングモードインジケーターは、水面でのみ表示されません (CC&BOモードは除く)。

-  オープンサーキットレクリエーション (OC REC)
-  オープンサーキットテクニカル (OC TEC)
-  クローズドサーキット
-  ベイルアウト (CC/BOモードで利用可)
-  フリーダイビングモード
-  ゲージモード



減圧欄



減圧欄は標準レイアウトの場合のみ表示されますが、下記で説明する減圧欄の情報は、大文字レイアウト時に情報欄の最初のページに表示されます。

無減圧潜水限界 (NDL)



現在の深度で減圧停止が必要になるまでの残り時間が分単位で表示されます。



NDLが5分未満になると、黄色で表示されます。

減圧停止深度と時間

強制減圧停止が必要になると、NDLは減圧情報に切り替わります。



浮上可能な最も浅い深度と停止すべき時間です。

デフォルトでは、Tericは3m(10ft)を最終停止深度に設定してあります。この設定で、ダイバーが6m (20ft) で最終停止を実行してもペナルティにはなりません。唯一の違いは、ガスの排出が予想よりも遅くなることで、予測される水面までの時間 (TTS) が実際のTTSよりも短くなってしまいます。必要であれば、最終停止を6m (20ft) に設定することもできます。

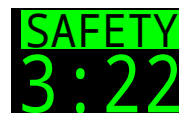
詳細は、25ページの「減圧停止」セクションを参照してください。

減圧クリアカウンタ



OC TecおよびCC/BOモードでは、減圧クリアカウンタがDECO欄に表示され、減圧がクリアされてきた時間をゼロから数え上げて行きます。

安全停止カウンタ



OC Recモードでは、安全停止圏内にいる時に、安全停止カウンタが自動的にカウントダウンします。安全停止が完了すると「クリア」と表示されます。



詳細は、24ページの「安全停止」セクションを参照してください。

水面までの時間 (TTS)



水面までの時間を分で表示しています。浮上に必要な減圧停止と安全停止をすべて加えた、現在時点での水面まで浮上する時間のことです。



減圧停止、NDL、水面までの時間を含めたすべての減圧情報は、以下を前提に予測されます。

- ・ 浮上速度10mpm/33fpm
- ・ 減圧停止の順守
- ・ プログラム通りの適切なガスの使用

詳細は、26ページの「減圧とグラディエントフアクター」をご覧ください。



情報欄

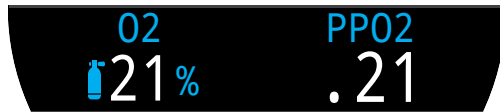
情報欄は大文字レイアウトの場合は中段、標準レイアウトの場合は三段目にあります。情報欄の情報はカスタマイズ可能です。詳細は、21ページの「メイン画面のカスタマイズ」を参照してください。

大文字レイアウトの場合、情報欄には13ページの「減圧欄」セクションに記載されている通り、減圧情報が表示されま



OC Recモードのデフォルトの情報欄。大文字レイアウト

標準レイアウト時の情報欄の初期設定は、ダイビングモードによって異なります。



OC Recモードのデフォルトの情報欄。標準レイアウト



OC Tecモードのデフォルトの情報欄。標準レイアウト



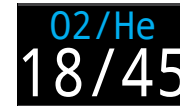
CC/B0モードのデフォルトの情報欄。標準レイアウト

アクティブガス

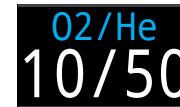
標準的な3つのレイアウト例の全てにおいて、最初の情報欄はアクティブガスとなっています。



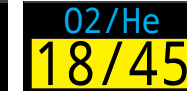
OC Recモードでは、使用しているガスの酸素の割合が表示されます。



OC Tecモードでは、酸素の濃度ならびにヘリウムの濃度が表示されます。



CC/B0モードでは、アクティブガスはディリュエントガスのことを指します。



より望ましいガスがある場合、アクティブガスは黄色で表示されます。

酸素分圧 (PP02)



現在呼吸しているガスの酸素分圧です。カスタマイズ可能なPP02の限界値から外れた時は、**赤色点滅**で表示されます。



詳細は、68ページの「PP02限界値」をご覧ください。

CC内部セットポイント (SP)

内部セットポイントの高低は色別で表示されます。



ハイセットポイントは緑色



ローセットポイントはマジェンタ



下段

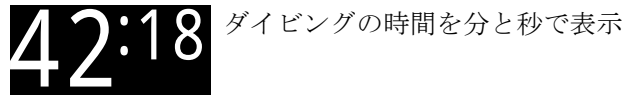


OC Recモードでダイビング中の下段



CC/B0モードの水面時の下段

ダイビング時間



ダイビングの時間を分と秒で表示

水面休息 (SURFACE)



水面では、ダイビング時間が水面休息表示に切り替わります。

最終ダイビングの終了からの経過時間が分と秒で表示されます。

1時間以上経過すると、時間と分で表示されます。4日経過すると、日数で表示されます。



減圧組織がクリアになると水面休息はリセットされます。

アクティブガスとセットポイントの代替位置

情報欄に呼吸しているアクティブガス（またはディリユエントガス）または現在の内部セットポイントが表示されない時は、これらの値は下段に表示されます。

アクティブガスの代替位置は、表示の一番下になります。

セットポイントの代替位置は、下段の右端になります。

通知設定アイコン

オンになっている通知を表します。水面でのみ利用できます。



警報音のみ



振動のみ



警報音と振動



停止

警報インジケータ



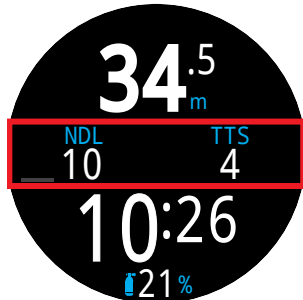
警告状態が続いていることを表します。

コンピュータが高PP02など危険な状況を検知すると、警告が発令されます。重要警報の最初は無視できますが、一部の危機的な状況では、警告の原因となる状況が解決されるまでこの警告アイコンが表示され続けます。[詳細は、22ページの「警報」セクションをご覧ください。](#)



3.5. 情報スクリーン

情報スクリーンには、メイン画面より情報が多く表示されます。



大文字レイアウトでの情報欄の位置



標準レイアウトでの情報欄の位置

メイン画面からは、INFO (右下) ボタンで情報スクリーンを順に移動します。

全ての情報スクリーンが表示された際、INFOをもう一度押すとメイン画面に戻ります。

また、MENU (左下) ボタンを押せばいつでもメイン画面に戻ります。

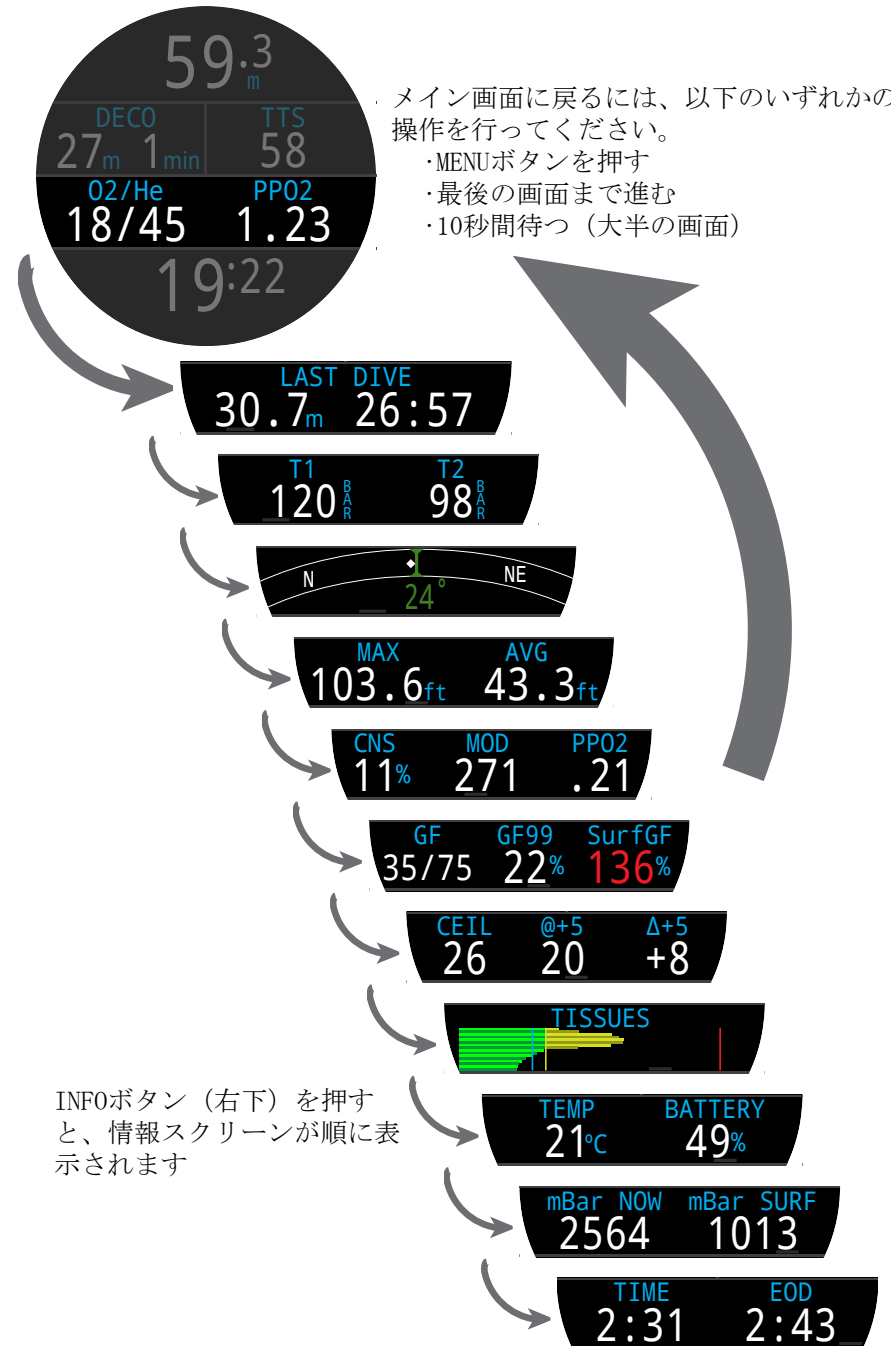
情報スクリーンは10秒で自動的にタイムアウトしてメイン画面に戻ります。これにより、重要なNDLや減圧、TTSの情報が長時間にわたって表示されないようになります。

標準レイアウトを使用している時は、AIやコンパス、組織情報スクリーンは自動的にタイムアウトします。

こうしたスクリーンはTericの代表的な表示画面ですが、情報スクリーンの内容は各モードごとに異なります。例えば、減圧に関連する情報スクリーンは、ゲージモードでは利用できません。

メイン画面に戻るには、以下のいずれかの操作を行ってください。

- ・MENUボタンを押す
- ・最後の画面まで進む
- ・10秒間待つ (大半の画面)



INFOボタン (右下) を押すと、情報スクリーンが順に表示されます



3.6. 情報スクリーンについて

最後のダイビング情報



最後のダイビングでの最大深度とダイビング時間です。水面でのみ利用できます。

エアーインテグレーション (AI)

AI機能がオンになっている場合にのみ利用できます。AI情報の内容は、現在の設定に自動的に調整されます。



T1のみ



T1>R/SAC



T1&T2

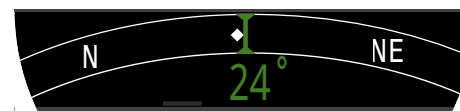


T1、T2>R/
SAC

タンク内の残圧時間 (GTR) とSACはシングルタンク (選択可能) でのみ利用でき、減圧時にはGTRは利用できないのでご注意ください。

AI表示に関する詳細は、49ページの「AI表示」をご覧ください。

コンパス



マークした方位は緑色に、逆方位は赤色になります。コースから5°以上外れると、緑色の矢印がマークした方位を指します。

標準レイアウトでは、コンパス情報はタイムアウトしません。コンパス機能がオンになっている場合にのみ利用できます。

コンパスのキャリブレーションおよび利用に関する詳細は、[セクション8.1](#)を参照してください。

最大深度 (MAX)



現在のダイビングにおける最大深度です。ダイビングを行っていない場合は、最後のダイビングでの最大深度が表示されます。

平均深度 (AVG)



現在のダイビングにおける平均深度が表示され、毎秒更新されます。ダイビングを行っていない場合は、最後のダイビングでの平均深度が表示されます。

最大行動深度 (MOD)



OCモードでは、MODはPP02の限界値によって決定するため、現在の呼吸ガスの最大許容深度となります。

CCモードでは、MODはディリュエントの最大深度となります。

この数値を超えると赤色で点滅します。

詳細は、68ページの「PP02限界値」をご覧ください。



ディリュエントでの酸素分圧 (PP02) CC

Di1P02
.21

Di1P02は、ディリュエントガスでのPP02を表示します。カスタマイズ可能なPP02限界値から外れた時は、赤色点滅で表示されます。

Di1P02
1.77

マニュアル通りにディリュエントが点滅する場合は、現在の深度で予測されるPP02を知るためにこの値を確認します。

CNS中毒パーセンテージ (CNS)

CNS
11%

中枢神経系酸素中毒に対する負荷のパーセンテージです。90%を超えると黄色に変わります。150%を超えると赤色で表示されます。

CNS
101%

CNS%は水面でスイッチが切られても計算し続けます。減圧組織がリセットされた場合には、CNSもリセットされます。

CNS値 (中枢神経系酸素中毒の略) とは、上昇した酸素分圧 (PP02) にどれくらい長く曝露されたのかを、許容される最大曝露に対するパーセンテージで測定した値です。PP02が上昇すると、許容される最大曝露時間が低下します。Tericでは、NOAAダイビングマニュアル (第4版) のテーブルを使用しています。コンピュータはこれらの値を線形補間し、さらにその値を超える場合は必要に応じて推定します。PP02が1.65ATAになると、CNS値が4秒ごとに1%の定率で増加します。

ダイビング中にCNSが低下することはありません。水面に戻った時の半減期としては90分を適用します。従って、例えばダイビング終了時にCNSが80%であった場合、90分後にCNSは40%になります。さらに90分以上経過すると20%になるなど、通常は半減期6回 (9時間) で、すべてが平衡 (0%) に戻ります。

グラディエントファクター (GF)

GF
35/75

減圧モデルがGFにセットされている場合の減圧の保守性です。ローとハイのグラディエントファクターにより、ビュールマンGFアルゴリズムの保守性をコントロールします。詳細は、Erik Baker氏の「Clearing Up The Confusion About Deep Stops」を参照してください。

GF99

GF99
22%

現在のグラディエントファクターのパーセンテージ (過飽和パーセント勾配)

0%は、先行する組織の過飽和が周囲圧と等しいことを示します。吸気された不活性ガスの圧力より組織間張力が低い場合、「On Gas」と表示されます。

100%は、先行する組織の過飽和が、ビュールマンZHL-16Cモデルの元のM値限度と等しいことを示します。

GF99は、現在のグラディエントファクターで変更されたM値を超過した場合、赤色で表示されます。

水面GF (SurfGF)

SurfGF
136%

ダイバーが瞬時に水面に浮上した場合に考えられる浮上グラディエントファクターです。

SurfGFは、現在のグラディエントファクターで変更されたM値を超過した場合、黄色で表示されます。100% (M値の変更なし) を超過した場合、赤色で表示されます。



シーリング (CEIL)

CEIL
8

現在の減圧シーリングは、次に深い停止に四捨五入されません（つまり、3mや10mの倍数ではありません）。

@+5

@+5
20

「At plus 5」の略で、現在の深度に5分以上留まる場合のTTSです。これによって、ダイバーがどの位の速度でガスを吸収し排出しているのかが測れます。

Δ+5

Δ+5
+8

5分以上現在の深度に留まった場合に予測されるTTSの変更です。

「デルタプラス5」と正数の場合は、先行する組織にガス吸入しており、負数の場合は先行する組織からガス排出していることを示します。

温度 (TEMP)

TEMP
21°C

現在の温度を摂氏または華氏で表示します。単位は画面設定メニューで設定できます。

バッテリー (BATTERY)

BATTERY
49%

Tericでは、バッテリーの残量がパーセンテージで表示されます。

バッテリーの残量が少なく、充電が必要になると、黄色で表示されます。バッテリーの残量が極めて少なく、すぐに充電しなければならない場合は赤色で表示されます。

圧力

mBar NOW mBar SURF
2564 1013

ミリバールで圧力を表示します。水面の圧力 (SURF) と現在の圧力 (NOW) の2つの値が表示されます。

海拔面での標準的な圧力は1013ミリバールですが、天気によって変動します (気圧)。例えば、低気圧の時は水面での圧力が980ミリバール程度まで下がり、高気圧の時は1040ミリバール程度まで上がります。

このため、表示されている水面でのPP02はF02 (O2のフラクション) と完全には一致しない可能性があります。表示されているPP02は正しい値となります。

水面での圧力は、ダイビング開始前の10分間にTericが検知する最も低い圧力を基に設定されます。

時間 (TIME)

TIME
2:31

12時間または24時間制で表記されます。時間表記は時計設定メニューで変更できます。

ダイビング終了時間 (EOD)

EOD
2:43

これはTTSと似ていますが、時刻として表示されます。

すぐに出発して10mpmまたは33fpmの速度で浮上し、必要に応じてガスを変更し、指示通りに全ての減圧停止を行った場合に考えられる時刻です。



組織バーグラフ (TISSUES)



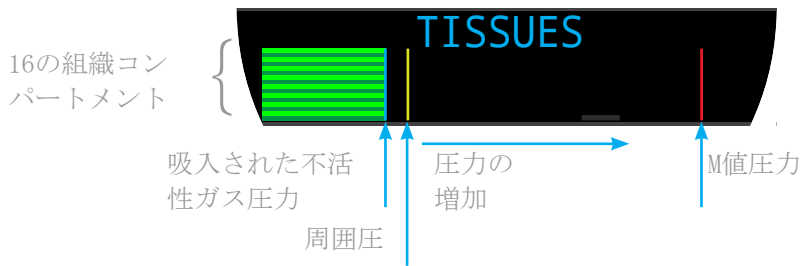
組織バーグラフは、ビュールマンZHL-16Cモデルを基に組織を構成する不活性ガス組織の張力を示します。

最も早い組織コンパートメントが最上段に、最も遅いものが最下段に表示されます。各バーは、窒素とヘリウムの不活性ガス張力を合わせた合計となります。右へ行くほど圧力が増加します。

垂直のシアン色のラインは吸入された不活性ガスの圧力を示します。黄色のラインは周囲圧を表します。赤色のラインはZHL-16CのM値の圧力となります。

周囲圧を超えて過飽和となっている組織は黄色で表示され、M値を越えて過飽和となっている組織は黄色で表示されます。

各組織コンパートメントの尺度は異なるので注意してください。バーがこのような縮尺される理由は、組織張力は危険であると視認させるためです（つまり、ビュールマンのオリジナル過飽和限界のパーセンテージにどれだけ近づいているか）。また、M値が深度により異なるので、この尺度も深度により異なります。



組織バーグラフのサンプル



水面（空気で飽和）
注記：ガスは窒素79%（酸素または空気21%）



潜降直後



ガス吸入中



ディープストップ



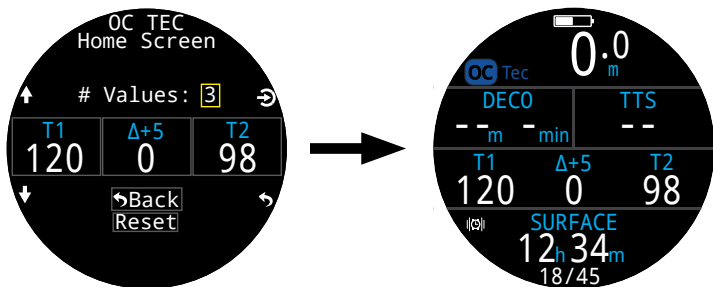
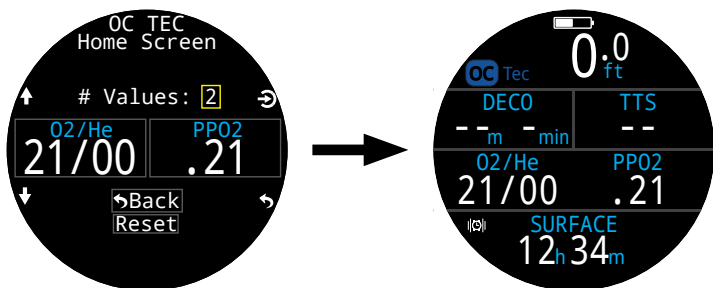
最後の減圧停止
注記：現在のガスは酸素50%、窒素50%



3.7. メイン画面のカスタマイズ

標準レイアウトでは、メイン画面（最初のページ）の情報欄を1~3項目でカスタマイズできます。

各ダイビングモードのメイン画面は個別にカスタマイズできます。



オープンサーキットレクリエーションモードでは、中段の右部分もカスタマイズできます。



メイン画面のカスタマイズ方法に関する詳細は、65ページをご覧ください。

メイン画面のカスタマイズオプション

オプション	情報画面	オプション	情報画面
現在のガス	O2/He 18/45 O2 21%	T1 圧力	T1 120
PP02	PP02 .21	T2 圧力	T2 120
CNS %	CNS 11%	GTR	GTR 45
MOD	MOD 57	SAC	SAC 1.1
減圧保守性	GF 35/75	Tx>R	T1 120 GTR 45
GF99	GF99 22%	Tx&SAC	T1 120 SAC 1.1
シーリング	CEIL 8	GTR&SAC	GTR 45 SAC 1.1
@+5	@+5 20	T1&T2	T1 120 T2 98
Δ+5	Δ+5 0	時刻	TIME 2:31
組織	TISSUES	日付	DATE MAY-30
水面GF	SurfGF 136%	ストップウォッチ	STOPWATCH 4:57
TTS	TTS 14	ダイビングの終了	EOD 2:43
NDL	NDL 20	t@最大深度	t@MAX 12:14
セットポイント	SP 1.3	温度	TEMP 21°C
Di1. PP02	Di1PP02 .21	コンパス°	Compass 55°
最大深度	MAX 31.6m	バッテリー %	BATTERY 49%
平均深度	AVG 13.3m	現在のmBar	mBar NOW 2564
		水面のmBar	mBar SURF 1013



3.8. 警報

このセクションでは、警報の種類とダイバーへの知らせ方について説明します。

警報の一覧については、83ページの「警告と情報表示」を参照してください。

警報の種類

ダイビング関連の事象

重要性の低いダイビング関連の事象について知らせます。



特に対処する必要はありません。

4秒後にタイムアウトするか、いずれかのボタンを押すと消えます。

警告

安全性に関わる重要な情報を知らせます。



すぐに対処しない場合、生命が危険にさらされる場合があります。

この警告は、手動でのみ解除できます。いずれかのボタンを押して警告を確認し、解除してください。



一部の危機的な状況では、危険な状況が解消されるまで、警報インジケーターがスクリーン上に表示され続けます。

エラー

システムエラーを知らせます。



エラーは、システムの予期せぬ行動を表します。システムエラーが生じた場合は、Shearwaterまでお問い合わせください。

色分け表示機能

文章の色を分けることで、問題や危険な状況に対する注意を促しています。

白色の文字は初期設定で、通常の状態を表しています。

この通常の状態の色は、設定 (Settings) > 表示 (Display) > 色 (Colors) メニューで選択できます。

黄色は、直ちに危険というわけではありませんが、対処すべき警告であることを表しています。



警告例 - より適したガスがあります

赤色の点滅は、直ちに解決されなければ致命的になり得る重大な警告であることを表しています。



重大な警告例 - このガスを呼吸し続けると命の危険にかかります

色覚異常のユーザーの方へ

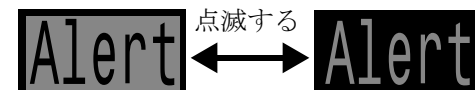
警告または重大な警告は、色を使用しなくても識別できます。

警告は、背景が反転したままの状態が表示されます。



点滅しません。

重大な警告は、反転と通常を表示を繰り返して点滅します。





警告が継続する場合

コンピュータが高PP02など危険な状況を検知すると、警告が発令されます。重要警報の最初は無視できますが、警告の原因となる状況が解決されるまでこの警告インジケータが表示され続けます。



警告アイコンが表示されている間にMENUボタンを押すと、現在継続している警告が優先度順に記載された一覧が表示されます。

もう一度MENUボタンを押すと、通常のメインメニューに移動します。



警報音&振動

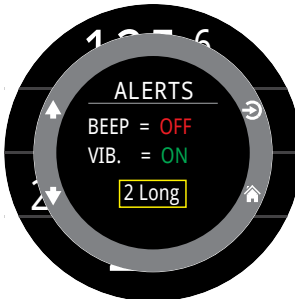
Tericには、視覚的な警告に加えて音と振動による警告もあり、警告やエラー、ダイビング事象などをいち早く知らせることができるようになっています。

警告通知は、メイン (Main) メニュー > 警報 (Alerts) で設定できます。

Teric利用者は、ダイビング中に受けるであろう警報通知の種類を知っておくことが大切です。現在選択されている警告通知は以下の画面で確認できます。

- ・ 所有者情報画面
- ・ 水面スクリーン

また、警報テスト (Test Alert) ツールがダイブツール (Dive Tool) メニューで利用できます。警報音と振動が適切に機能するよう、ダイビングの前に必ず使用して確認するようにしてください。



警報の限界

全ての警告システムには共通して弱点があります。

エラー状態が存在しないのに警告を作動 (偽陽性) する場合や、実際にはエラー状態にあるのに警告を作動 (偽陰性) する場合があります。

従って、気づいた場合にはこれらの警告に必ず対応すべきですが、依存してはいけません。ご自身の判断、教養、経験が最高の自衛策となります。不具合に備え、徐々に経験を積み重ね、ご自身の経験内でダイビングを行ってください。



警報音や振動が必要でない場合は、どちらも簡単に停止できます。





4. 安全停止と減圧停止

安全停止および減圧停止とは、水面への浮上中に行う休止のことで、減圧症（DCI）のリスクを軽減できます。

4.1. 安全停止

安全停止とは、全てのダイビングで水面への浮上前に任意で行う停止のことです。安全停止は、3分または4分、5分に固定したり、ダイビング条件に応じて調整するように設定したり、完全にスイッチをオフにすることもできます。「減圧設定」を参照してください。

Tericでは「ディープセーフティストップ」を行いません。つまり、無減圧ダイビングからの浮上時には、15～18m（50～60ft）周辺でさらに停止することはありません。

安全停止は次のように機能します。

必要な安全停止

深度が11m（35ft）を超えると、安全停止が必要になります。安全停止の深度内でも6m（20ft）より浅い場合は、警報が発令されます。



自動カウントダウン

深度が6m（20ft）より浅くなるとカウントダウンが開始されます。



カウントダウンは、深度が2.4～8.3m（7～27ft）の範囲にいる間続きます。



カウントダウンの中断

深度が2.4～8.3m（7～27ft）の範囲を逸脱すると、カウントダウンが中断され、残り時間が黄色で表示されます。



安全停止の完了

カウントダウンがゼロになると表示が「クリア（Clear）」に変わり、水面まで浮上できます。



カウントダウンのリセット

カウントダウンは、深度が再び11m（35ft）を超えるとリセットされます。

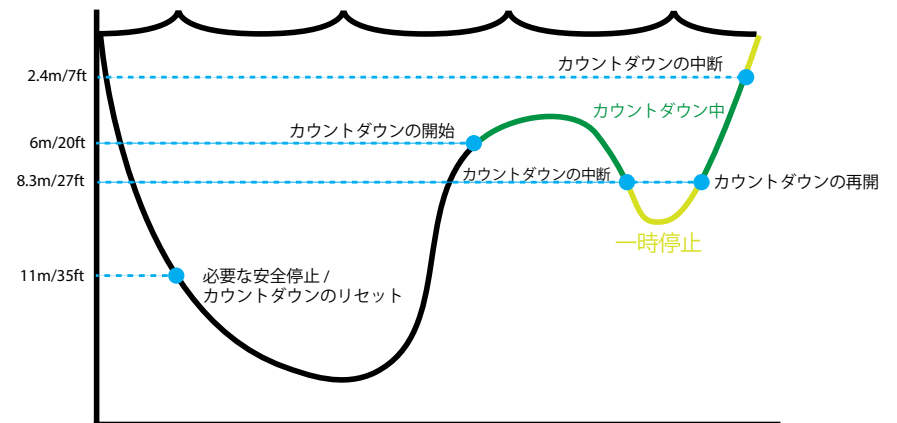


違反に対するロック機能はありません

安全停止は任意であるため、違反してもロックされず、他のペナルティも課されません。

安全停止のカウントダウンが終了する前に水面まで浮上した場合、安全停止が一時停止して表示されますが、ダイビングを終了すると消えます。

安全停止により減圧症のリスクが軽減される上に、時間もわずしかかからないため、安全停止を行うようお勧めします。



安全停止の閾値（ノンスケール）



4.2. 減圧停止

減圧停止は、減圧症（DCI）のリスクを軽減するために従うべき強制的な停止です。



トレーニング範囲を逸脱したダイビングは行わないでください

減圧は、適切なトレーニングを受けた場合に限って行うようにしてください。

洞窟または沈船や減圧要件によって何らかのシーリング（天井）が頭上にあるようなダイビングでは、危険性が著しく高くなります。不測の事態に対する対処策を立て、1つの情報源にのみ依存することがないようにしてください。

減圧停止は、3m（10ft）間隔で行います。

減圧停止は以下のように表示されます。

NDLの表示位置の切り替わり

NDLがゼロになると、減圧停止情報は標準レイアウトでは減圧欄の左側に、大文字レイアウトでは情報欄メイン画面の左側に位置が切り替わります。



OC Recモードでは、減圧の義務はレクリエーションダイビングにおける緊急事態であるため、安全停止の表示が赤色になります。



必要な減圧停止

減圧停止が必要な時は、警告が表示されます。



減圧停止違反

減圧停止よりも浅い深度まで浮上したものの、現在のシーリングよりも深い深度であった場合は、停止情報が黄色で表示されます。

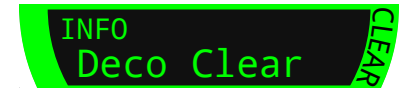


現在のシーリングよりも浅い深度まで浮上した場合は、赤色で表示されます。停止に著しく違反すると、「停止ミス（MISSED STOP）」（停止を怠った）警告が発生します。



減圧停止の完了

OC Tecモードでは、全ての減圧停止が終了すると、「減圧クリア（Deco Clear）」と表示されます。



有効であれば、減圧クリアカウンタがゼロからカウントを開始します。

OC Recモードでは、減圧停止が終了すると、安全停止がカウントダウンを開始します。

安全停止または減圧停止カウンタがオフの場合、画面には「クリア（Clear）」と表示されます。



減圧停止違反によるロック機能なし

減圧停止違反に対するロックやその他のペナルティはありません。

計画的な減圧に違反したとしっかり警告することで、ダイバーがトレーニングに基づいて意思決定できるよう目指しています。

ダイビング保険業者への連絡、最寄りの病院または再圧チャンバーへの相談、トレーニングに基づく応急処置の実施などを行ってください。



5. 減圧とグラディエントファクター

本コンピュータで使用される基本的な減圧アルゴリズムは、ビュールマンZHL-16Cです。これにErik Baker氏によって開発されたグラディエントファクターを用いて変更を加えています。同氏のアイデアを取り入れて弊社独自のコードを作成しています。我々は減圧アルゴリズムの啓蒙におけるErik氏の功績に敬意を表しますが、弊社が構築したコードについて同氏はいかなる責任も負わないものとします。

本コンピュータは、様々な保守性レベルを生み出すグラディエントファクターを実装しています。保守性のレベルは、30/70のような数字のペアになります。この意味については、Erik Baker氏が執筆した『Clearing Up The Confusion About “Deep Stops”』と『Understanding M-values』を参照してください。これらの記事はウェブで閲覧できるようになっています。また、ウェブでも「グラディエントファクター」を検索できます。

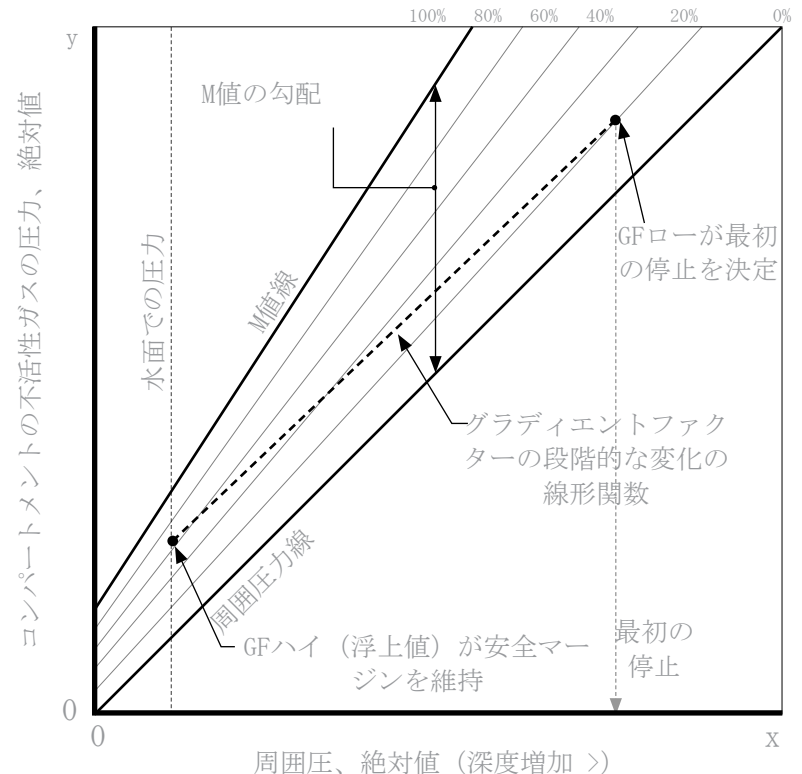
システムのデフォルトは、ダイビングモードによって異なります。

OC Recモードでは、保守性は中程度（40/85）にデフォルト設定されています。

OC TecモードならびにCC/B0モードでは、減圧の一部が推測されているため、30/70とより高い保守性でデフォルト設定されています。システムには、デフォルトよりも積極的な設定がいくつかあります。

影響を理解せずに、GFの値を変更しないでください。

Erik Baker氏のClearing Up The Confusion About “Deep Stops” より抜粋
圧力グラフ：グラディエントファクター



- ・ グラディエントファクターは、M値勾配の小数（またはパーセンテージ）です。
- ・ グラディエントファクター（GF）の範囲は、0%から100%の間です。
- ・ グラディエントファクター0%は、周囲圧線を表します。
- ・ グラディエントファクター100%は、M値線を表します。
- ・ グラディエントファクターでは、減圧範囲内でより安全性を重視するため、元のM値計算式に変更を加えています。
- ・ 最初の停止深度は、グラディエントファクターの低い方の値（GF ロー）を基に決定されます。かつては、「可能な限り深い減圧停止」の深度に対してディープストップが割り出されていました。
- ・ 水面での組織の過飽和は、グラディエントファクターの高い方の値（GF ハイ）を基に決定されます。



5.1. 減圧情報の正確性

NDLや停止深度、停止時間、TTSを含め、本コンピュータで表示される減圧情報は予測値です。これらの値は計算され続けており、状況の変化に応じて値が変わります。こうした予測値の正確性は、減圧アルゴリズムが行ういくつかの前提に左右されます。こうした前提を理解して、減圧予測を正確に行うことが重要です。

浮上速度は10m/分 (33ft/分) となります。浮上速度がこれより著しく速い場合または遅い場合は、減圧の義務に影響を及ぼします。また、現在オンにしているガスは全て使用を目的として背負っていると考えます。使用しないガスをオンのままにしておくと、水面までの時間や減圧停止、減圧時間情報が誤って表示されることになってしまいます。

浮上時は、OC 減圧 PP02 (OC Deco PP02) の値 (デフォルト 1.61) 以下で最も高いPP02のガスを使用して減圧停止を行うと見なされます。より利用に適したガスがある場合、現在のガスは黄色で表示され、ガスの変更が望ましいことを知らせます。表示される減圧予測は、常に最適なガスを使用することが前提となっています。最適なガスへの切り替えができていなくても、減圧予測はその後5秒以内に切り替えが行われるものとして表示されます。

コンピュータが最適なガスへの切り替えを促した際に切り替えない場合、減圧停止が予定よりも長くなるだけでなく、水面までの時間予測が不正確になる可能性があります。

例：45/85のGF設定で、水深40m/131ftまで40分間の減圧ダイビングを行う際に、コンピュータに2つのガスを21/00 & 99/00でプログラムしてオンにした場合を取り上げます。この場合、減圧スケジュールは、6m/20ftに浮上するまでの潜降、最大深度、浮上の各段階で酸素21%を呼吸することを前提に計算されます。6m/20ft時点で、99/00のPP02が1.606 (1.61以下) となるため、これが利用できる最適な減圧ガスとなります。

残りの停止に関する減圧情報は、この最適なガスへの切り替えを行うことが前提で計算され、表示されます。このダイビング内容でいくと、停止は6m/20ft地点で8分間と3m/10ft地点で12分間となります。99/00への切り替えを行わない場合、コンピュータは適切なガス排出が行われるまでダイバーが浮上するのを許可せず、なおかつダイバーがガス切り替えを行うものとみなし続けるため、所定の減圧時間が極めて不正確になります。各停止をクリアするには、6m/20ftでは19分、3m/10ftでは38分かかることとなります。その結果、浮上するのに全部で37分の差が生じます。

ガスを使いきってしまう状況やダイビング前に背負わないガスをオフにし忘れた場合は、メイン (Main) メニュー > ガスの編集 (Edit Gases) より、ダイビング中にガスをオフにすることができます。



6. ダイビングの例

6.1. OC Recダイビングの例

ここでは、OC Recモードで大文字レイアウト設定を用いた場合のシンプルな無減圧ダイビングで見られる表示例を示します。

1. ダイビング前 - これは潜降直前の水面スクリーンです。水面では、OC Recアイコンがシアン色で表示され、バッテリー残量は約半分を示し、警報は音と振動が設定されています。

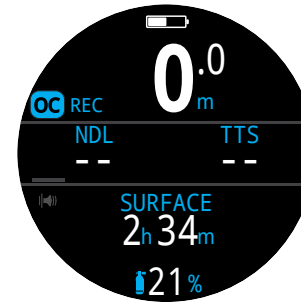
2. 潜降 - 深度9mを超えると、水面までの時間（TTS）は1分と表示されます。毎分10mまたは毎分33ftのスピードで浮上するとコンピュータが見積もるからです。減圧（およびNDL）の予測値は全てこの浮上速度が前提となっています。11m（35ft）より浅い深度でのダイビングには、安全停止は含まれません。

3. 最大深度 - 無減圧潜水限界は99から表示が始まりますが、深度が増すと数値は小さくなります。この3番目の画面は、残り10分で減圧潜水モードに入ることを示しています。現在、5分間の安全停止が、予測されるTTSに含まれています。

4. ローNDL - NDLが5分未満になると、減圧の義務を回避するために浮上を開始するよう示す黄色に変わります。

5. 浮上 - 浮上するにしたがってNDLは再び増加し始めます。これは、このより浅い深度であれば少し長く留まっていられることを示します。浮上速度インジケータは、6mpmまたは20fpmの速度で浮上していることを示しています。

6. 安全停止 - 6mより浅い深度に浮上すると、安全停止を行うよう促されます。この場合、安全停止設定は「適用」に設定されており、なおかつ深さがあることから、5分間でカウントダウンが開始しました。安全停止が終了すると、クリアインジケータが終了を教えてください。



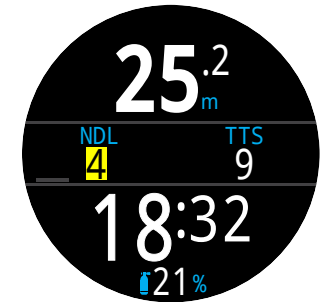
1. ダイビング前



2. 潜降



3. 最大深度



4. ローNDL



5. 浮上



6. 安全停止



安全停止は強制ではありませんが、ガスが許す限り、ダイビングのたびに安全停止を行うことが最良です。



6.2.0C Tecダイビングの例

ここでは、0C Tecモードの標準レイアウト設定で複数ガスを
用いた場合の減圧ダイビングで見られる表示例を示します。

最大深度：60メートル	ボトムガス：トライミックス (18/45)
潜水時間：20分	減圧ガス：50%&99% O2

1. 0Cガス設定 - ダイビングの前に必ずガスリストをチェ
ックすることが大切です。この画面は、ダイビングモード
(Dive Mode) のメインメニューにあるガスの編集 (Edit
Gases) セクションで利用できます。オンにされた全てのガ
スが減圧スケジュールの計算に使用されます。背負っていな
いガスは必ずオフにしてください。

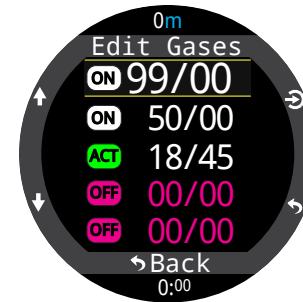
2. 減圧設定の確認 - ダイビング開始前に必ずその他の設定
がすべて正しいかどうか確認しておくのが賢明です。ガスの
確認に加え、ダイブ設定と減圧設定の値も確認するようお勧
めします。

3. ダイブプラン - ダイブツール (Dive Tool) のダイブプラ
ンナーを用いて、ダイビングに必要な合計ランタイム、減圧
スケジュール、ガス要件を確認します。

搭載されている減圧プランナーには機能的に限界がありま
す。そのため、複雑なダイビングに関しては、パソコンやス
martフォンのダイブプランナーソフトウェアのご利用をお
勧めします。

4. ダイビング前 - ダイビング開始前に、モードインジケー
ターから0C Tecモードであることが確認できます。アクティ
ブガスは現在18/45、バッテリー残量は約半分、警報は振動
のみが有効になっています。

5. 潜降 - 潜降するとダイビング時間がカウントを開始し、
減圧欄にNDLが表示されます。



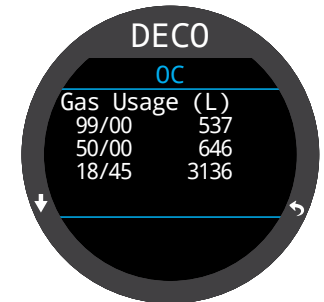
1. 0Cガス設定



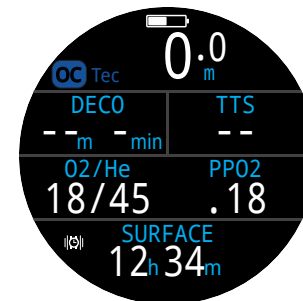
2. 減圧設定の
確認



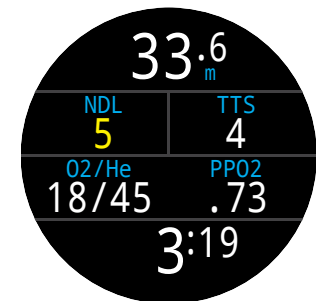
3. ダイブプラン -
減圧スケジュール



3. ダイブプラン -
ガス要件



4. ダイビング前



5. 潜降

(次ページに続く)



0C Tecダイビングの例(続き)

6. 最大深度 - NDLが0に達すると減圧停止が必要になります。NDLに代わって停止要件が減圧欄に表示されます。TTSには減圧停止時間が加わり、増加しています。

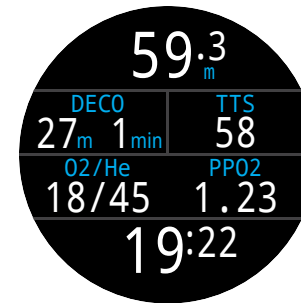
7. 浮上 - 24メートルまでは浮上しても安全です。減圧停止で2分間留まらなくてはなりません。浮上する間、深度の右側のバーグラフが浮上速度（10mpm）を示します。減圧予測値はすべて、毎分10メートルの浮上速度を前提に予測されています。

8. ガス交換 - 減圧予測値はすべて、浮上時の利用に最適なガスに交換することを前提に予測されています。深度21mでの停止で、呼吸ガスは、より最適なガスが利用できることを示す黄色に変わります。交換が行われない場合、減圧停止と時間に関する情報が不正確になります。

9. 減圧停止を怠った (Missed Deco Stop) - 減圧シーリングよりも浅い深度まで浮上した場合、減圧情報が赤色で点滅します。潜降しないと「減圧停止を怠った」とする警告が発令され、警報アイコンが表示されます。確認後、いずれかのボタンを押して警告をクリアします。再度停止深度より深く潜降し、点滅するメッセージと警報アイコンをクリアします。

10. 減圧クリア - 全ての減圧義務がクリアになると、減圧クリアカウンタがゼロからカウントを始めます。

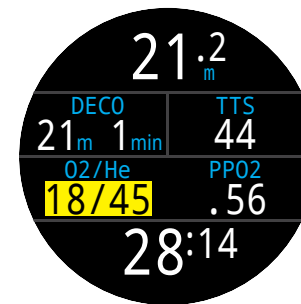
例の終了。



6. 最大深度



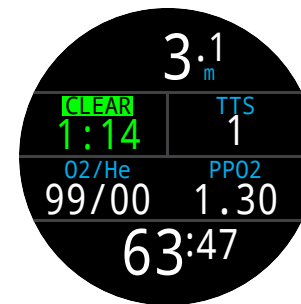
7. 浮上



8. ガス交換



9. 減圧停止を怠った



10. 減圧クリア



6.3. CCダイビングの例

ここでは、CC/B0モードの標準レイアウト設定で複数ガスを用いた場合の減圧ダイビングで見られる表示例を示します。

最大深度: 90メートル	ディリュエントガス: トライミックス (10/50)
潜水時間: 20分	ベイルアウトガス: 14/55、21%、50%

1. CCガス設定 - ダイビングの前に必ずガスリストをチェックすることが大切です。この画面は、CCモードのメインメニューにあるガスの編集 (Edit Gases) セクションで利用できます。このダイビングに関しては、唯一のディリュエントガスがトライミックス10/50となります。

(10% O₂、50% He、40% N₂)

2. OCガス設定 - このダイビングには、OCガスにいくつかのガスが必要となります。B0モードに切り替える場合、メインメニューの「ガスの編集」にてベイルアウトガスも決められます。

ダイビングを計画するときに、ベイルアウトガスを十分に背負っていることを確認します。

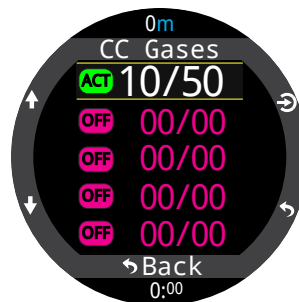
3. 減圧設定の確認 - ダイビング開始前に必ずその他の設定がすべて正しいかどうか確認しておくのが賢明です。ガスの確認に加え、ダイブ設定と減圧設定の値も確認するようお勧めします。

4. ダイブプラン - ダイブツール (Dive Tools) のダイブプランナーを用いて、ダイビングに必要な合計ランタイム、減圧スケジュール、ベイルアウトガス要件を確認します。

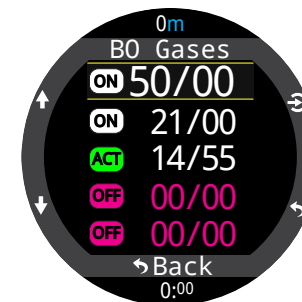
クローズドサーキットダイビングの場合、減圧スケジュールが2種類生成されます。最初の計画はクローズドサーキット減圧用で、もう一つはベイルアウト用の減圧スケジュールです。

搭載されている減圧プランナーには機能的に限界があります。そのため、複雑なダイビングに関しては、パソコンやスマートフォンのだいぶプランナーソフトウェアのご利用をお勧めします。

(次ページに続く)



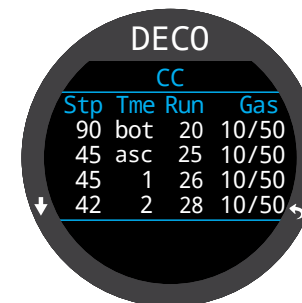
1. CCガス設定



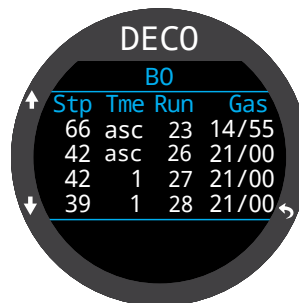
2. OCガス設定



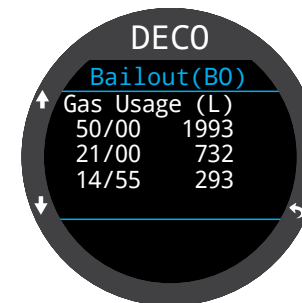
3. 減圧設定の確認



4. ダイブプラン - CCスケジュール



4. ダイブプラン - B0スケジュール



4. ダイブプラン - ベイルアウトガス要件



CCダイビングの例(続き)



ハイポキシックディリユエントに関する注意

この例にある10/50などのハイポキシックディリユエントでは、水面近くで死に至る可能性があるため、特別なトレーニングが必要です。

5. ダイビング前 - ダイビング開始前に、モードインジケータからCCモードであることが確認できます。アクティブガスはディリユエント10/50に設定され、セットポイントは0.7、バッテリー残量は半分、警報は振動のみが有効になっています。

6. ディリユエントの確認 - INFOボタンを数回押しすと情報スクリーンが表示され、ディリユエントのPP02が分かります。赤色は、すぐに呼吸するのは安全ではないことを表します。

この情報は、ディリユエントが安全であるかを確認したり、水中でディリユエントが十分にある時にPP02がどうなるのかを確認するために表示できます。

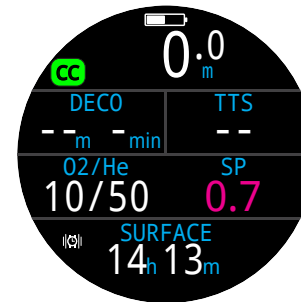
7. セットポイントの自動切り替え - オプションのセットポイントの自動切り替えは、15mの深度設定で有効でした。そのため、潜降時に15mを超えると、セットポイントが0.7から1.3に自動で切り替わります。

8. NDLの減少 - より深く潜降するとNDLは減少します。TTSには、10m/分(33ft/分)の速度で水面まで浮上するのに5分かかることが表示されます。

9. 潜水時間 - 潜水時間が終了しました。TTSには、減圧に1.5時間かかることが表示されます。最初の停止は深度48mで1分間となります。

10. 最初の停止深度まで浮上 - 3m/分の速度で浮上します。これは、予定していた10m/分の浮上速度よりも遅い速度です。速度が遅いことで、大半の組織が今なおガスを吸入しているため、TTSの値が増加してしまいました。

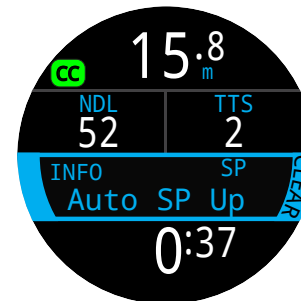
(次ページに続く)



5. ダイビング前



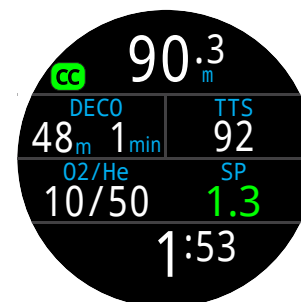
6. ディリユエントの確認



7. セットポイントの自動切り替え



8. NDLの減少



9. 潜水時間



10. 最初の停止深度まで浮上



CCダイビングの例(続き)

11. 最初の安全停止 - 遅い速度で浮上することで、所定の深度に達する前に最初の停止をクリアしなければならなくなりました。こうした状況は、浮上速度が遅いとよく生じます。

12. 問題発生 - リブリーザーコントローラーの酸素の読み込みに問題が発生し、ベイルアウトを行うことになりました。実際にBOVまたはマウスピースを交換した後、適切な減圧計算を行うために、コンピュータをB0モードに設定する必要があります。

13. ベイルアウト - MENUボタンを1回押すと、最初のメニュー項目として「CC切替 → B0 (SWITCH CC → B0)」が表示されます。SELECT (FUNCボタン) を押して変更します。

ダイビングモードインジケータは、ベイルアウトであることを示すB0に変わっているのでご注意ください。また、情報欄もB0モード用にカスタマイズされた設定に変更されています。最良のB0ガスが自動的に選択され、減圧計画もB0ガスを基に調整されました。

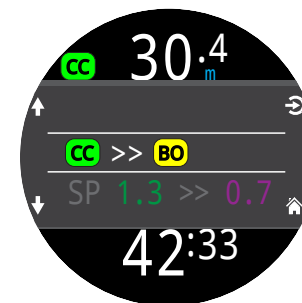
14. ガス交換の必要性 - 現在の深度は21mであり、数回の安全停止が完了しています。ガスは、より望ましいガスがあることを示す黄色で表示されています。

15. ガス交換 - MENUボタンを2回押すとメインメニューに「ガスの選択 (SELECT GAS)」が表示されるので、SELECT (FUNCボタン) を押します。最適なガスはすでに選択肢の先頭にあるため、SELECTをもう一度押してこのガスをアクティブにします。

16. 減圧クリア - 全ての減圧停止がクリアされて減圧クリアカウンタがゼロからカウントを開始するまで、減圧停止に従ってください。



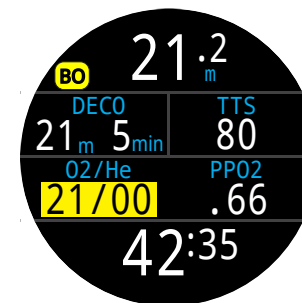
11. 最初の減圧停止



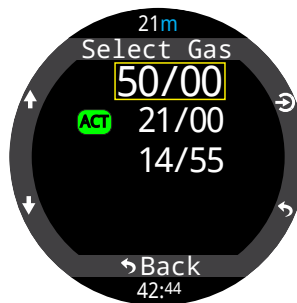
12. 問題の発生



13. ベイルアウト



14. ガス交換の必要性



15. ガス交換



16. 減圧クリア

例の終了。



6.4. ゲージモード

ゲージモードでは、Tericに深度と時間(別名ボトムタイマー)だけが表示されます。

減圧組織はゲージモードでは計算されないため、ゲージモードからやゲージモードへの変更によって減圧組織はリセットされます。

デフォルトでは、ゲージモードは「大文字」レイアウトになっており、情報欄に最大深度とストップウォッチが表示されます。

画面に情報を追加してさらにカスタマイズしたい場合は、標準レイアウトに設定を変更してください。

詳細は、21ページの「メイン画面のカスタマイズオプション」をご覧ください。

水面では、最後のダイビングにおける最大深度と平均深度がMAXおよびAVGに表示されます。水面で表示されるAVG(平均)深度は、平均深度をリセットするオプションが使用されるかどうかにかかわらず、ダイビング全体のものになります。ダイブログでもダイビング全体の平均深度が記録されます。

ゲージモードの特長

- ・ リセット可能な平均深度
 - ・ ストップウォッチ
- (これらの機能は全てのモードで利用できます)



大文字レイアウト - ゲージモードのデフォルト設定



標準レイアウト - ゲージモードの他の設定



7. フリーダイビングモード

フリーダイビングモードは、フリーダイビング専用モードです。

コンピュータの基本機能の多くが他のダイビングモードの機能と共通であるのに対し、フリーダイビングモードには独特の機能が備わっていますので、このセクションで説明していきます。

減圧組織はフリーダイビングモードでは追跡されないため、フリーダイビングモードとの切り替えによって、減圧組織はリセットされます。

フリーダイビングモードの特長

- ・ 高速深度サンプル - 4サンプル/秒
- ・ 完全カスタマイズ可能な警報音と振動
- ・ フリーダイビングに特化した情報スクリーン
- ・ ログをすばやくタグ付け



警告

息を止めて行うダイビングには、見たところ分からないような危険が伴います。適切なトレーニングを受けずに、また、危険をしっかりと把握して受け入れることなく、こうした行動に関わらないようにしてください。

本マニュアルは専門的なトレーニングに代わるものではありません。

7.1. フリーダイビング用のデフォルトレイアウト

デフォルトで大文字レイアウトに設定されています。大半の機能が他のダイビングモードと共通していますが、独特な特徴もあります。

- ・ アクティブなフリーダイビングセットがモードインジケータの横に表示されます。
- ・ メイン画面に前回のダイビング時間と最大深度を表示
- ・ 浮上/潜降速度を分計測ではなく、秒単位のmps/fpsで表示



フリーダイビングモードでは、OC Recやゲージモードと同様に、大文字レイアウトの場合はメイン画面右側がカスタマイズ可能です。



7.2. フリーダイビングモードの情報スクリーン

フリーダイビングモードの情報スクリーンには、右側に記載されているように、特有の配列があります。

潜降時と浮上時の最大速度と平均速度を表示するスクリーンは、フリーダイビングでのみ利用できます（単位はmpsまたはfps）。

また、これらの値は、フリーダイビングモードのメイン画面に加えることもできます。



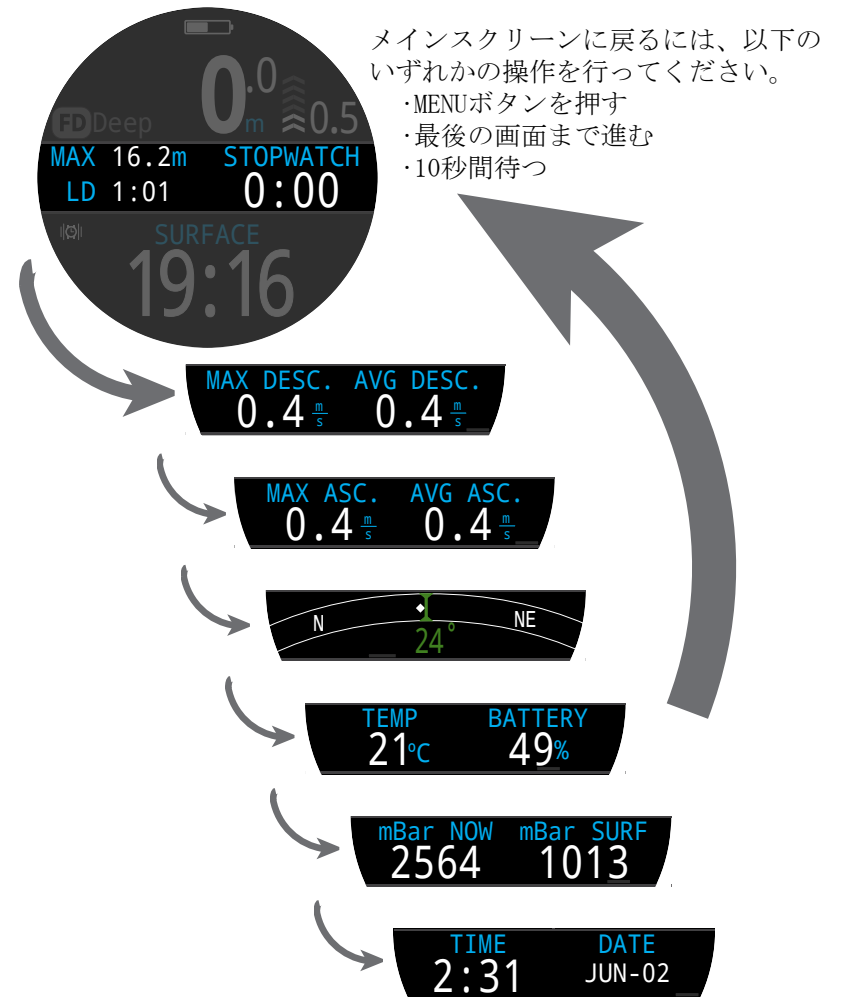
7.3. フリーダイビングセット

フリーダイビングセットとは、特定のタイプのフリーダイビング用にカスタマイズされた各設定を集めたグループのことです。

Tericでは、3種類のカスタマイズ可能なセットを個別にサポートしています。各セットごとに、ダイビング中にアクティブにされた警報だけでなく、活動の合間に頻繁に変更される様々な設定もカスタマイズできます。例えば、プールの淡水と海の塩水などです。

61ページの「フリーダイビングセットの編集」を参照してください。

フリーダイビングモードの情報スクリーンの配列



メインスクリーンに戻るには、以下のいずれかの操作を行ってください。

- ・MENUボタンを押す
- ・最後の画面まで進む
- ・10秒間待つ

INFOボタン（右下）を押すと、情報スクリーンが順に表示されます



フリーダイビングの警報

これらの警報は各セットごとにカスタマイズできるため、フリーダイビングの各段階を知らせるのに役立ちます。

フリーダイビングの警報は、いくつかの点で標準的な警報とは異なります。

- ・ 4秒間のみ表示
- ・ 緊急性に応じて3色で色分け
- ・ セット内で完全にカスタマイズ可能
- ・ 始動条件となる深度や時間を各セットごとにカスタマイズ可能

フリーダイビングの警報の種類

情報 - 青色で表示



注意 - 黄色で表示。始動条件も黄色に変わります。



危険 - 赤色で表示。始動条件も赤色に変わります。



深度に対する警報

通知1、通知2、深度警告、最大深度は全て、潜降時に各深度の閾値を超えた際に始動します。

浮上時の警報

浮上通知は、浮上時に深度の閾値を超えた際に表示されます。

時間に対する警報

時間通知、時間警告、最大時間、水面時間は全て、ダイビングで時間の閾値を超えた際に始動します。水面時間に関しては、水面で所定の時間が経過すると始動します。

リピート機能

深度リピート、時間リピート、水面リピートは、ユーザーが規定した間隔で繰り返し始動する点が、単発の深度警報や時間警報とは異なります。

例えば、時間リピートの場合は、ダイビング中に15秒おきに振動または警報音が繰り返されます。これにより、表示を確認しなくても時間の経過が分かります。

フリーダイビングの警報は全て下記の表に挙げてあります。

フリーダイビングの警報	始動条件	警報の種類
通知1	深度	情報
通知2	深度	情報
深度警告	深度	注意
最大深度	深度	危険
浮上通知	深度	情報
時間通知	時間	情報
時間警告	時間	注意
最大時間	時間	危険
水面時間1	時間	情報
水面時間2	時間	情報
深度リピート	深度	情報
時間リピート	時間	情報
水面リピート	時間	情報



警報が作動し、保護スーツ越しに確実に音が聞こえ、振動を感じられるよう、41ページの「警報のテスト」を使用して警報を定期的にテストしてください。



フリーダイビング設定

カスタマイズ可能な設定は次の通りです。

- ・ 水の種類
- ・ ダイビング開始深度
- ・ ダイビング終了深度
- ・ ダイビング開始を遅らせる
- ・ ダイビング終了を遅らせる

こうした設定は、フリーダイビングが行われる場所や種類によって異なります（例：ダイナミックアプネア vs. フリーイマージョン）。従って、セット内でカスタマイズしておく、毎回個別に各設定を規定する必要がなく、フリーダイビングの各活動への移動がより簡単に行えます。

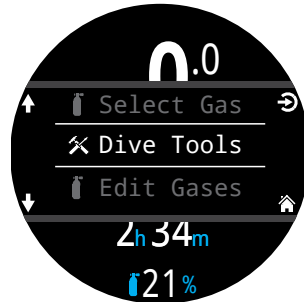
遅れは、ダイビング中になるとダイビングの統計値に組み入れられたり、削除されたりしますのでご注意ください。深度と時間に関する情報は、開始/終了の深度や遅らせることに関係なく変わりありません。



8. ダイブツール (Dive Tools)

ダイブツールは各ダイビングモードのメインメニューにあり、水面およびダイビング中のどちらにいてもアクセスできます。

ストップウォッチ機能については、55ページの「時計ツール」セクションに記載されています。



8.1. コンパス

Tericには傾斜補正デジタルコンパスが装備されています。

コンパス機能

- ・ スムーズな高速リフレッシュレート
- ・ 複数表示対応
- ・ ユーザーが設定可能な方位マーカ (逆方位付き)
- ・ 真北 (偏角) 調整
- ・ 45度傾斜補正

コンパスの表示

有効になっていると、コンパスは次の3種類の形で表示できます。

- ・ 情報スクリーン
- ・ コンパスのポップアップ表示
- ・ オーバーレイ表示

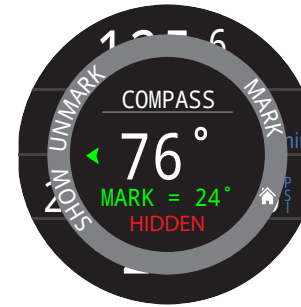
コンパスの情報スクリーン

情報欄がコンパスの情報スクリーンに表示されるまで、INFOボタンを押します。通常の情報スクリーンとは異なり、標準レイアウトを使用している場合、コンパスはタイムアウトしません。



コンパスのポップアップ表示

メインメニューのダイブツールセクションよりコンパスのポップアップ表示にアクセスします。ポップアップ表示は10秒後にタイムアウトします。

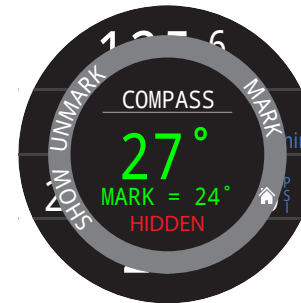


このポップアップ表示にて、方位をマークまたは解除したり、コンパス外輪のオーバーレイ表示を表示または隠したりすることができます。

現在の方位度がポップアップ表示の中央に表示されます。

方位をマーク

方位度マークは、コンパスのポップアップ表示の下部に表示されます。



現在の方位がマークした方位の5度以内である場合は、緑色で表示されます。

コースから5度以上外れている時は、緑の矢印がマークした方位を示します。

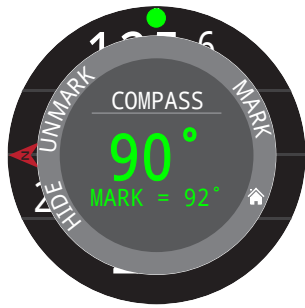
マークした方位がコンパスの情報スクリーンに緑色で表示される一方、逆方位は赤色で表示されます。ポップアップ表示と同様に、コースから5度以上外れると、緑色の矢印がマークした方位を指します。





コンパス外輪のオーバーレイ表示

コンパスのオーバーレイ表示では、常に北とマークした方位が表示できます。



コンパスのポップアップ表示で「表示」を選択して、オーバーレイ表示を表示します。

有効になっていると、北を指す赤色矢印と緑色の方位マーカーがスクリーンの縁に残り、マークした方位を追跡します。



オーバーレイ表示が有効になっていると、コースから5度以上外れた時に、画面上部で緑色の矢印がマークした方位を指します。



ダイビング開始前に、コンパスキャリブレーションを確認してください

コンパスキャリブレーションの確認

1. Tericを平面に置き、金属物を遠ざけます。
2. 方位をマークします。
3. コンピュータを180度回転させます。
4. コンパスが逆方位を指しているか確認します。

コンパスのキャリブレーション方法については、73ページを参照してください。



コンパスの制約

使用する前に、コンパス機能の制約を十分に理解するようにしてください。

キャリブレーション：

デジタルコンパスには定期的にキャリブレーションが必要です。これは設定 (Settings) > コンパス (Compass) メニューにて、わずか1分で行えます。コンパスのキャリブレーション方法については、「設定について」の「コンパス」サブセクション (73ページ) を参照してください。

干渉：

金属製品や永久磁石、電気モーターなど磁気干渉を起こすものは、コンパスに近づけないでください。影響の有無を調べるにあたっては、所定の場所で干渉物のある場合とない場合とで、良好とされるコンパスと正確性を比較するようお勧めします。

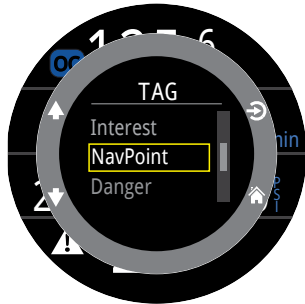
沈船はコンパスの読み込みに干渉する場合があるため、沈船の内部や周辺ではコンパス機能を使わないようにしてください。従来のコンパスと同様、ご自身で判断し、トレーニングを受ける様にしてください。

磁気偏角 (磁気変動とも呼ばれる) とは、磁北と真北の角度差です。これは、コンパス設定メニューの偏角設定を用いて補正できます。磁気偏角の値は世界中で異なることから、旅先では再調整する必要があります。

伏角 (または俯角) は、地球の磁場が上下を向く角度のことです。Tericのコンパスはこの角度を自動的に補正します。しかし一部の場所 (両極近傍) では、伏角が80°を超えるため (つまり、磁場がほぼ垂直になる)、この場合は一定の精度に達しないことがあります。



8.2. ログのタグ付け



ログのタグ付け機能は、ダイブログで関心があるポイントに印をつけておき、後で見直せるため便利です。携帯電話やパソコンにデータをアップロードした時に、こうしたタグはダイブログに表示されます。

基本的なタグ名は、ログのタグ付けのポップアップ表示にて利用でき、タグを区別することができます。

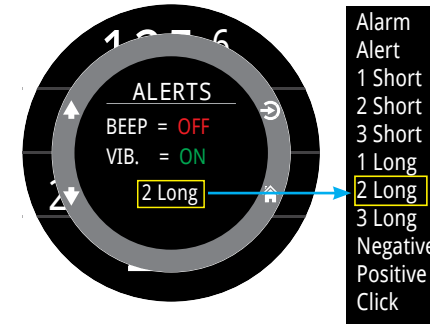
このポップアップ表示は10秒後にタイムアウトします。

8.3. 平均深度のリセット

この機能は、最大深度や減圧段階など、ダイビングの特定の段階における平均深度を把握したい場合に役立ちます。平均深度のリセットは、どのダイビングモードでも利用できます。

8.4. 警報のテスト

警報のテストのポップアップ表示によって、警報が機能しており、保護スーツ越しに音や振動を感じられるかをすばやく確認できます。



矢印を用いて警報を選択したら、選択を押してテストします。

警報のテストのポップアップ表示は、振動または警報音による通知を用いる場合、定期的にご利用してください。



注意

振動および警報音は非常に有益ですが、安全だからといって依存しないようにしてください。電気機器は壊れる可能性がある上、いつかは壊れます。

深度や無減圧潜水限界、ガスの供給、その他の重要なダイビングデータに対し、常に積極的に注意するようにしてください。ご自身の安全はご自身の責任で守りましょう。



8.5. 減圧プランナー

はじめに

- ・ 基本的なダイビングのために減圧プロファイルを計算
- ・ RMVを基にガス消費量を計算
- ・ クローズドサーキット (CC) モードでは、オープンサーキットベイルアウト (BO) も計算

Tericの減圧プランナーは、減圧ダイビングに最適です。無減圧ダイビングについては、44ページで説明している簡単なNDLプランナーを利用してください。

セットアップ

プランナーは、現在のダイビングモードにプログラムされた現在のガスに加え、現在のGFロー/ハイ設定も使用します。減圧プロファイルは現在のダイビングモード (CCまたはOC) 用に計算されます。

水面での使用について



予定している水面休息时间、最大深度、潜水時間、毎分換気量 (RMV)、セットポイント (クローズドサーキットのみ) を入力してください。

注記：直前のダイビングからの残留窒素 (およびCNS%) がプロファイルの計算に使用されません



正しい値を入力したら、「プランの実行」を選択して減圧設定およびCNSの開始を確認します。

重要！

Tericの減圧プランナーの前提は以下の通りです。

- ・ 潜降速度は18n/分 (60ft/分)、浮上速度は10m/分 (33ft/分)
- ・ OCの場合、使用するガスはPP02限界値内で最も高いPP02のガス
- ・ CCの場合、使用するディリユエントはPP02限界値内で最も高いPP02のガス
- ・ プランナーでは、設定された最終停止深度が使用されます。
- ・ CCでは、PP02はダイビングが始まってから一定となります。
- ・ RMVは減圧中もダイビング中と変わりありません。

詳細は、68ページの「PP02限界値」をご覧ください。

ダイビング中の使用について

浮上が直ちに開始されると仮定した減圧プロファイルが計算されます。入力すべき設定ではありません。(RMVが最後に使用される値になります。)

限界

Teric減圧プランナーは、基本的なダイビングを対象としています。

マルチレベルダイビングはサポートしていません。

減圧プランナーは、プロファイルを完全に確認するわけではありません。例えば、窒素酔いの限界、ガス使用量の限界、CNS%の違反、急にヘリウムミックスに交換したために起こるICDの危険性については確認しません。

ユーザー自身が責任をもって、安全なプロファイルに確実に従う必要があります。



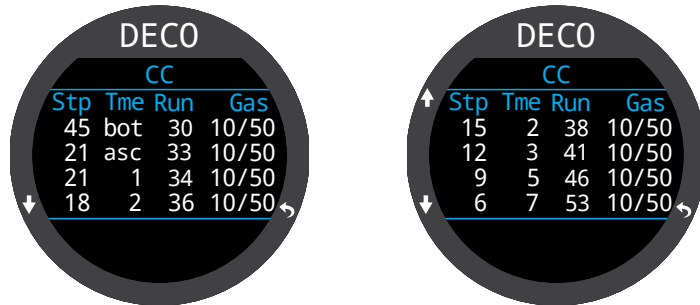
結果表示

結果は表形式で表示されます。

Stp :	停止深度	メートル表示 (またはフィート)
Time	停止時間	分表示
Run	ランタイム	分表示
Gas	使用するガス	%O2/%He

最初の数列には、潜水時間 (bot) と最初の停止まで浮上する浮上区間 (asc) が表示されます。ガス交換が必要な場合、複数の浮上区間が表示される可能性があります。

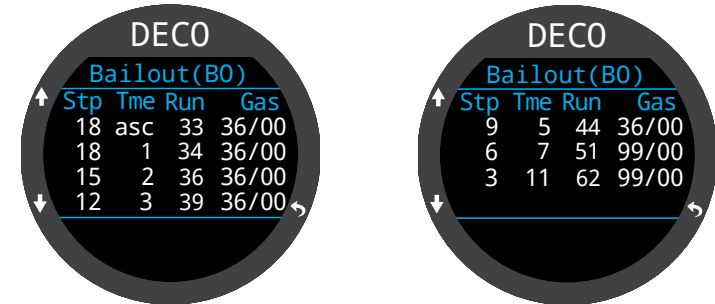
3回以上の停止が必要な場合、結果は複数のスクリーンに分けられます。スクロールダウンするとスクリーンが順に表示されます。



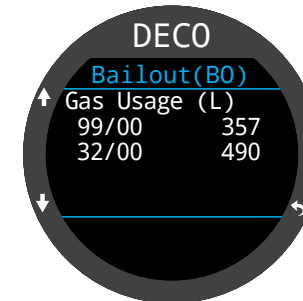
減圧スケジュールの最終ページ後の概要画面には、合計潜水時間、減圧に必要な時間、最終のCNS%が表示されます。



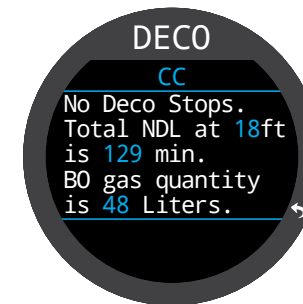
CC/B0ダイビングの場合、スケジュールは各モードに1つずつ、合計2種類あります。



CCまたはB0プロファイルでは、合計のガス消費量も表示されます。



減圧が必要ない場合は、表は表示されません。その代わりに、既定の最大深度での無減圧潜水限界 (NDL) 時間の合計が分で報告されます。また、水面までに必要なガス量 (CCの場合はベイルアウト) も報告されます。



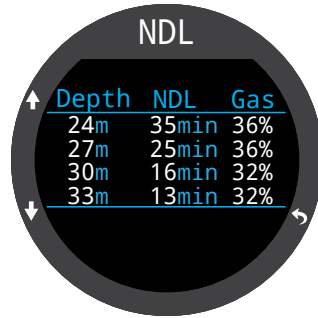


8.6. NDLプランナー

無減圧潜水限界（NDL）プランナーは、減圧停止の必要がない潜水時間を簡単に判断するための手段です。

ガスを排出するための水面休息時間をゼロから最大1日まで適用できます。

その結果、各深度に対応するNDL時間とその深度で使用するに当たりプログラムされている中で最も最適なガスを記載する、深度の一覧が表示されます。ガスはプログラムされたもののみ使用されます。





9. エアーインテグレーション (AI)

Tericには、エアーインテグレーショントランスミッターが2つ装備できます。

本セクションでは、AI機能の操作について説明します。

AI機能

- ・ 1本または2本のタンク圧をワイヤレスで監視
- ・ PSIまたはBAR単位
- ・ タンクの残圧時間 (GTR) と1本のタンクを基にした水面空気消費 (SAC) 速度 (オプション)
- ・ 圧力およびGTR、SAC値を記録
- ・ 危険な圧力値に達すると、警告を発信

9.1. AIとは

AIとは、エアーインテグレーション (Air Integration) のことです。Tericでは、タンク内のガス圧力をワイヤレストランスミッターを用いて計測し、この情報をTericダイビングウォッチに送信して表示および記録するシステムを指します。

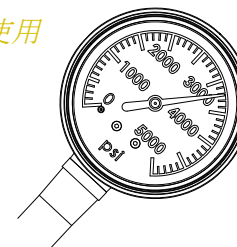
データは低周波 (38kHz) の電波通信方式を用いて送信されます。Tericの受信機がこのデータを受信してフォーマットし、表示します。

通信方式は一方方向です。トランスミッターがデータをTericに送信しますが、Tericはトランスミッターにデータを送信できません。



予備としてアナログ式SPGを使用してください

タンク圧情報を収集する別手段として、予備でアナログ式水中圧力計を必ず使用してください。





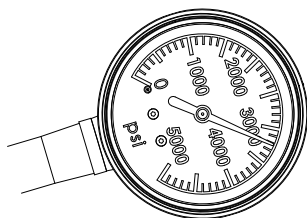
9.2. AIの基本セットアップ

本セクションではTericのAI機能に関する基本セットアップについて説明します。拡張設定および詳細については、後半のセクションにて説明します。

トランスミッターを取り付ける

AIシステムを使用する前に、タンクのレギュレーターのファーストステージにトランスミッターを1つまたは複数取り付ける必要があります。

トランスミッターは「HP」（高圧）と表示されたファーストステージのポート部に必ず取り付けてください。ファーストステージにHPポートが少なくとも2か所あるレギュレーターを用いてください。これにより、予備としてアナログ式の水圧力計（SPG）が使用できます。



予備としてSPGを推奨

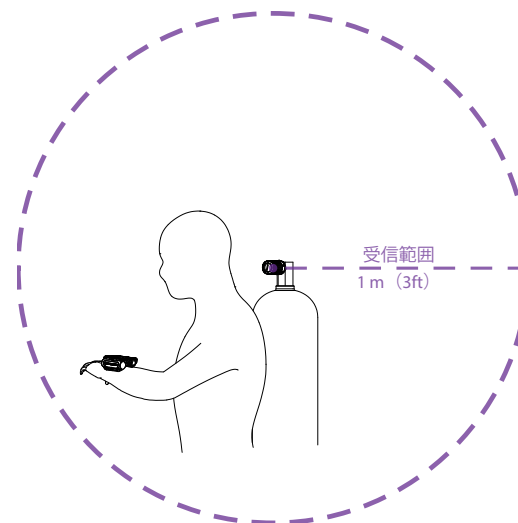
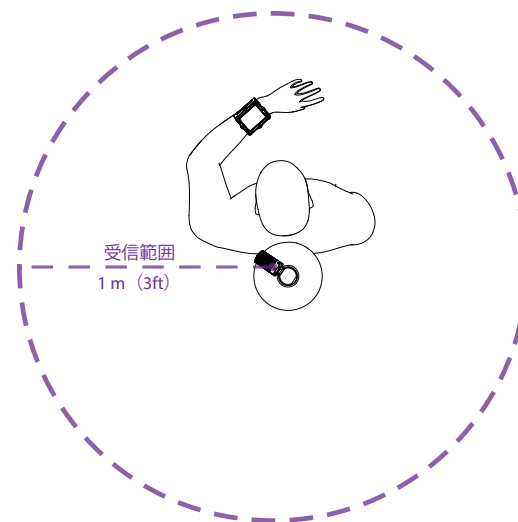
Teric端末を身に付けるのと同じ側にトランスミッターを取り付けます（FIGURE 5）。受信範囲は約1 m（3 ft）以内です。

受信状況や利便性を向上させるために、高圧ホースを動かして、トランスミッターの位置を調整してみてください。ホースは、使用圧力が300 Bar（4500 PSI）以上のものを使用してください。



トランスミッターを締め付けたり緩めたりするには、スパナ（17mm）を使用してください

トランスミッター本体に圧力が加わってしまうため、手で締め付けたり緩めたりしないでください。



ファーストステージのHPポート部にトランスミッターを取り付けます

トランスミッターは、端末を身に付けるのと同じ側に取り付けてください。受信範囲は約1 m（3 ft）以内です。



トランスミッターの電源を入れる

タンクのパルプを開けることで、トランスミッターの電源が入ります。トランスミッターは、圧力を検知すると自動的に起動します。

圧力データは5秒毎に送信されます。

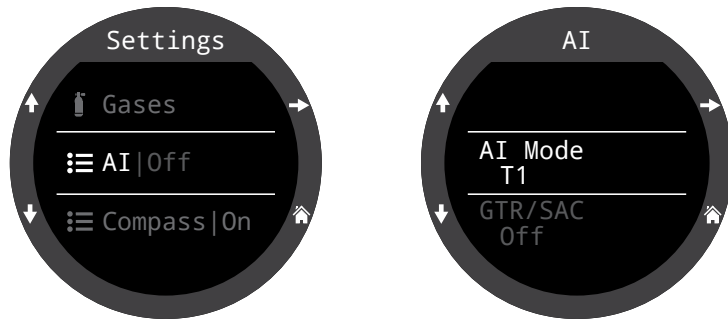
トランスミッターの電源を切る

トランスミッターの電源を切るには、タンクのパルプを閉めてからレギュレーターのセカンドステージのパーズボタンを押してエアを放出し、ホース内の圧力を抜きます。トランスミッターは、圧力を検知しなくなってから2分後に、自動的に電源が切れます。

現時点ではバルプを開けてトランスミッターの電源を入れたままにしてください。

TericでAIを有効化する

Tericで設定 (Settings) > AIメニューに移動します。AIモード (AI Mode) 設定をタンク1 (T1) に変更します。これでAIが有効化されます。



AIモードがオフの場合は、AIのサブシステムの電源が完全に切れており、電力を一切消費しません。オンの場合、AIシステムの電力消費量が約10%上昇します。

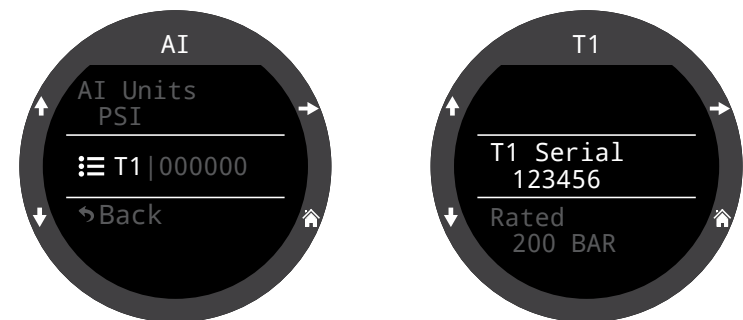
設定に関する詳細は、72ページでAIの設定メニューをご覧ください。

トランスミッターをペアリングする

各トランスミッターには、本体にそれぞれ固有のシリアルナンバーが刻まれています。すべての通信がこの番号で暗号化されているため、各圧力測定値の送信元が識別できます。



トランスミッターのペアリングは、T1セットアップ (T1 Setup) メニューのオプションに進んで行います。その後、T1シリアル# (T1 Serial #) 設定に6桁のシリアル番号を入力します。一旦設定すれば、設定メモリーに永久に保存されるため、再度入力する必要はありません。



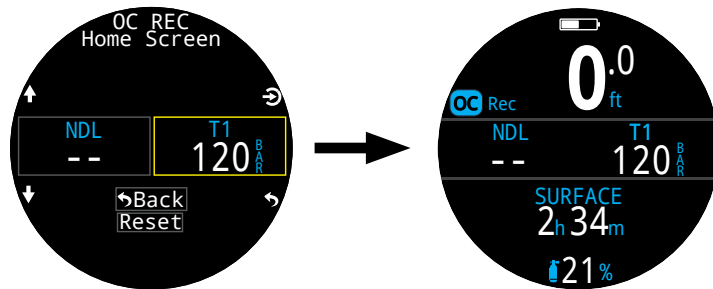
詳細は、72ページでT1&T2の設定メニューをご覧ください。



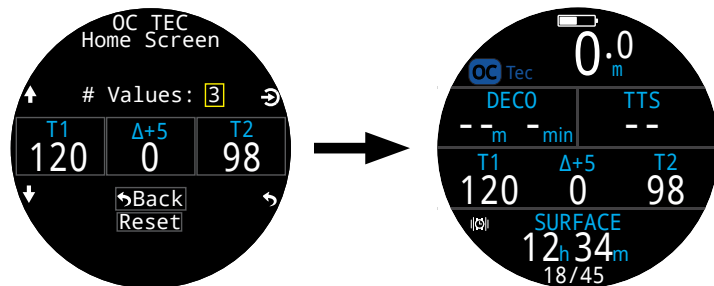
メイン画面にAI表示を追加する

AI情報は、AI機能が有効化されていると情報スクリーンに自動的に表示されますが、メイン画面には手動で追加するまで表示されません。

OC Recモードで大文字レイアウトを使用している場合、右側の情報欄をカスタマイズしてAI情報を表示することができます。



全てのダイビングモードで標準レイアウトを使用している場合、情報欄を広くカスタマイズしてAIを表示することができます。



設定 (Settings) > ダイブ (Dive) > メイン画面 (Home Screen) メニューを用いて、AI表示をメイン画面に加えます。

詳細は、21ページの「メイン画面のカスタマイズ」をご覧ください。



タンクのパルプが開いているか確認してください

タンクのパルプが空いていることを確認するには、水中に入る前に必ず10～15秒かけて、タンク圧を監視しながらレギュレーターからガスを吸ったり、レギュレーターのセカンドステージのパージボタンを押したりを数回行います。

レギュレーターファーストステージにエアーがあってもタンクのパルプが閉じたままだと、ダイバーが利用できる呼吸ガスは急速に減少し、数回呼吸するだけで「エアーのない」状態に陥ります。アナログ式のゲージと異なり、Tericに表示されるタンク圧は5秒毎にのみ更新されるため、Tericに表示されるタンク圧をそれより長く（10～15秒を推奨）監視して、タンクのパルプが空いていることを確認する必要があります。

タンク圧を10～15秒間監視した後は、レギュレーターのパージテストも行ってから水中に入るのが、危険を回避するためにダイビング前に行う安全確認の一環として、良い方法と言えます。



9.3. AI表示

AI情報の表示には、次の4つのフィールドが使用されます。

- 1) T1/T2残圧
- 2) GTR
- 3) SAC
- 4) ミニコンビネーション表示



T1/T2残圧 タンク内の残圧時間 水面空気消費量 ミニコンビネーション表示

これらの表示は次の2つの方法で閲覧できます。

- 1) メイン画面のカスタマイズ可能区画に追加
- 2) AI情報スクリーンに表示

T1/T2残圧表示 (T1/T2 Pressure Display)

残圧表示は、現在の単位 (PSIまたはBar) で残圧を表示する、最も基本的なAI表示です。

通常のT1/T2残圧表示



残圧が少なくなった際の警告



予備残圧の閾値はAI設定で管理できます。詳細は、72ページを参照してください。

応答なし警告



トランスミッターのバッテリーが少なくなった際の警告





GTR表示

タンク内の残圧時間表示とは、水面まで10m/分（33ft/分）の速度で直接浮上する場合に、予備残圧で浮上することになるまで現在の深度にとどまっていられる時間（分）のことです。



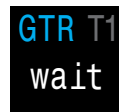
値は、5分以下になると黄色で表示されます。また、2分以下になると赤色で表示されます。

GTRはタンク1本のみに基づいて算出できます。GTRおよびSAC算出に使われているトランスミッター（T1またはT2）を、タイトルを濃い灰色にすることで示します。水面にいる時、GTRは「---」と表示されます。減圧停止が必要な場合はGTRは表示されず、「減圧（deco）」が表示されます。

各ダイビングの最初の30秒のSACデータは、破棄されます。さらに数分経過してから平均SACを算出します。そのため、各ダイビングの最初の数分間はGTRが「待機中（wait）」と表示されます。GTR予測値はデータが十分に取得されてからの表示となります。

GTRの計算方法については、53ページの「GTRの算出」をご覧ください。

水面上ではGTRは表示されません



ダイビング開始時は、データが安定して取得できるまで待機

SAC表示

水面空気消費量（SAC）表示には、1絶対圧（ATA）とした場合に標準化された、直近2分間の圧力変化の平均率が示されます。現在の単位設定によって、SACはPSI/分またはBar/分のいずれかで表示されます。

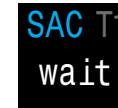


SACは、サイズが異なるタンク間で使用できないので注意してください。

水面では、最終ダイビングの平均SACが表示されます。



ダイビングの最初の数分間は、SACの値が表示されません。この間、平均値を算出するために初期データが収集されています。SAC表示にはこの間「待機中」が表示されます。



水面では、SACは最終ダイビングの平均値を表示

水面では、最終ダイビングの平均SACが表示されます。ダイビングが終了すると、SACの値が突然変わります。これは、SAC表示が（ダイビングモードの時の）直近2分間のSAC表示からダイビング全体の平均SAC表示に変わるからです。



ミニコンビネーション表示

フォントサイズを小さくしてより小さなスペースに情報を凝縮した、ミニコンビネーション表示が利用できます。

AI設定	ミニ表示
Tx>R	T1 120 GTR 45
Tx&SAC	T1 120 SAC1.1
GTR&SAC	GTR 45 SAC1.1
T1&T2	T1 120 T2 98

9.4. 複数のトランスミッターの使用について

複数のトランスミッターを使用する際は、色の異なるトランスミッターを使用して確実に受信できるようにしてください。

色ごとに送信するタイミングが異なります。これによって、接続が失われることで生じる通信衝突を防ぎます。

同一色のトランスミッターを2つ使用すると、通信のタイミングが同期化する可能性があります。この問題が生じると、トランスミッターは互いに干渉し合い、データ欠落を起こします。こうした欠落は迅速に解決されるか、最大でも20分ほど続きます。

色の異なるトランスミッターを使用することで、送信するタイミングが異なり、通信の同期化によって生じる通信衝突がすぐに解決されます。

Shearwaterでは標準色として灰色のトランスミッターを販売していますが、別の送信タイミングのものとして黄色のトランスミッターも販売しています。

! 同一色のトランスミッターを複数台使用すると、接続が失われる場合があります

複数のトランスミッターを使用する際は、色の異なるトランスミッターを使用してください（上記参照）。



複数のトランスミッターを使用する際は、確実に受信するためにも灰色と黄色のトランスミッターをそれぞれ使用してください



9.5. SACの算出

水面空気消費量 (SAC) は、1絶対圧とした場合に標準化された残圧の変化の割合です。単位はPSI/分またはBar/分のいずれかです。

Tericでは、直近2分間を平均したSAC値を算出します。ダイビングの最初の30秒間のデータは、この期間特に (BCDやウィング、ドライスーツ等の拡張などに) 使用される余分なガスを無視するために、破棄されます。

SAC vs RMV

SACは単純に残圧の変化率を基にしていることから、値を算出するのにタンクのサイズを知る必要はありません。しかし、つまりはサイズが異なるタンクに対して SAC は転換できないこととなります。

対照的に、毎分換気量 (RMV) は1分間に肺に出入りするガスの量のこと、単位はCuft (立方フィート) /分またはL (リットル) /分を用います。RMVは個人の呼吸率であるため、タンクのサイズに左右されません。

RMVではなくSACを用いる理由

RMVはサイズが異なるタンクに転換できるという望ましい特性があることから、基本となるGTRの算出により適した選択肢のように思われます。しかし、RMV を用いる上での主な難点として、各タンクのサイズを正確に設定する必要があることが挙げられます。その様な設定は忘れられがちである上に、誤って設定されやすい面もあります。

その点SACはどの様な設定も必要としない優れた特性があり、極めて簡単で最も信頼できる方法となっています。問題点には、サイズが異なるタンク間で使用することはできないことが挙げられます。

SAC公式

SACの算出方法は以下の通りです。

$$SAC = \frac{P_{tank}(t_1) - P_{tank}(t_2)}{t_2 - t_1} \bigg/ P_{amb,ATA}$$

$P_{tank}(t)$ = 分 (PSIまたはBar) 時のタンクの圧力
 t = 時間/分
 $P_{amb,ATA}$ = 絶対圧[ATA]

時間サンプルは2分毎に取得され、Pamb, ATAはこの期間の平均絶対圧 (すなわち深度) を指します。

TericはSACを表示および記録するため、SACからRMVを算出する公式は有益です。RMVを把握することは、様々なサイズのタンクを使用するダイビング計画に役立ちます。

SACからRMVを算出する - インペリアル単位

インペリアル単位系では、タンクのサイズは (容量) Cuft / (定格圧力) PSIのように、2つの値を用いて表記します。

例えば、一般的なタンクのサイズは80 Cuft/3000 PSIです。

[PSI/分]のSACを[Cuft/分]のRMVに換算するには、PSI毎に保存されるCuftの量を算出し、これにSACを掛けるとRMVになります。

例えば、80 Cuft/3000 PSIのタンクの23 PSI/分のSACは (23 x (80/3000)) = 0.61 Cuft/分のRMVになります。

SACからRMVを算出する - メートル単位

メートル単位系では、タンクのサイズはタンクの実際のサイズをリットル[L]の一単位で表記します。これは、1 Barの圧力で充填される内容量のことであり、タンクのサイズは実際には[L/Bar]となります。

SACからRMVへの換算は簡単です。メートル単位を使用している場合は、SACにタンクのサイズを掛けるだけです。

例えば、10 Lタンクの2.1 Bar/分のSACは (2.1 x 10) = 21 L/分のRMVになります。



9.6. GTRの算出

タンク内の残圧時間 (GTR) とは、水面まで10 m/分 (33フィート/分) の速度で直接浮上する場合に、予備残圧で浮上することになるまで現在の深度およびSACレートにとどまっていた時間 (分) のことです。現在のSACの値を用いて算出します。

GTRの算出では、安全停止および減圧停止は考慮されません。

まず最初に既知のタンク圧 P_{tank} から取り掛かります。残りのガス圧 $P_{remaining}$ は、予備圧と浮上に際して使用する圧力を差し引いた値になります。

$$P_{remaining} = P_{tank} - P_{reserve} - P_{ascent} \quad \text{すべてのタンク圧の単位は[PSI] または[Bar]}$$

$P_{remaining}$ の値を求めたら、現在の周囲圧に対応するSACで割ってGTR (分) を算出します。

$$GTR = P_{remaining} / (SAC \times P_{amb, ATA})$$

安全停止が考慮されない理由

安全停止は、GTRの意味を簡略化するために考慮されていません。そのため、安全停止を行わない操作モード全般で共通して使用できます。

特に安全停止に必要なガス量は少ないため、1回の安全停止用にガスをしっかり管理することは極めて簡単です。例えば、SACが1.4 Bar/分 (20 PSI/分) であった場合、4.5m/15ftの深度で圧力は1.45 ATAとなります。つまり、3分間の安全停止で $1.4 \times 1.45 \times 3 = 6.1$ Bar (87 PSI) のガスを消費するのです。この様な少量のガスは、予備残圧設定に容易に組み入れることができます。

GTRが1本のタンクと無限圧に限定される理由

現在Shearwaterでは、GTRは、とりわけ複数のガスを使用するなどの減圧ダイビングに適切なツールと考えていません。これは、総じてAIはすべてのテクニカルダイビングに適していないということではなく、複数のガスを使用する際に理解および管

理するには、GTRの機能が一層複雑になっているということです。一例として、複数のガスを使用する場合、各タンクのサイズを正確に入力しなければならないことが挙げられます。これは実に忘れられがちな作業である上に、誤ったGTR値を導き出す可能性があります。また、混合ガスダイビングでは、ガスの混合率に応じて関連する各トランスミッターをさらに設定する必要があります。加えて、別の設定をし忘れたり、同じ混合率のタンクが複数あるなど、稀なケースが発生した場合に混乱したりもします。トランスミッターを装着した使用済みタンクの一部のみ複雑で、ユーザーが誤解する可能性があるなど、他の状況にも対応しなくてはならない場合があります。概して、メニューや設定が余計に複雑になり、ユーザーに負荷をかけるようであれば、システムの誤操作や予期せぬ誤用が生じやすくなり、これではShearwaterのデザイン理念に反してしまいます。

ガス管理はとりわけテクニカルダイビングにとって非常に重要であるに加え、複雑な操作でもあります。教育、トレーニング、計画は、テクニカルダイビングでガスを適切に管理する上で欠かせません。Shearwaterでは、GTRなどの便利な機能はこうした場合に有益な優れたテクノロジーではないと考えます。その有益性よりも複雑さや誤操作の可能性の方を重視しているからです。

理想気体の状態方程式を適用

すべてのSACおよびGTRの算出においては、理想気体の状態方程式が成り立つものとして計算されていますのでご注意ください。この方程式は、最大約207 Bar (3000 PSI) までの正確な概算となっています。この圧力を超えると、圧力の増加に伴うガス圧縮率の変化は顕著になります。主としてこれは、300 Barシリンダーを使用する欧州のダイバーにとって問題となります。最終的な結果として、ダイビングの初期に圧力が207 Bar/3000 PSIを超えると、SACが過大に見積もられ、その結果GTRが低く見積もられることとなります (よくある間違いですが、保守性は高まります)。ダイビングを続け圧力が低下するにつれて、この問題は自ら修正され、数値は徐々に正確になります。



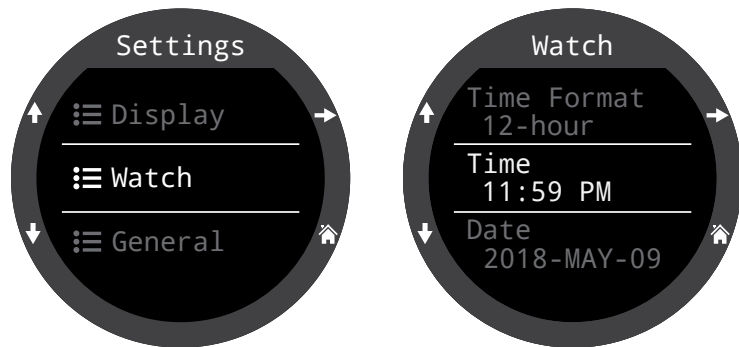
10. 時計モード

時計モードは、Tericの水面上でのデフォルトモードです。コンピュータは、水面でダイビングモードのまま放置されると、15分後にタイムアウトして時計モードになります。

時計モードでは、Tericは常に電源が入ったままになります。しかし、20分間何の動作も検知しない場合、バッテリーを保存するために、Tericの電源は自動的に切れます。

10.1. 日付と時刻

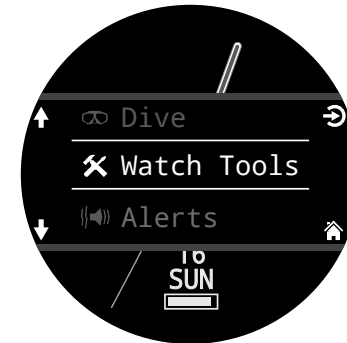
Tericでは、日付、時刻、その他の時計設定は、設定 (Settings) > 時計 (Watch) メニューで設定できます。



時計設定の詳細は、76ページの設定メニューの内容をご覧ください。

時刻を編集すると、ストップウォッチとタイマーがリセットされます。アラームは影響を受けません。

10.2. 時計ツール



時計の基本機能は全て時計ツール (Watch Tools) メニューで確認できます。

時計ツールは、時計モードのメインメニューからアクセスできます。

本セクションでは、時計ツールの詳細について説明します。

アラーム

2つのアラームが個別に設定できます。



各アラームともに次の様に指定できます。

- ・ 1回限り
- ・ 毎日
- ・ 平日
- ・ 週末

各アラームには通知機能が4種類あります。

- ・ 音
- ・ 振動
- ・ 音&振動
- ・ ビジュアルのみ



アラームとダイビングモードの警報は、通知機能設定を共有していません

アラームが始動したら、左ボタンを押してアラームをキャンセルするか、右ボタンを押してスヌーズにします。

スヌーズの間隔はアラームメニューで設定できます。



タイマー

Tericのタイマーは最大10時間までカウントダウンの編集ができます。

編集（左下ボタン）を押して、カウントダウンの長さや通知のタイプを編集します。



スタート前のタイマー



タイマーの編集

タイマーのカウントダウン時間および通知設定は、タイマー画面の下部に灰色で表示されます。



カウント中のタイマー

「+1」を押すとカウントダウンに1分追加されます。

終了通知は、いずれかのボタンを押すと解除できます。

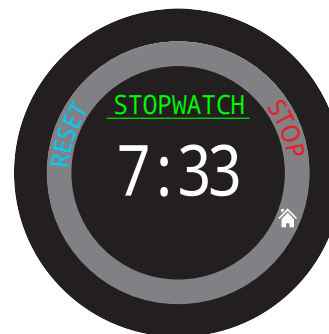
時計の「電源がオフ」であってもタイマーはバックグラウンドで動作し、終了通知が鳴ります。



タイマーの終了

ストップウォッチ

ストップウォッチはTericの全ての機能において普遍的です。時計モードでストップウォッチを開始すると、停止するまでどのダイビングモードであっても動作し続けます。



カウント中は、「ストップウォッチ」の表記が緑色になります。



停止している際は、「ストップウォッチ」の表記が赤色になります。

ゲージモードおよびフリーダイビングモードでは、ストップウォッチはデフォルトでメイン画面に表示されますが、カスタマイズすれば全てのダイビングモードで表示できます。



ストップウォッチはフリーダイビングモードおよびゲージモードではデフォルトで表示されます。

ストップウォッチは0.01秒まで表示され、たとえTericの「電源がオフ」になっていても、バックグラウンドで最大24時間まで動作します。



また、全てのモードでメイン画面に追加できます。

ゼロ以外の数字であればリセットできます。カウント中にリセットした場合は、再び0からカウントを続けます。停止中にリセットした場合は、0にセットされて止まったままになります。



フラッシュライト

フラッシュライトはTericの画面を最高の輝度にし、緊急時にライトの役割を果たします。真っ暗な部屋や洞窟でのみ有益です。

時計の文字盤

Tericでは、アナログ、デジタル、オービットの3種類の文字盤が利用できます。

文字盤の選択は時計ツールのメニューまたはデフォルトで選択でき、時計モードのFUNCボタンで切り替えられます。

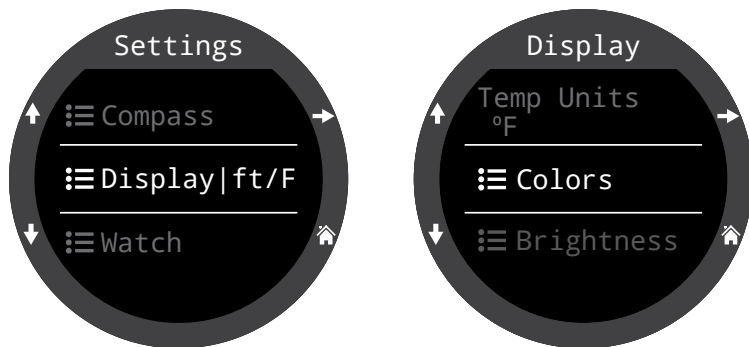
各文字盤には、様々な情報が表示できます。

INFOボタンを押すとすぐに情報のレベルが切り替えられます。

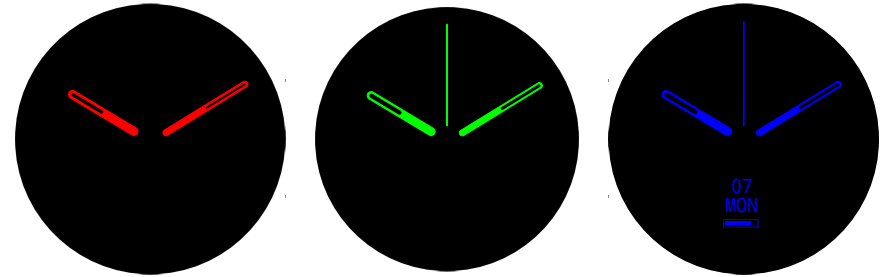
10.3. 文字盤の色

文字盤の色は15種類あり、100パターンを超える表示ができます。

文字盤の色は、設定 (Settings) > 表示 (Display) > 色 (Colors) で選択できます。



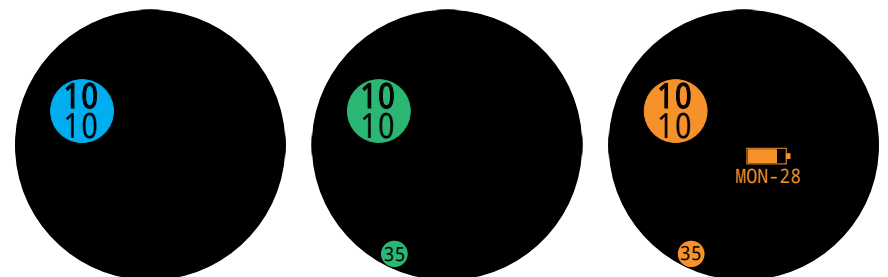
アナログ



デジタル



オービット



文字盤、情報レベル、文字盤の色を選択することで、100パターンを超える文字盤表示を生み出すことが可能です。



11. メニュー

メニューではアクションの実行と設定変更ができます。

全てのメニューにボタンのヒントがあり、移動が簡単に行えます。

1分間どのボタンも押さなければ、メニューシステムはタイムアウトし、メインスクリーンに戻ります。それまでに保存された記録はすべてそのまま保持されます。編集途中のものはすべて破棄されます。

適応メニュー

現在のモードに必要なメニューのみが表示されます。この様にすることで操作を簡単にして過ちを防ぎ、ボタンを押す回数を少なくしています。

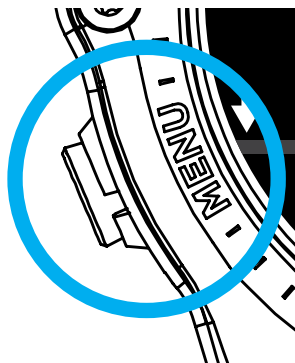
11.1. メインメニュー

Tericのメニューは全てメインメニューからアクセスでき、MENUボタンを押すとメイン画面にいつでも移動できます。

メインメニューの項目は、モードごとに加えて水面時でも大きく異なります。メニューで最も一般的に使用される項目をメインメニューの最上位に設置し、ボタンを押す回数を削減しています。

メインメニューの項目については、右側に、モード別の表示順一覧があります。次のセクションにて、各項目の詳細を説明していきます。

注記：項目欄が青色のものは水面時でのみ利用できます。



モード別のメニュー項目

時計	OC REC	OC TEC
ダイブ	時計	時計
時計ツール	ガスの選択	ガスの選択
警報	ダイブツール	ダイブツール
ログ	ガスの編集	ガスの編集
Bluetooth	警報	警報
設定	ログ	ログ
オフ	Bluetooth	Bluetooth
メイン画面	設定	設定
	オフ	オフ
	メイン画面	メイン画面

CC/B0	ゲージ	フリーダイビング
時計	時計	時計
CC >> B0	ダイブツール	FDセットの変更
SP 0.7 >> 1.3	警報	FDセットの編集
ガスの選択	ログ	ダイブツール
ダイブツール	Bluetooth	警報
ガスの編集	設定	ログ
セットポイント	オフ	Bluetooth
警報	メイン画面	設定
ログ		オフ
Bluetooth		メイン画面
設定		
オフ		
メイン画面		



ダイブ (Dive) /時計 (Watch)



選択したダイビングモード (Dive Mode) と時計モード (Watch Mode) とを切り替えます。

水面時でのみ利用できます。

時計ツール (Watch Tools)

時計モード (Watch Mode) でのみ利用できます。

時計の基本機能

- ・ アラーム
- ・ タイマー
- ・ ストップウォッチ
- ・ フラッシュライト
- ・ 選べる文字盤

54ページの「時計ツール」を参照してください。

ダイブツール (Dive Tools)

水面およびダイビング中のどちらでも、全てのダイビングモードで利用できます。

ダイブツールの各機能

- ・ コンパス
- ・ ストップウォッチ
- ・ ログのタグ付け
- ・ ダイブプラン
- ・ NDLプラン
- ・ 平均深度のリセット
- ・ 警報のテスト

全てのツールが全モードで利用できるわけではありません。例えば、ダイブプランナーはフリーダイビングモード (Freedive Mode) では利用できません。

39ページの「ダイブツール」を参照してください。

CC/BOの切り替え CC

現在のコンピュータの設定に応じて、この選択は、「CC >> BO」または「BO >> CC」のどちらかで表示されます。

このメニュー項目を選択すると表示されているモードへと切り替わり、減圧計算を行います。ダイビング中にベイルアウト (Bail Out) に切り替わると、計算を経て最も最適なベイルアウトガスが呼吸ガスになります。

この時点で、別のガスへの交換を希望するかもしれませんが、他に行うべきことがあるかもしれないため、ダイバーが選択するであろう「最適なガス」がコンピュータによって選ばれます。



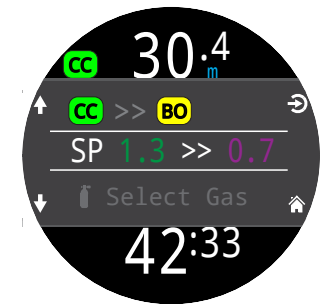
セットポイントの切り替え (SP 0.7 >> 1.3) CC

CCモードは、接続されていないリブリーザーの減圧を計算します。セットポイントはリブリーザーのセットポイントを概算するために、コンピュータ内で切り替わります。

ダイビング中、セットポイントの切り替えのメニュー項目はメイン画面の最初に表示され、「時計」表示は作動しません。

このメニューが表示されている際にSELECTを押すと、低セットポイントから高セットポイント、またはその逆にPPO2セットポイントが変わります。セットポイントのPPO2値を再設定するには、メインメニュー (Main Menu) > セットポイント (Set points) を使用してください。

セットポイントの切り替えメニュー項目では、PPO2セットポイントの手動切り替えを行います。セットポイント (Set Points) メニューでは、プログラム可能な深度でセットポイントを自動的に切り替えるようにTericを設定できます。ただし、CCモードではいつでもセットポイントの切り替えメニュー項目を利用して手動で管理できます。



ガスの選択 (Select Gas)

このメニューでは、ユーザーが作成したガスからガスが選択できます。選択されたガスはクローズドサーキットモードではディリユエントとして、オープンサーキットモードでは呼吸ガスとして使用されます。

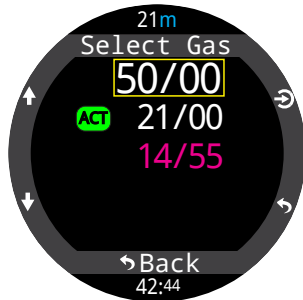
ガスは常に酸素の割合が多いものから順番に並べ替えられます。

上下にスクロールして望ましいディリユエント/ガスを探し、その後SELECTボタンを押してディリユエント/ガスを選択します。

「アクティブ (ACT)」アイコンが現在のアクティブガスの横に表示されます。

オフになっているガスはマゼンタで表示されますが、選択できます。選択すると自動的にオンになります。

プログラムされているがオフになっているガスは、減圧計算に使用されません。



ラジオ局のようなガス



Teric CC/B0システムでは、2セットのガスを管理します。1つはオープンサーキット用でもう1つはクローズドサーキット用です。

これは、車のラジオでAM局とFM局を操作する方法に非常に類似しています。

あるFM局を聞いている際に選局ボタンを押すと、別のFM局に移りますが、その新しい局は、あくまでもFM局の1つです。

同様に、AMモードにしている場合は、別の局に変えようが、それはあくまでもAM局の中の1つとなります。

ラジオ局のように、オープンサーキットの際に、ガスを追加や削除したり選択すると、オープンサーキットガスの中からガスを選ぶ仕組みになります。ラジオがFMモードの際にFM局を選択するのと同様、クローズドサーキットガスはクローズドサーキットモード中に利用することができます。オープンサーキットに切り替えると、利用できるガスはオープンサーキット用のガスになります。



ガスの編集 (Edit Gases)

ガスの編集 (Edit Gases) 機能では、4つの各スクーバモード用に最大5種類のガスが設定できます。

- ・ OC Rec
- ・ OC Tec
- ・ CC/B0
- ・ ペイルアウト

ガスを編集する場合は、使用する予定のモードの設定内で行う必要があります。

各ガスごとに、ガス内の酸素とヘリウムのパーセンテージが選択できます。残りは窒素とみなします。

OC Recモードでは、酸素濃度のみ編集できます。トライミックスはOC Recモードでは利用できません。

矢印キーを用いてガス一覧をスクロールし、編集したいガスを選択します。ガスの内容については、1回につき1つ数値が変更できます。黄色の欄内に編集できる数値が表示されます。

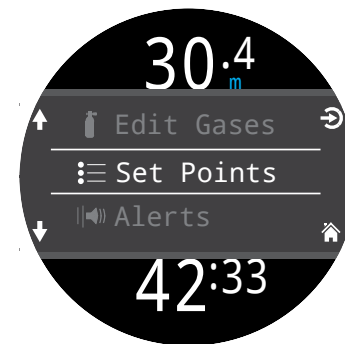
注記：「ACT」はアクティブガスの意味です。アクティブガスは削除できません。削除しようとするエラーが生じます。変更できますが、酸素とヘリウムの両方を00の値にすることはできません。



セットポイント (Set Point) CC

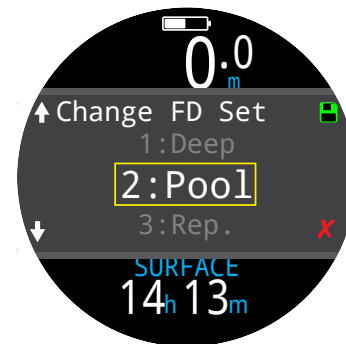
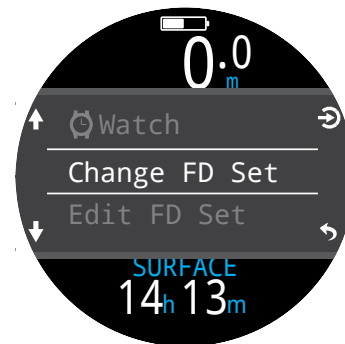
セットポイント (Set Point) メニューは、水面時およびダイビング中のCCモードおよびB0モードで利用できます。このメニューでは、セットポイントをハイとローに設定できます。

0.4~1.5の間で値が変更できます。



フリーダイビング (FD) セットの変更 (Change FD Set) FD

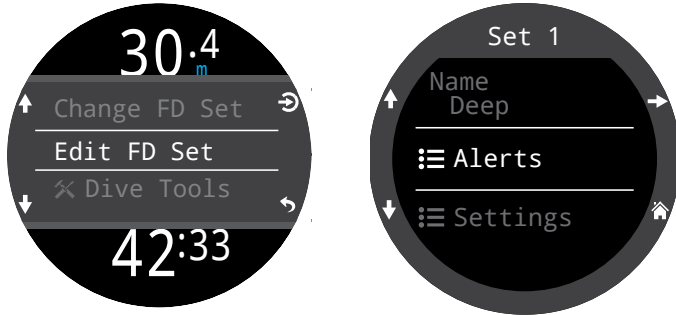
このメニュー項目では、フリーダイビングセット (Freedive Set) 間での変更ができます。





フリーダイビング (FD) セットの編集 (Edit FD Set) FD

このメニュー項目では、現在のフリーダイビングセットの編集ができます。



フリーダイビングセットとは、フリーダイビングの特定のタイプ用にカスタマイズされた各設定を集めたグループのことです。

名称

フリーダイビングセットの名称は変更できます。FDセット名称は最長4文字までとなり、水面時にフリーダイビングモードインジケータの隣に表示されます。



フリーダイビングセットのデフォルト設定

- ・ ディープ (Deep)
- ・ プール (Pool)
- ・ リピート (Rep.)

フリーダイビングの警報

現在のフリーダイビングセットの警報設定はこちらから設定できます。

フリーダイビングの警報は深度または時間で始動します。

フリーダイビングの全ての警報は、4秒経過するかクリアされるまで画面に表示されます。さらに、警報ごとに警報音および振動通知をそれぞれカスタマイズできます。



警報が作動し、保護スーツ越しに確実に音が聞こえ、振動を感じられるよう、41ページの「警報のテスト」を使用して警報を定期的にテストしてください。

フリーダイビングの警報の種類

情報 - 青色表示



警告 - 黄色表示



危険 - 赤色表示



フリーダイビングの警報	始動条件	警報の種類
通知1	深度	情報
通知2	深度	情報
警告深度	深度	注意
最大深度	深度	危険
浮上通知	深度	情報
時間通知	時間	情報
時間警告	時間	注意
最大時間	時間	危険
水面時間1	時間	情報
水面時間2	時間	情報
深度リピート	深度	情報
時間リピート	時間	情報
水面リピート	時間	情報



セット設定

水の種類

塩水または淡水となります。塩水の方が濃いため、この設定は深度に影響を及ぼします。

開始深度

ダイビング開始時の深度閾値のことです。

終了深度

ダイビング終了時の深度閾値のことです。

開始を遅らせる

開始深度閾値を超えてからダイビングが開始されるまでの時間のことです。ダイビングが開始されると、遅れた分の時間を潜水時間に追加して精度を保ちます。

終了を遅らせる

終了深度閾値を超えてからダイビングが終了するまでの時間のことです。ダイビングが終了すると、遅れた分の時間を潜水時間から差し引いて精度を保ちます。

警報 (Alerts)

水面時およびダイビング中のどちらでも、全てのモードで利用できます。

このメニューを使用して、Tericの警報通知を設定します。

全部で4種類のモードがあります。

- ・ サイレントモード (警報なし)
- ・ 警報音のみ
- ・ 振動のみ
- ・ 警報音と振動

現在の警報通知設定アイコンがメインメニューの「警報」の横に表示されます。

この設定は、全てのダイビングモードの警報に優先して適用されます。

ダイビングの事象や警告の通知方法は、ダイビングモードごとに個別に設定できます。これらの警報をカスタマイズするには、67ページのダイブ設定の「警報」を参照してください。

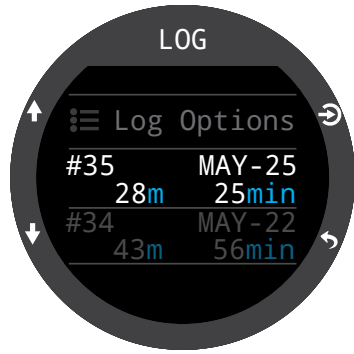
注意：タイマーおよびアラームには、タイマー/アラームごとに個別に通知が設定できるため、この設定によって全ての設定が変わるわけではありません。





ログ (Log)

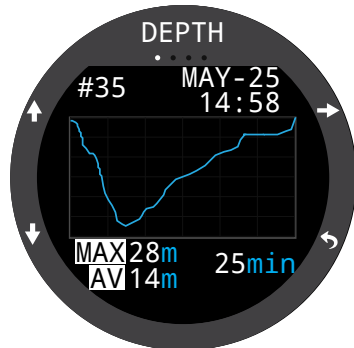
搭載されているログ機能は、OC Recモードの場合10秒ごとのログ速度で約500時間のダイブログを保存できます。



ログの最初のページを上下にスクロールすると、全てのダイビングを見ることができます。

ダイブ (右上ボタン) を選択して、ダイビングの詳細画面に移動します。

ダイビングの詳細画面内で上下にスクロールすると、ダイビングを変更できます。



ログ画面内の項目

- ・ ダイビング番号
- ・ ダイビングの日付と時刻
- ・ 最大深度
- ・ 平均深度
- ・ ダイビング時間
- ・ 温度グラフ
- ・ 開始および終了時のタンク圧
- ・ SAC
- ・ ダイビングモード
- ・ 水面休息
- ・ 水面圧力
- ・ 減圧設定
- ・ CNSの開始&終了

ログオプション

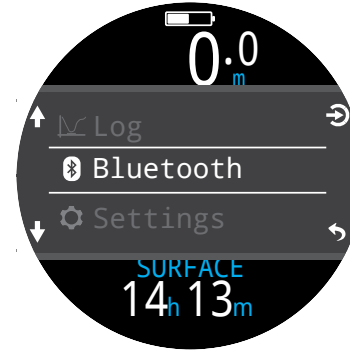
ログオプション (Log options) メニューでは、次回記録するログ番号をご自身が付けているダイブ番号と一致させることができます。

このメニューからログの削除や削除したログの復元もできます。

Bluetooth

Bluetoothはファームウェアのアップロードおよびダイブログのダウンロードに使用します。

このオプションを使用して、ダイブコンピュータのBluetooth機能を初期化します。



オフ (Off)

「オフ (Off)」はコンピュータがスリープモードになるためのアイテムです。スリープ中は表示は黒になりますが、組織の内容は反復潜水のために保持されます。

「オフ (Off)」項目は、ダイビング中は全てのモードで表示されません。また、ダイビングの終了を遅らせるで設定した時間が過ぎたり、ダイビングが手動で終了されるまでは、ダイビングが終了しても表示されず、続けてダイビングすることができます。

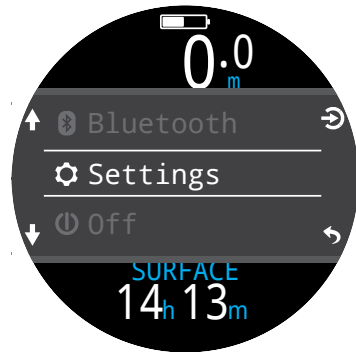
ダイビングの終了 (End Dive)

「ダイビングの終了 (End Dive)」では、ダイビングを遅らせる (End Dive Delay) で設定した時間になる前に、ダイビングを手動で終了させることができます。この機能は、ダイビングを遅らせるで時間を特に長く設定した場合に有益で、ダイビング終了後にすぐさまアクセスできるTericで唯一の水面時の機能です。



12. 設定について

設定 (Settings) メニューは水面時にTericのメインメニューからアクセスできます。

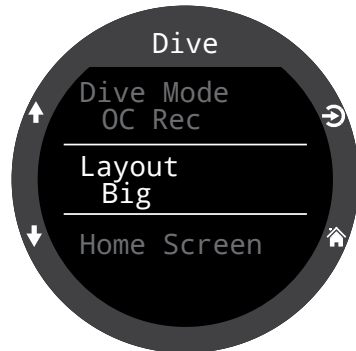
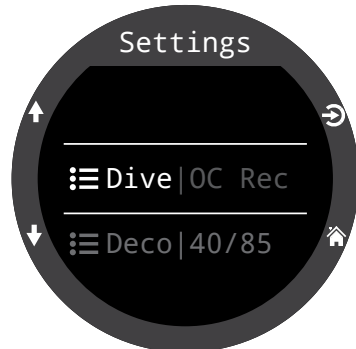


12.1. ダイブ設定 (Dive Settings) メニュー

設定メニュー内の最初の項目は、ダイブ設定 (Dive Settings) メニューです。この項目も現在のダイビングモードを便宜上灰色で表示します。

ダイビング設定のすべての設定は、ダイビングモードごとの個別設定となります。

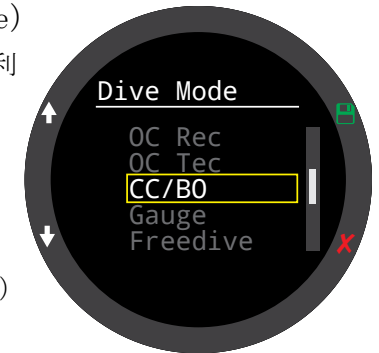
そのため、レイアウト、メイン画面、OC RecのFUNCボタン、OC Tecとの切り替えをカスタマイズする場合、ユーザー独自のOC Rec設定が保存されます。



ダイビングモード (Dive Mode)

全部で5つのダイビングモードが利用できます。

- ・ OC Tec
- ・ OC Rec (デフォルト設定)
- ・ CC/BO
- ・ ゲージ
(例: ボトムタイマーモード)
- ・ フリーダイビング

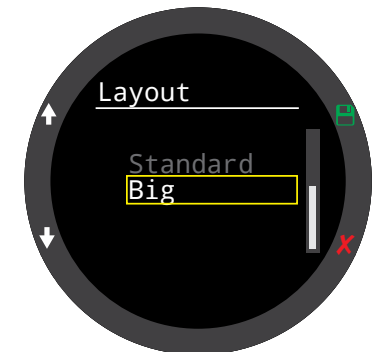
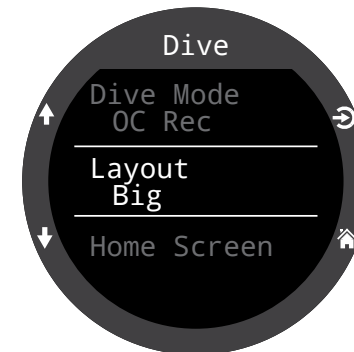


ゲージモードやフリーダイビングモードに切り替えると、減圧組織は消去されます。これらのモードの場合、Tericはどれが呼吸ガスか分からないからです。そのため、残留不活性ガス情報が追跡できません。それに応じて反復潜水を計画してください。

どのモードを選択するかは、10ページの「[ダイビングモードの区別](#)」を参照してください。

レイアウト (Layout)

ダイビング設定メニューのレイアウト (Layout) は、大文字 (Big) & 標準 (Standard) の2種類のレイアウトから選択するために使用するアイテムです。



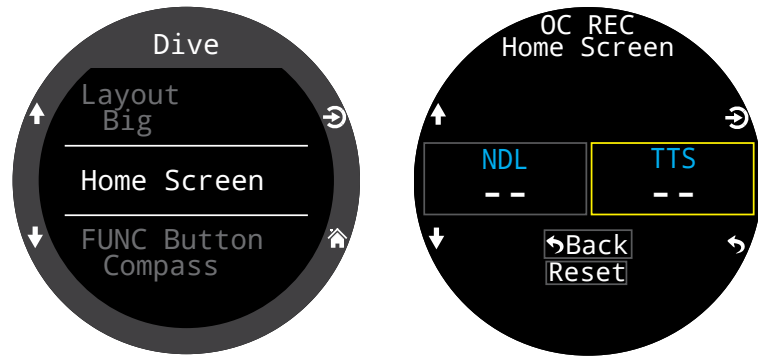
ダイビング設定のその他全ての設定と同様に、このオプションもダイビングモードごとの個別設定となります。

様々なダイビングモードに関する詳細は、11ページの「[メイン画面のレイアウト](#)」を参照してください。



メイン画面 (Home screen)

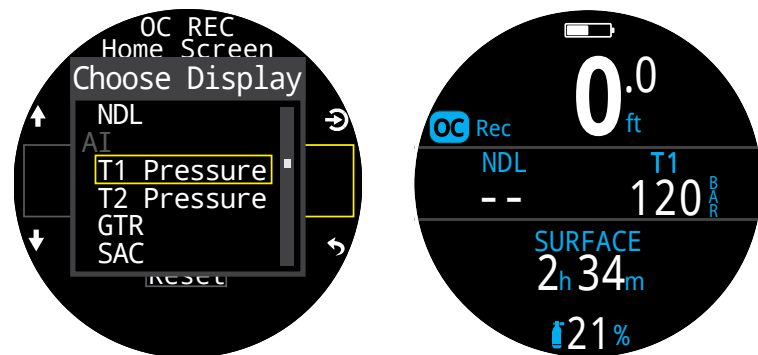
このオプションは、メイン画面の情報欄をカスタマイズする際に使用します。



大文字レイアウト (OC Recモードの場合デフォルト設定) では、左側にはNDLが常に表示されているため、右側の欄のみカスタマイズできます。

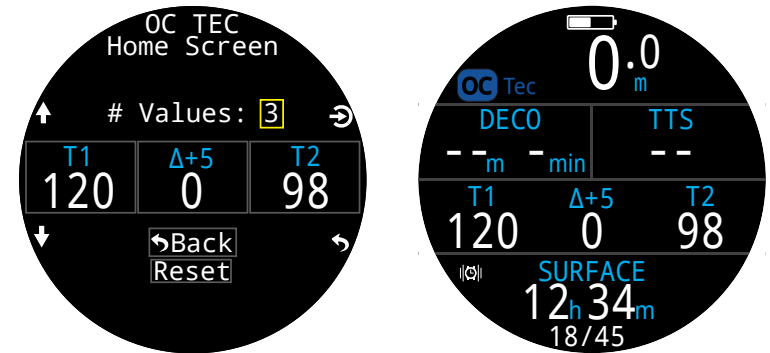
OC TecおよびCC/B0モードの場合、減圧ダイビング中はTTSを非表示にすべきではないため、大文字レイアウトでは一切カスタマイズできないのでご注意ください。

右側の欄を選択して、オプション一覧に移動します。矢印を使用して利用できるオプションをスクロール表示します。もう一度SELECTを押してオプションを一つ選択します。



標準レイアウトでは、情報欄の最初のページの全てがカスタマイズできます。

情報欄に表示したい情報の数を選択してから、各位置に設置したい情報の選択を開始します。



CC/B0モードでは、CCおよびB0のモードごとに個別にメイン画面のメニュー項目があります。この方法でベイルアウト画面のレイアウトを事前に最適化し、緊急時にボタンを押す回数を最小限に抑えることができます。

メイン画面のカスタマイズオプション一覧は、21ページをご覧ください。

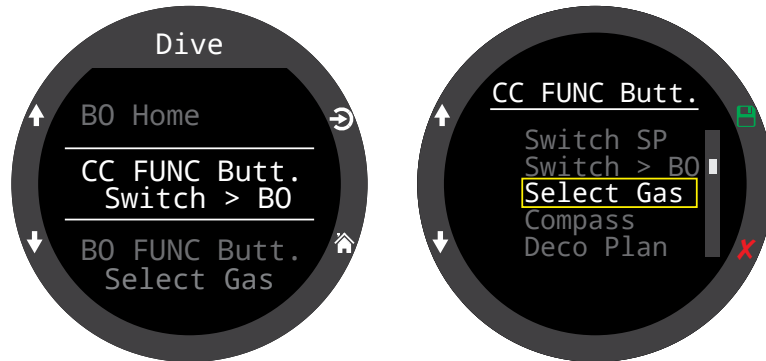




FUNCボタン

FUNCTIONボタン（右上）は全てのモードでカスタマイズでき、最も一般的に使用するツールへのショートカットとして使用できます。

ダイビング設定でFUNCボタンを使用して、ボタンのショートカットを選択します。



CC/BOモードでは、CCおよびBOごとに個別にショートカットを選択できます。この方法でコンピュータの操作を事前に最適化し、緊急時にボタンを押す回数を最小限に抑えることができます。

一部のオプションは特定のダイビングモードでのみ利用できます。各オプションのモードアイコンを見て、各オプションが利用できる対応モードを確認してください。モードアイコンがない場合は、全てのダイビングモードで利用できることを示します。

ダイビングモードでは、FUNCボタンのオプションは次の通りです。

FUNC設定	内容
SPの切り替え (Switch SP)	セットポイントをハイおよびローに切り替えます CC
切替 > BO (Switch > BO)	ダイビングモードをベイルアウトに変更します CC
切替 > CC (Switch > CC)	ダイビングモードをクロズドサーキットに変更します BO
ガスの選択 (Select Gas)	ガスの選択メニューを開きます CC OC Tec BO OC Rec
コンパス (Compass)	コンパスのポップアップ表示を開きます
減圧プラン (Deco Plan)	ダイブプランナーを開きます CC OC Tec BO OC Rec
ストップウォッチ (Stopwatch)	ストップウォッチのポップアップ表示を開きます
ログのタグ付け (Tag Log)	ログのタグ付けのポップアップ表示を開きます
メイン画面 (Home Screen)	メイン画面にすばやく戻ります
平均深度のリセット (Rst Av Depth)	平均深度をリセットします
アクションなし (No Action)	ショートカットが割り当てられていません



水の種類

水の種類（塩分）は、計測された圧力を深度に変換する際に影響を及ぼします。次の設定があります。

- ・ 淡水
- ・ EN13319
- ・ 塩水

淡水と塩水とでは濃度が約3%違います。塩水は濃度が増すほど、淡水の設定と比べて、同様に計測された圧力の深度よりも浅く表示されます。

EN13319の値は、淡水と塩水の間となります。ヨーロッパにおけるダイブコンピュータのCE基準に準拠し、Tericではこの値をデフォルト値としています。

ダイビングを遅らせる（End Dive Delay）

水面に上がってから現在のダイビングを終わらせるまでの間の時間を設定します。

この値は10秒から10分の間で設定できます。デフォルトでは10秒に設定されています。

短い水面休息時間を取っても、1回のダイビングとしてまとめたい場合は、この値を長めの時間に設定します。インストラクターによっては、コースを教えている間この値を長めに設定して使用します。一方、短く設定すると、水面に上がり次第ダイブモードが終了します。

ログ速度（Log Rate）

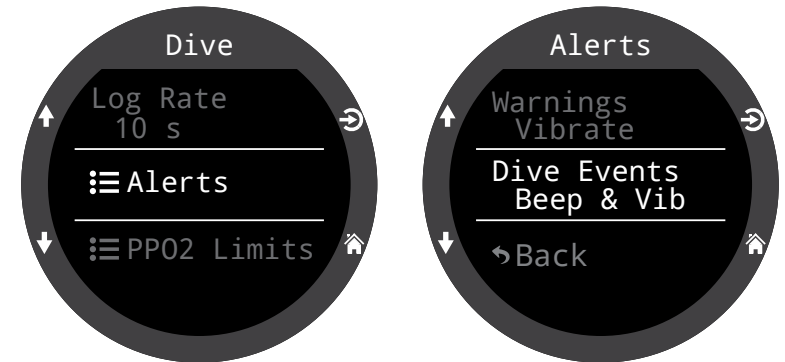
ダイビングのサンプル測定値がTericのログに追加される頻度を設定します。サンプル測定の頻度を増やすと、ログのメモリー容量が少なくなりますが、より高解像度のダイブログが得られます。

フリーダイビングモードのログ速度のデフォルト設定は1秒毎です。その他のモードは全て10秒毎です。

フリーダイビングモードの最大ログ速度は1/4秒毎です。その他のモードは全て2秒毎です。

警報（Alerts）

これらの設定では、警告やダイビング事象を個別に通知する設定を編集できます。



これは最上位の警報（Alerts）メニューとは異なりますのでご注意ください。それらの設定は現在行っている設定より優先的に適用されます。

ダイビング設定メニューのその他の特性と同様に、これらの警報設定は設定されたダイビングモード専用です。

全部で4種類の設定があります。

- ・ ビジュアルのみ
- ・ 警報音
- ・ 振動
- ・ 警報音&振動

警報の種類に関する詳細は、22ページの「警報」セクションを参照してください。

警報の一覧については、83ページの「警告と情報表示」セクションを参照してください。



PP02限界値 (PP02 Limits)

このセクションではPP02の限界値が変更できます。



警告

これらの値は、影響を十分に理解することなく変更しないでください。

全ての値は絶対圧[ATA]です (1 ATA = 1.013 Bar)

オープンサーキットの低PP02

この値よりも小さくなるとPP02は赤色で点滅します。(デフォルトは0.19)

OCモードのPP02

この値よりも大きく、なおかつ次の減圧停止より7.6m/25ft以上深いと、PP02は赤色で点滅します。(デフォルトは1.4)

この値は、ダイビングの最大深度の段階で最大限許容できるPP02の値です。

OC減圧のPP02

全ての減圧予測値(減圧スケジュールおよびTTS)は、PP02の値がこの値と同じかそれ以下で、なおかつ最も高いガスを、所定の深度で減圧に使用することを前提にしています。(デフォルトは1.61)

推奨するガスの切り替えは(現在のガスが黄色で表示されている場合)、この値により決定されます。この値を変更する場合は、それによって受ける影響を理解するようにしてください。

例えば、1.50に下げると、深度6m/20ftでの酸素(99/00)への切り替えを前提にしなくなります。

減圧段階中(次の減圧停止深度の7.6m/25ft以内)に、この値よりも大きくなるとPP02は赤色で点滅します。

クローズドサーキットの低PP02

この値よりも小さくなるとPP02は赤色で点滅します。(デフォルトは0.40)

クローズドサーキットの高PP02

この値よりも大きくなるとPP02は赤色で点滅します。(デフォルトは1.60)

限界値のリセット

このダイビングモード用のPP02限界値をリセットすると、デフォルト設定に戻ります。

注記: OCモードとCCモードのどちらも限界値を30秒以上違反した場合、「低PP02 (Low PP02)」または「高PP02 (High PP02)」警告が表示されます。

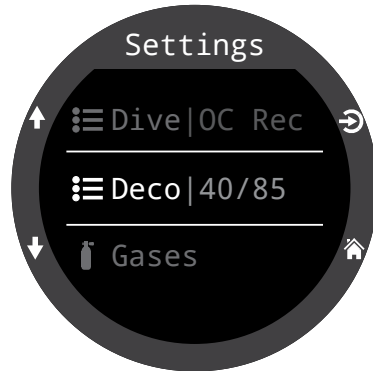


12.2. 減圧 (Deco) メニュー

減圧設定 (Deco Settings) メニューでは、減圧アルゴリズムを調整することができます。

この項目の右側には現在選択されているGF (グラディエントファクター) の値が表示されます。

ダイビング設定メニューと同様に、このメニューで変更された設定は、現在使用しているダイビングモードにのみ適用されます。



減圧モデル (Deco Model)

ここでは、ビュールマンZHL-16グラディエントファクターが使用されていることを示す「ZHL 16C+GF」とだけ表示されます。

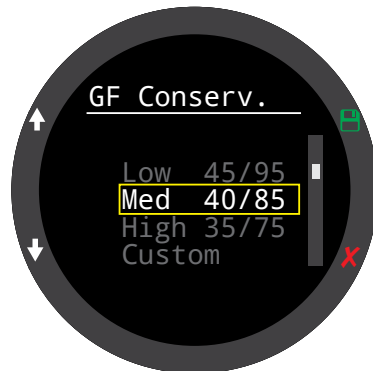


GF保守性 (GF Conserv.)

事前に設定された3種類のレベルの保守性が利用できます。保守性の低い順に以下の通りになります。

- ・ 低 (45/95)
- ・ 中 (40/85)
- ・ 高 (35/75)

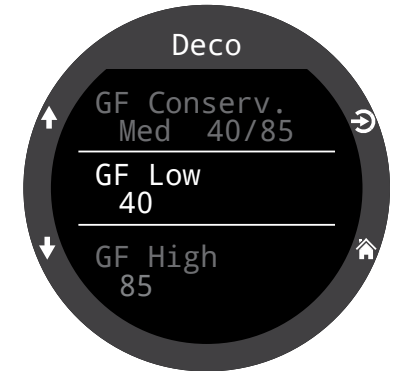
中程度の保守性は、OC Recモードではデフォルト設定です。



各ダイビングモードごとに、オプションでGFのカスタマイズもできます。

カスタム (Custom) が選択されるとGFロー (GF Low) およびGFハイ (GF High) を編集するフィールドが減圧メニューに表示されます。

OC TecおよびCC/B0モードでは、30/70でカスタムがデフォルト設定されています。



GFアルゴリズムの詳細とGFロー&ハイの意味については、Erik Baker氏が執筆した[Clearing Up The Confusion About “Deep Stops”](#)と[Understanding M-values](#)を参照してください。これらの記事はウェブで閲覧できるようになっています。

詳細は、26ページの「減圧とグラディエントファクター」セクションも参照してください。

最終停止 (Last Stop)

ここでは、最終停止深度が選択できます。選択肢は3m/10ftまたは6m/20ftです。この設定が減圧に影響しないか注意してください。TTSの予測をより正確にしてください。

安全停止 (Safety Stop)

安全停止 (Safety Stop) 設定は OC Recモードにのみ表示されます。次の値に設定できます。



- ・ オフ (Off)
- ・ 3分
- ・ 4分
- ・ 5分
- ・ 調整 (Adapt)
- ・ ゼロからのカウント (Count Up)



調整 (Adapt) 設定を使用する場合、3分間の安全停止が適用されます。ただし、潜水深度が30m (100ft) を超えた場合またはNDLが5分未満になった場合は、5分間の安全停止が適用されます。

詳細は、24ページの「安全停止」をご覧ください。

クリアカウンタ

(Clear Counter)  

クリアカウンタ (Clear Counter) 設定は、OC TecおよびCC/B0モードでのみ利用できます。

OC TecおよびCC/B0モードでは、減圧義務がクリアされるとクリアカウンタがゼロからカウントするようデフォルト設定されています。こちらからオフにできません。



詳細は、25ページの「減圧停止」をご覧ください。



12.3. ガス

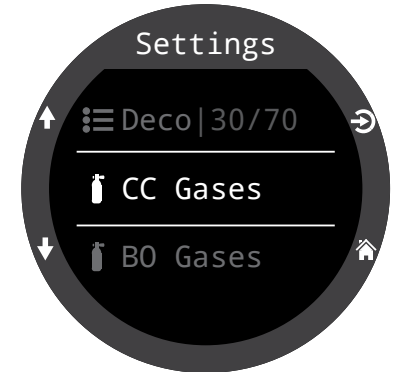
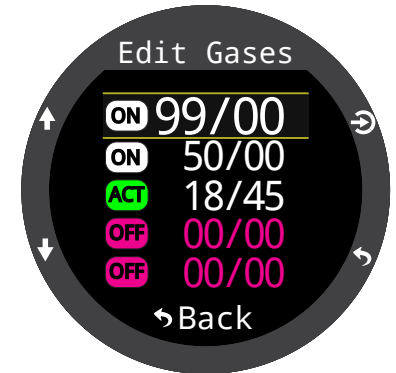
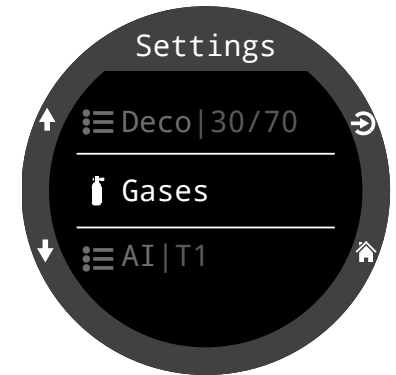
TericではOC Rec、OC Tec、CC、B0モードでプログラム可能な5種類のガスをサポートしています。

この設定はメインメニューのガスの編集 (Edit Gases) と同一ですが、他のダイビング設定にも配置されており便利です。

ガスの設定方法に関する詳細は、60ページの「ガスの編集」セクションを参照してください。

CC/B0モードでは、CCディリュエントとB0オープンサーキットガスの両リストに直接アクセスでき、メインメニューのガスの編集からガスを確認するために2つの操作モード間を切り替える必要がありません。

OC TecモードとB0モードは同一のガスリストを共有しているのでご注意ください。一方を編集するともう一方も編集されます。



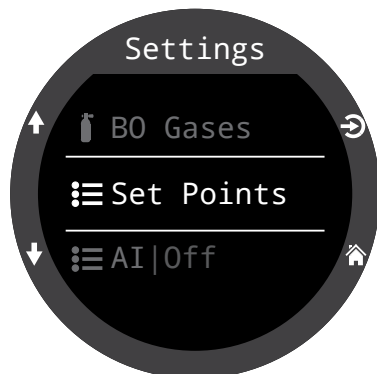


12.4. セットポイント (Set Points) CC

この項目はCC/B0モードでのみ利用できます。

ハイ&ローセットポイント

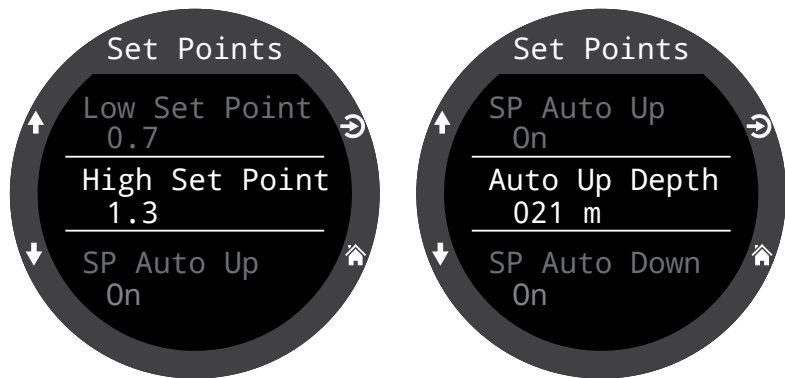
メインメニューのセットポイントの選択肢と同様に、このメニューではセットポイントのハイ&ローを編集できます。



セットポイントの自動切り替え

このメニューではセットポイントを自動で切り替えるために、**SP自動アップ (SP Auto Up)**と**SP自動ダウン (SP Auto Down)**も利用できます。いずれか一方のみまたは両方に設定するか、あるいはどちらも設定しないこともできます。

SP自動アップ (SP Auto Up) を利用して、数値を上げる切り替えを自動または手動のどちらかに設定します。



SP自動アップ (SP Auto Up) が「オン (On)」に設定されている場合、自動アップ深度 (Auto Up Depth) を使用して自動切り替えが行われる深度を設定します。

セットポイントを下げる切り替えは、同様の手順で行います。

例：

アップ (Up) : 0.7 > 1.3	自動アップ深度 = 21m
ダウン (Down) : 1.3 > 0.7	自動ダウン深度 = 5m

ダイビングを0.7のセットポイントで開始するとします。21mより深く潜降すると、セットポイントが1.3まで「アップ (Up)」に切り替わります。

潜水時間が終了し、浮上を開始します。5mよりも浅く浮上すると、0.7まで「ダウン (Down)」に切り替わります。

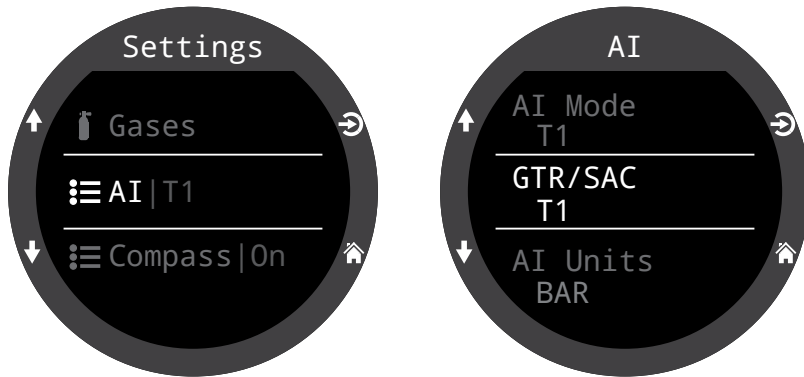
切り替えを「自動 (Auto)」に設定した場合は、ダイビング中にいつでも手動で設定を上書きできます。

自動切り替えは指定した深度を超えた場合にのみ作動します。例えば、「アップ (Up)」の深度を15mに設定するとします。低いセットポイントでダイビングを開始し、その後15mより深く潜降すると、セットポイントは自動的にハイに切り替わります。例えば24mの時点でセットポイントを手動でローに戻すと、セットポイントはローのままになります。15mよりも浅く浮上して、再び15mより深く再潜降すると、自動セットポイント切り替えがもう一度作動します。Tericでは、上に切り替える深度と下に切り替える深度との間に6m (20ft) の差異を強制的に入れることで、わずかな違いによってセットポイントが急に自動で切り替わるのを防止しています。0.7および1.3という値は、一例として示しただけです。ハイ&ローセットポイントは、セットポイントメニューで他の値を入れて変更できます。



12.5. AI

設定メニュー (Settings menu) はダイビング中に操作できないため、AI設定はダイビング前の水面にて必ず全ての設定を行ってください。



AIモード (AI Mode)

AIモードは、AIを無効にしたり、有効化するトランスミッターを選択するのに使用します。

AIモード設定 (AI Mode Setting)	内容
オフ (Off)	AIのサブシステムの電源が完全に切れており、電力を一切消費しません。オン (On) の場合は、AIの電力消費量が約10%上昇します。
T1	トランスミッター (タンク) 1が有効。
T2	トランスミッター (タンク) 2が有効。
T1&T2	両方のトランスミッターが有効。



AIを使用しない時は、AIモード (AI Mode) をオフ (Off) に設定してください

AIを使用しない時に有効化したままにしておくと、バッテリーの寿命が短くなります。ペアリングしたトランスミッターが応答しない場合、Tericはさらに活発にスキャンする状態になります。この結果、AIをオフ (Off) にしている状態よりも電力を約25%多く消費します。通信が確立されると、消費電力はAIをオフ (Off) にしている状態よりも約10%低下します。

GTR/SAC

タンク内の残圧時間 (GTR) とは、水面まで10m/分 (33 f t /分) の速度で直接浮上する場合に、予備残圧で浮上することになるまで現在の深度およびSACレートにとどまっている時間 (分) のことです。SACレートは、直近2分間のダイビングの平均値であり、これを基にGTRを算出します。

GTR/SACはタンク1本のみに基づいて算出されます。

GTR/SAC設定 (GTR/SAC Setting)	内容
オフ (Off)	GTRが無効。SACも無効。
T1	トランスミッター (タンク) 1がGTRおよびSACの算出に使用されています。
T2	トランスミッター (タンク) 2がGTRおよびSACの算出に使用されています。

GTRおよびSAC表示は、49ページの「AI表示」セクションに記載されています。

GTRの算出方法については、53ページをご覧ください。

SACの算出方法については、52ページをご覧ください。



T1/T2セットアップ (T1/T2 Setup)

T1/T2セットアップ (T1/T2 Setup) メニューページでは、各トランスミッターおよびタンクをそれぞれ設定することができます。

シリアル番号のセットアップ (Serial Number Setup)

各トランスミッターには、6桁の固有のシリアル番号があります。この番号はトランスミッターの側面に刻まれています。

このシリアルナンバーを入力して、トランスミッターとT1をペアリングします。この番号は一度入力するだけで済みます。全ての設定と同様に、永続メモリーに保存されます。トランスミッターの設定は、全てのダイビングモードで保存されます。

予備残圧 (Reserve Pressure)

予備残圧の入力

予備残圧範囲は、28~137 Bar (400~2000 PSI) です。

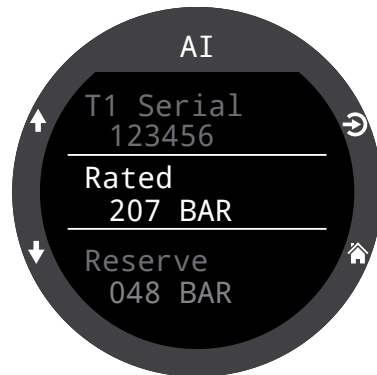
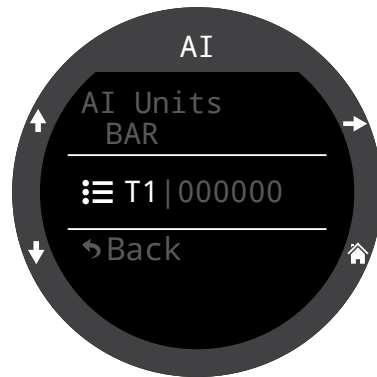
予備残圧設定は次の用途で使用します。

- 1) 残圧が少なくなった際の警告
- 2) タンク内の残圧時間 (GTR) の算出

タンク内の残圧がこの設定値以下に下がると、「予備残圧 (Reserve Pressure)」警告が発せられます。

タンク内の残圧が21 Bar (300 PSI) より大幅に下がる、または予備残圧の半分以下に下がると、「危険な圧力値 (Critical Pressure)」警告が発せられます。

例えば、予備残圧を48 Barに設定した場合、危険警告は24 Bar (48/2) で発せられます。予備残圧を27 Barに設定した場合は、危険警告が21 Barで発せられます。



12.6. コンパス (Compass)

有効化 (Enable)

コンパスを無効化すると情報欄に表示されなくなります。これによって表示のリフレッシュレートが抑えられ、若干の節電ができます (約10%)。

外輪のオーバーレイ表示 (Outer Ring)

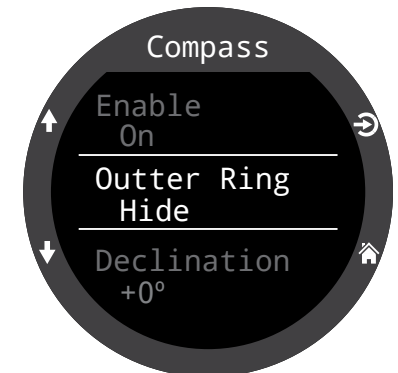
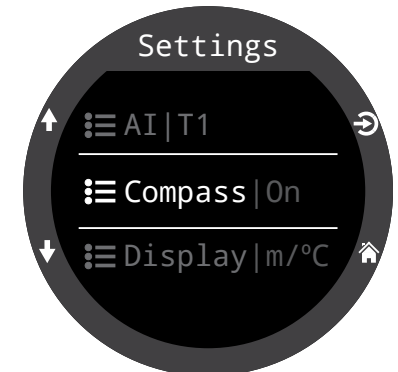
コンパス外輪のオーバーレイ表示を切り替えます。これはコンパスのポップアップ表示からも切り替えられます。詳細は、39ページの「コンパスのポップアップ表示」セクションをご覧ください。

偏角 (Declination)

多くの場合、コンパスは真北ではなく磁北を指します。これら2つの方位の間の角度差を磁気偏角 (または磁気変動) と呼び、その値は世界中で異なります。現在いる場所の偏角は、地図やオンライン検索で見つけられます。

値は-99° ~+99° の間で設定できます。

無修正型コンパスに合わせるだけの場合や相対方向に基づいてナビゲーションする場合、この設定は不要となり、0° のままにできます。





キャリブレーション (Calibrate)

コンパスのキャリブレーションは、時間の経過と共に精度が不安定になった時や、永久磁石や強磁性金属（鉄、ニッケルなど）の物体をTericに接近させた場合に必要になる可能性があります。キャリブレーションを行うには、このような物体がTericと共に移動できるようにTericに設置しなければなりません。

キャリブレーションの必要性を判断するには、Tericを良好なコンパスまたは一定の基準と比較します。一定の基準と比較する際は、その場所での磁北と真北（偏角）の角度差を必ず考慮してください。

一般に別の場所へ移動する際は、キャリブレーションは不要です。この場合に必要な調整は真北（偏角）となります。

キャリブレーションを行う際は、Tericを15秒間の間途切れることなく可能な限り、あらゆる方向に向けたり回したりしてください。キャリブレーション中は金属や磁気を帯びた物体を遠ざけてください。キャリブレーションも工場出荷時の値にリセットできます。キャリブレーション後は、既知の良好なコンパスまたは一定の基準と比較してコンパスの精度を確認するようお勧めします。

コンパスのキャリブレーションを適切に行うためのヒント

- ・ 金属の物体から離れて行います。例えば腕時計、金属の机、ボートデッキ、デスクトップコンピュータなどは、いずれも地球磁場に干渉する可能性があります。
- ・ 上下や横向きなど、可能な限り様々な角度に回転させてください。
- ・ 他のコンパスと比較し（スマートフォンは精度が低いので避けてください）、キャリブレーションをチェックしてください。

12.7. ディスプレイ (Display)

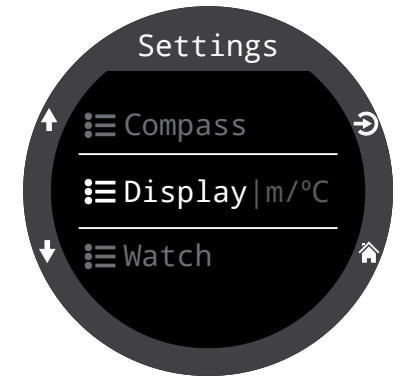
深度および温度を示す単位は、表示設定メニューのオプションで表示されます。

深度単位 (Depth Units)

フィートまたはメートルで設定できます。

温度単位 (Temp. Units)

°F（華氏）または°C（摂氏）で設定できます。



色 (Colors)

Tericは表示する色を変更してコントラストを加え、見た目にも分かりやすくできます。

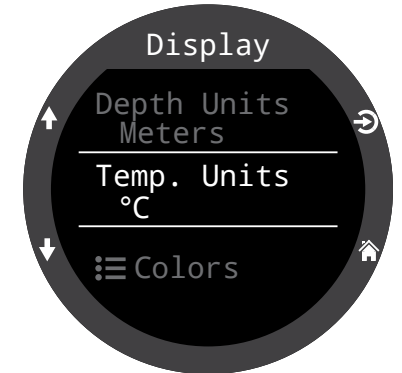
テーマ (Themes)

事前に設定された4色のテーマカラーが利用できます。

- ・ スタンダード (Standard)
- ・ サンライト (Sunlight)
- ・ ナイト (Night)
- ・ プレデター (Predator)

各テーマごとにTeric UIの全体的な外観が変わります。

事前に設定されているこうしたテーマに加え、配色も様々なカスタマイズできます。「スタンダード (Standard)」オプションを選択して、色をデフォルト設定にリセットします。





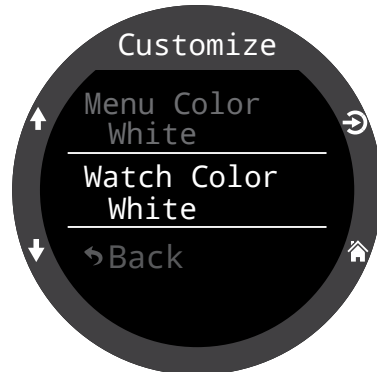
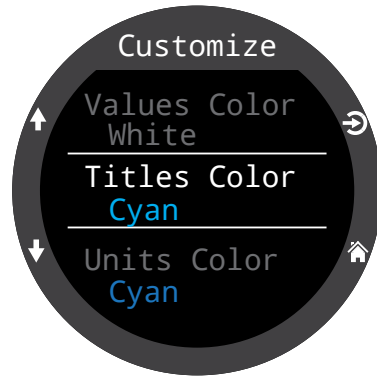
色のカスタマイズ (Customize Colors)

数値、タイトル、単位、メニューのテキスト、文字盤などの色がこのメニューよりすべてカスタマイズできます。

15色より選択できます。

色の種類

- ・ ホワイト
- ・ レッド
- ・ グリーン
- ・ ブルー
- ・ シアン
- ・ マジェンタ
- ・ イエロー
- ・ オレンジ
- ・ ピンク
- ・ ライム
- ・ パステルグリーン
- ・ グレープフルーツ
- ・ アイス
- ・ バイオレット
- ・ パープル



輝度 (Brightness)

輝度 (Brightness)

この設定は、TericのLIGHT (右上) ボタンと同一の機能です。

画面の輝度は4段階で設定できます。

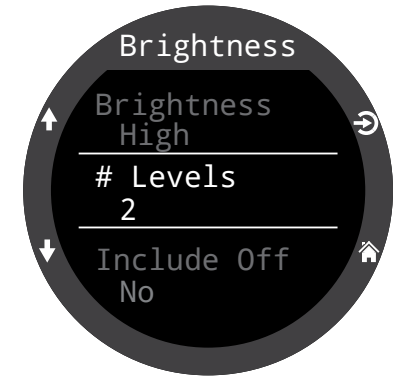
オプション

ディム (Dim): 洞窟などの状況に特化。

低 (Low): バッテリー寿命が2番目に長い。

中 (Med): 読みやすい上にバッテリーの節約もできる、最善の輝度です。

高 (High): 最も読みやすい輝度。特に明るい太陽光の下での環境に適しています。



#レベル (# Levels)

この設定では、LIGHTボタンを押すと循環して表示される輝度の段階数を規定します。また、上記の輝度 (Brightness) メニュー設定に表示される輝度の段階数もこれに合わせて変化します。

オフの組み込み (Include Off)

この設定では、LIGHTボタンを押した場合にオフ (OFF) をオプションとして利用可能にするかどうかを決定します。

Tericのバッテリー寿命は、「オフ (OFF)」にすると劇的に改善されます。自宅でTericを充電して来るのを忘れ、バッテリー消費量が懸念される場合に、この機能が便利です。



12.8. 時計 (Watch)

時刻表記

時刻表記は2種類より選べます。

- ・ 12時間制
- ・ 24時間制

時刻 (Time)

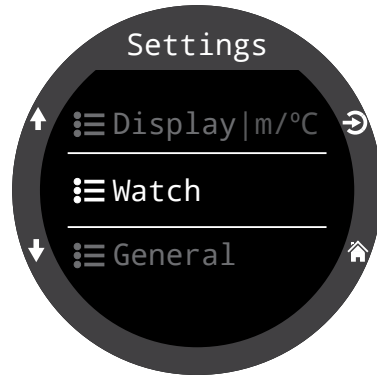
時刻はこちらで設定します。

日付 (Date)

日付はこちらで設定します。

タイムゾーン (Time Zone)

タイムゾーン (Time Zone) の設定で、旅行先の時刻に簡単に合わせられます。下記の表より、最寄りの場所のUTC時刻 (協定世界時) を探します。



UTCタイムゾーン	地域/都市名
+13:00	トンガ
+12:00	オークランド
+11:00	ソロモン諸島
+10:00	シドニー
+9:00	東京
+8:00	中国
+7:00	バンコク
+6:00	ダッカ
+5:45	ネパール
+5:30	ムンバイ
+5:00	カラチ
+4:30	カブール
+4:00	セーシェル
+3:30	テヘラン

UTCタイムゾーン	地域/都市名
+3:00	イスタンブール
+2:00	ケープタウン
+1:00	パリ
0:00	ロンドン
-1:00	アゾレス諸島
-3:00	リオデジャネイロ
-4:00	ハリファックス
-5:00	ニューヨーク
-6:00	メキシコシティ
-7:00	デンバー
-8:00	ロサンゼルス
-9:00	アンカレッジ
-10:00	フランス領ポリネシア
-11:00	アメリカ領サモア

サマータイム

タイムゾーンを変更する必要はなく、時刻に1時間加えるだけです。

FUNCボタン

時計モード用のFUNCボタンのショートカットを設定します。

FUNCボタンオプション

FUNCボタンには様々なオプションがあり、各モードごとに個別に設定できます。時計モードには8種類のオプションがあります。

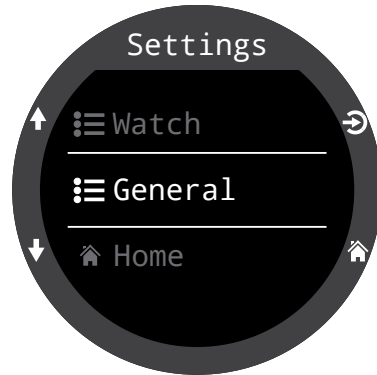
FUNC設定	内容
文字盤 (Watch Face) (デフォルト)	デジタル、アナログ、オービットが順に表示されます
フラッシュライト (Flashlight)	フラッシュライト機能をオンにします
アラーム (Alarms)	アラームメニューを表示します
ストップウォッチ (Stopwatch)	ストップウォッチのポップアップ表示を開きます
タイマー (Timer)	タイマーのポップアップ表示を開きます
電源を切る (Turn Off)	Tericの電源を切ります
アクションなし (No Action)	ショートカットが割り当てられていません



12.9. 一般情報 (General)

ユーザー情報 (User Info)

このメニューを使用して所有者情報 (Owner Info) 画面に表示される情報を変更します。



バッテリー (Battery)

急速充電 (Quick Charge)

急速充電 (Quick Charge) を有効にするとTericを多少早く充電できます。ただし、全てのUSBポートが急速充電に十分な電流を供給しているわけではありません。

急速充電はデフォルト設定では無効になっています。急速充電を有効にしているTericの充電がうまくいかない時は、急速充電を無効にすることで解決する場合があります。

デフォルト (Default)

変更された全てのオプションを工場出荷時の状態にリセットし、Teric内の組織負荷を消去します。デフォルトにリセットした後は、再び元に戻すことはできません。

注記： ダイブログの削除やダイブログナンバーのリセットが行われるわけではありません。

システム情報 (System Info)

システム情報 (System Info) セクションには、コンピュータのシリアル番号に加えて、トラブルシューティングの際に技術サポートに伝えるその他のテクニカル情報が表示されます。



13. ファームウェアのアップデートとログのダウンロード

お持ちのダイブコンピュータのファームウェアを最新の状態にしておくことは大切です。新機能や改善に加え、ファームウェアのアップデートによって重要なバグの修正が行えるからです。

Tericのファームウェアをアップデートする方法は2種類あります。

- 1) Shearwater Cloud Desktopの使用
- 2) Shearwater Cloud Mobileの使用

Tericは、Shearwaterの初代デスクトップ用アプリケーションをサポートしていませんのでご注意ください。



ファームウェアをダウンロードすると、減圧組織の負荷がリセットされます。それに応じて反復潜水を計画してください。



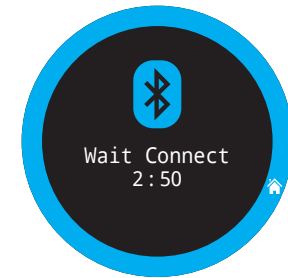
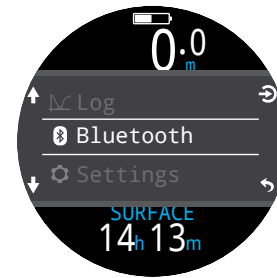
アップデートの実行中は、画面がチラついたり、数秒間黒くなることがあります

13.1. Shearwater Cloud Desktop

必ず最新版のShearwater Cloud Desktopをご利用ください。[こちらより入手できます。](#)

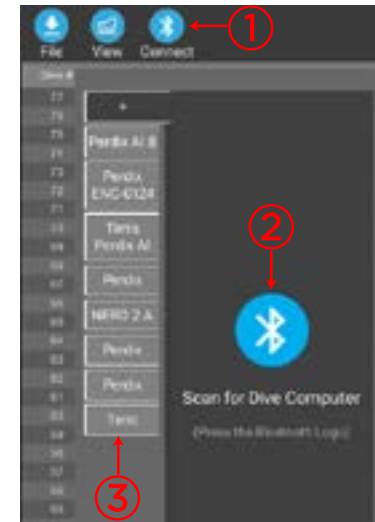
Shearwater Cloud Desktopへの接続

Tericのメインメニュー画面より、Bluetoothメニューを選択してBluetoothを始動させます。



Shearwater Cloud Desktop側

1. 接続アイコンをクリックして、接続タブを開きます
2. ダイブコンピュータをスキャンします
3. 一旦コンピュータに接続すると、次回からはTericのタブを使用してすばやく接続できます



Shearwater Cloud Desktop接続タブ

一旦Tericに接続すると、接続タブにダイブコンピュータの画像が表示されます。

ダイブログのダウンロード

接続タブより「ダイブログのダウンロード (Download Dives)」を選択します。

ログの一覧が生成されます。ダウンロードを希望しないダイブログは未選択にして「OK」を押します。

Shearwater Cloud Desktopがコンピュータにダイブログを転送します。

初めてTericからダイブログをダウンロードする際は、Tericに名前を付けるよう求められます。Shearwaterダイブコンピュータを複数台所有している場合に、ログがどのダイブコンピュータからダウンロードしたものかを簡単に見分けられるようになります。



Shearwater Cloud Desktop
接続タブ



ダウンロードしたいログを選択してOKを押します



ファームウェアのアップデート

接続タブより「ファームウェアのアップデート (Update Firmware)」を選択します。

Shearwater Cloud Desktopが利用可能な最新のファームウェアを自動で選択します。

入力を促されたら、使用する言語を選択してアップデートを確認します。

Tericの画面にはファームウェアの受信状況がパーセント表示され、その後完了すると、「ファームウェアが無事にコンピュータに送信されました (Firmware successfully sent to the computer)」とパソコンに表示されます。



ファームウェアのアップデートの所要時間は15分です。



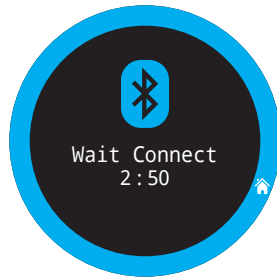
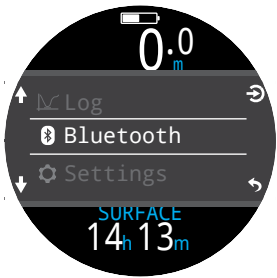
13.2. Shearwater Cloud Mobile

必ず最新版のShearwater Cloud Mobileをご利用ください。

Google PlayまたはApple App Storeよりダウンロードできます。

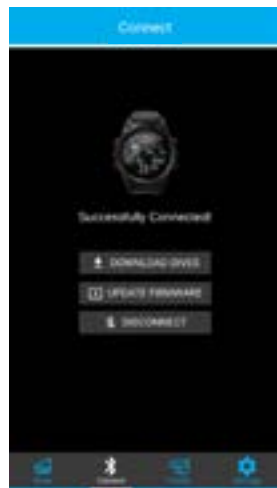
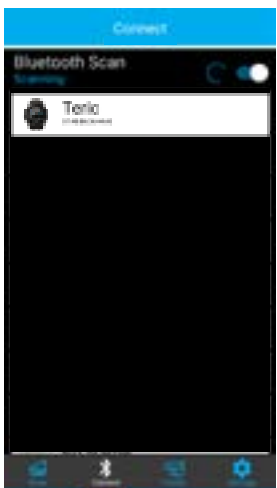
Shearwater Cloud Mobileへの接続

Tericのメインメニュー画面より、Bluetoothメニューを選択してBluetoothを始動させます。



Shearwater Cloud Mobile側

1. 画面下部の接続アイコンを押します
2. Bluetooth機器一覧よりTericを選択します



ダイブログのダウンロード

「ダイブログのダウンロード (Download Dives)」を選択します

ログの一覧が生成されます。ダウンロードを希望しないダイブログは未選択にして「OK」を押します。

Shearwater Cloudがスマートフォンにダイブログを転送します。



ファームウェアのアップデート

TericがShearwater Cloud Mobileに接続したら、接続タブより「ファームウェアのアップデート (Update Firmware)」を選択します。

Shearwater Cloud Mobileが利用可能な最新のファームウェアを自動で選択します。

入力を促されたら、使用する言語を選択してアップデートを確認します。

Tericの画面にはファームウェアの受信状況がパーセント表示され、その後完了すると、「ファームウェアが無事にコンピュータに送信されました (Firmware successfully sent to the computer)」とモバイルアプリに表示されます。

ファームウェアのアップデートの所要時間は15分です。



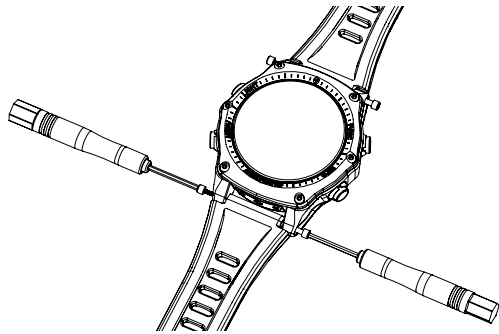
14. Tericのストラップ

同梱のTericストラップは、ウェットスーツやドライスーツに滑ることなくしっかり固定できるよう、伸縮性と耐久性に優れたシリコン製で作られています。ストラップには多数のオプションがあります。



延長する際は、同梱のエクステンダーストラップを利用します。

ストラップはステンレススチール製のラグを通じて固定されていますが、標準の1.5mm六角ドライバー（同梱）を使用して簡単に取り外し、別のストラップに付け替えることができます。



また、22mm幅の既製のストラップと互換性があるため、カスタマイズの可能性は無限に広がります。

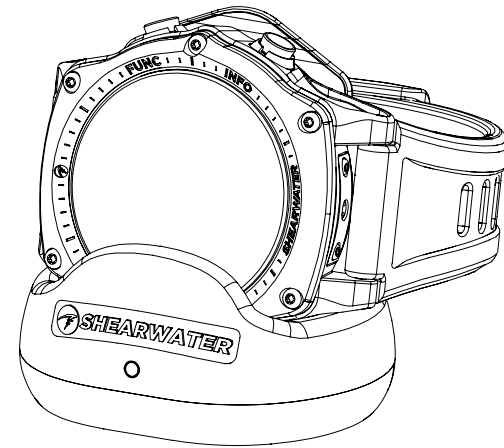


ラグのネジは締めすぎないでください。きつくなったり感じたら、締めるのをやめます。締めすぎると、ねじ山が損傷を受けます。

ラグ用ネジが別途箱内に同梱されています。

15. 充電

Shearwater Tericは、同梱のマウント式充電器およびQi規格に準拠した第三者のワイヤレス充電器にセットすると、ワイヤレスで充電します。



マウント式充電器にセットすると、時刻表示が見えやすいように画面が90度回転します。

画面は、画面とバッテリーの長期的な寿命を維持するために、20秒経過するとオフになりますが、いずれかのボタンを押すと始動して時刻が表示されます。

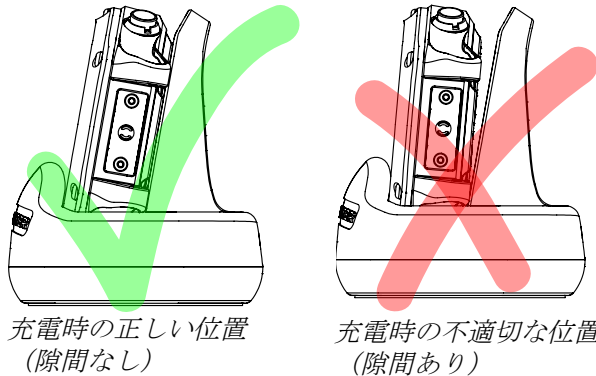
SUNボタンで画面の輝度を調整し、OFFボタンで画面をオフにします。

Tericを充電している間は、ダイビングモード機能は利用できません。



充電時の設置位置

ワイヤレス充電は、トランスミッションと受信コイルが適切な位置に合わさっていない、または空間が大きく開きすぎていると、すぐに効率が悪くなります。



最も効率よく、最速で充電したいのであれば、必ずTericが充電器にぴったりと接するようにしてください。

Tericが充電を停止し、充電器のライトが赤色点滅を始めた場合は、Tericを取り外した後にセットし直せば、充電が再開されます。

バッテリーの注意点

Tericでも使用するリチウムイオン電池は、完全に放電してしまうと損傷を受ける可能性があります。Tericの内部は、完全に放電する前にバッテリーとの接続が切れるよう保護されています。しかし、それでも少量の自然放電が発生しています。そのため、充電せずに長期間保管している場合、完全放電を招き、その結果バッテリーが損傷を受ける可能性があります。

バッテリーの損傷を防ぐためにも、次のことを行ってください。

- 1) 保管前にTericをフル充電にする
- 2) 6ヶ月毎にTericのバッテリーを充電する

充電時間

Tericは、USB壁面コンセントアダプターまたはコンピュータで充電できます。充電時間は、急速充電で約1.5時間、通常で3～4時間かかります。

バッテリー切れについて

設定

全ての設定は永久に保持され、バッテリーが切れても設定が失われることはありません。

時計 (Clock)

Tericの全電力が失われると、時計 (時刻と日付) のデータが消失します。

バッテリーが充電されたら、設定 (Settings) > 時計メニュー (Watch Menu) で時計をアップデートする必要があります。

Tericでは、時間管理のために高精度な水晶振動子を使用しています。予想される誤差は1ヶ月で1分です。誤差に気付いた場合は、設定 (Settings) > 時計メニュー (Watch menu) で簡単に修正できます。

減圧組織の負荷

反復潜水の途中でバッテリーが切れた場合、減圧組織の負荷が消失します。

それに応じて反復潜水を計画してください。

減圧組織がリセットされる際は、以下の項目もリセットされます。

- ・ 不活性ガスの組織負荷は現在の気圧下の空気で飽和した状態にリセット
- ・ CNS酸素中毒は0%にリセット
- ・ 水面休息時間は0にリセット



16. トラブルシューティング

次のガイドラインを読んで、Tericの問題解決に役立ててください。

16.1. 警告と情報表示

以下の表に警告およびエラー、情報通知、その意味、対処策が記載されています。

優先度が高い通知から順に挙げています。複数の警告が同時に発生した場合は、優先度が最も高いエラーが表示されません。INFOボタンを押してエラーをクリアすると、次のエラーが表示されます。

詳細は、22ページの「警報」セクションをご覧ください。


Shearwaterへのお問い合わせ

次の一覧には、全ての警告、エラー、通知が挙げられているわけではありません。何らかの不測のエラーが生じた場合は、Shearwater (info@shearwater.com) までご連絡ください。

ディスプレイ	意味	対処策
	PP02の値が、PP02限界値メニューで設定された限界値よりも低い。	呼吸するガスを、現在の深度で安全なものに交換してください。
	PP02の値が、PP02限界値メニューで設定された限界値よりも高い。	呼吸するガスを、現在の深度で安全なものに交換してください。
	必要な減圧停止に違反した。	現在表示されている停止深度より深く潜降してください。減圧症 (DCS) の症状がないか観察してください。次回以降の反復潜水では保守性を高めに設定してください。
	10m/分 (33ft/分) 以上の速度を維持して浮上した。	浮上速度を遅くしてください。減圧症 (DCS) の症状がないか観察してください。次回以降の反復潜水では保守性を高めに設定してください。
	内蔵バッテリーの残量が低下した。	バッテリーを充電してください。
	減圧組織での不活性ガスの負荷がデフォルトにリセットされた。	それに応じて反復潜水を計画してください。
	中枢神経系 (CNS) 酸素中毒クロックが150%を超えた。	低いPP02のガスに交換するか、浅場に浮上してください (減圧シーリングが許可される限り)。
	中枢神経系 (CNS) 酸素中毒クロックが90%を超えた。	低いPP02のガスに交換するか、浅場に浮上してください (減圧シーリングが許可される限り)。



ディスプレイ	意味	対処策
 + 	タンクの圧力が危険な圧力値以下に低下した。	ガス欠になるのでご注意ください。ダイビングの終了に向けて取り掛かり、水面まで安全に浮上します。
 + 	タンクの圧力が予備残圧の設定値以下に低下した。	ガス欠になるのでご注意ください。ダイビングの終了に向けて取り掛かり、水面まで安全に浮上します。
 + 	トランスミッターのバッテリー残量が少ない。	トランスミッターのバッテリーを交換してください。85ページの「トランスミッターのバッテリー交換」をご覧ください。
	減圧停止が必要。OC Recモードのみ。	指示通り、減圧停止を行ってください。
	NDLが5分未満になった。OC Recモードのみ。	減圧義務を回避するために、すぐに浮上してください。
 + 	30秒～90秒間応答がない。	84ページの「AIの接続性の問題」をご覧ください。
 +  + 	90秒以上応答がない。	84ページの「AIの接続性の問題」をご覧ください。
	水面にいるときGTRが機能しない。	なし。GTRはダイビング中に表示されます。

ディスプレイ	意味	対処策
	ダイビングの最初の数分間、GTR（およびSAC）が表示されない。	なし。数分後、データが十分に取得できてから表示されます。

16. 2. AIの接続性の問題

「応答なし (No Comms)」が表示された場合は、次のステップに従ってください。

「応答なし (No Comms)」が表示され続ける場合

AIセットアップ (AI Setup) ⇔ T1/T2セットアップ (T1/T2 Setup) メニューに進み、シリアルナンバーが正しく入力されているか確認します。

トランスミッターがファーストステージに接続されて電源が入っており、タンクのバルブが開いているか確認します。3.5 Bar (50 PSI) を超える高圧が加わった場合のみ、トランスミッターの電源が入ります。トランスミッターは、圧力を検知しなくなってから2分後に電源が切れます。トランスミッターの受信領域内 (1 m/3 ft) に端末を移動させます。トランスミッターまでの距離が近すぎても (5 cm/2 インチ未満) 応答しなくなります。

「応答なし (No Comms)」が断続的に表示される場合

HIDランプ、スクーター、フラッシュなど無線周波 (RF) の電波干渉源がないか探します。そうした干渉源を取り除くことで接続の問題が解決されるか確認します。

- トランスミッターと端末との距離を確認します。ダイビング中に受信範囲にドロップアウトが生じている場合は、トランスミッターを高圧ホースに近づけることで、トランスミッターと端末との距離を縮められます。



17. 保管とメンテナンス

Tericダイブコンピュータおよびトランスミッターは、乾燥した清潔な場所に保管するようにしてください。

ダイブコンピュータに塩分やゴミなどが付着したままにならないよう、真水でしっかりと洗い流してください。

深度センサーにダメージを与える可能性があるため、高圧の水流では洗わないでください。

ダイブコンピュータにダメージを与える可能性があるため、洗剤やその他の化学薬品は使用しないでください。自然乾燥させてから保管してください。

ダイブコンピュータおよびトランスミッターは、直射日光のあたらない涼しく乾いた埃の無い環境で保管してください。紫外線や放射熱に直接さらされることがないようにしてください。

17.1. トランスミッターのバッテリー交換

トランスミッターのバッテリーの種類は、3Vリチウム電池CR2です。

1. コインを用いて反時計回りに回し、キャップを緩めます。
2. 使用済みバッテリーを取り出したら、リチウム電池に関する地方条例に従って廃棄してください。
3. プラス側から先に新しいバッテリーを差し込みます。
4. Oリング（サイズ：AS568-016、ニトリルA70）を交換したら、シリコン油を軽く塗って潤滑します。Oリングを装着する際は、コインの差し込み側から縁の上に重ねます。ネジ山には重ねないようにしてください。
5. バッテリーキャップを時計回りに回して閉めます。始めはゆっくりと回し、ネジ山がキャップのネジ山とずれないようにします。キャップは適切に装着すると、ケースとぴったり重なります。

18. サービス

Tericまたはトランスミッターの内部には、ユーザーが修理できる部分は一切ありません。表面のネジを締めたり外したりしないでください。水のみで洗浄してください。種類を問わず全ての溶剤がTericダイブコンピュータにダメージを及ぼす可能性があります。

Shearwater Tericの修理が行えるのは、メーカーまたは認定サービスセンターのみとなります。

修理の依頼は、Info@shearwater.comまでご連絡ください。

不正使用が判明した場合は、保証の対象外となります！

19. 用語集

CC - クローズドサーキット。リブリーザーを使用するスクーバダイビング。呼気から二酸化炭素を除去して再循環させる。

GTR - タンク内の残圧時間。水面まで直接浮上する場合に、予備残圧で浮上することになるまで現在の深度およびSACレートにとどまっていられる時間（分）です。

NDL - 無減圧潜水限界。強制減圧停止が必要になるまで現在の深度に滞在してもよい時間（分）です。

O₂ - 酸素ガス。

OC - オープンサーキット。ガスを水中に排出するスクーバダイビング（大部分のダイビング）。

PPO₂ - 酸素分圧。「PP02」とも言う。

RMV - 毎分換気量。1絶対圧とした場合のガス消費量として測定されるガスの使用率。単位は Cuft/分または L/分を使用。

SAC - 水面空気消費量。1絶対圧（すなわち水面圧力）とした場合の残圧の変化率として測定されるガスの使用率。単位はPSI/分またはBar/分を使用。



20. Tericの仕様

仕様	Teric
作動モード	OC Tec OC Rec CC/B0 (内部PP02) ゲージ フリーダイビング
減圧モデル	ビュールマングラディエントファクター ZHL-16C
ディスプレイ	フルカラー、1.39インチ丸型400x400 AMOLED
圧力(深度)センサー	ピエゾ抵抗
キャリブレーション範囲	0~14bar
精度	+/-20mBar (水面で) +/-100mbar (14barで)
破壊限界深度	20 Bar (~200msw)
水面圧力範囲	500~1040mBar
ダイビング開始深度	1.6m (フリーダイビングモードで調整可)
ダイビング終了深度	0.9m (フリーダイビングモードで調整可)
作動温度範囲	+4~+32°C
短時間(数時間)の温度範囲	-10~+50°C
長時間保存の温度範囲	+5~+20°C
バッテリー	充電式リチウムイオン電池
バッテリー作動寿命	50時間以上 (ダイビングモード) 3ヶ月 (待機モード)
通信	Bluetooth Smart
コンパス分解能	1°
コンパス精度	±5°
コンパス傾斜補正	あり。45°ピッチ角とロール角

Tericの仕様 (続き)

ダイブログ容量	10秒間隔のログ頻度で400時間超の詳細なログが可能 基本ログで2000ダイブ
手首アタッチメント	22mm幅シリコンバンド
重量	120g
サイズ (幅 x 横 x 縦)	54.5mm x 53.5mm x 17.5mm





21. AIトランスミッターの仕様

仕様	トランスミッター
通信距離	3 ft (1 m)
耐圧水深	500 ft (150 m)
圧力範囲	0~300 Bar (0~4350 PSI)
圧力分解能	1 Bar (2 PSI)
作動温度	-6° C~60° C (22° F~140° F)
サイズ	2.95インチ (L) x 1.38インチ (直径) 75mm (L) x 35mm (直径)
重量	116g (0.261bs)
梱包サイズ	3.74” (横) x 2.56” (幅) x 2.17” (縦) 95mm (横) x 65mm (幅) x 55mm (縦)
梱包重量	180g (0.40ポンド)
バッテリーの種類	リチウム電池CR2 ユーザーによる交換可能
バッテリー寿命	1日あたり1時間のダイビング2本で300潜水時間 寿命：最大5年 年1回の交換推奨
バッテリー警告レベル	警告 (黄色) < 2.75V 危険 (赤色) < 2.50V
バッテリーキャップの0リング	サイズ：AS568-016、ニトリル (ブナ-N) A70
高圧用継手	7/16” UNF
高圧0リング	サイズ：AS568-012、パイトン TM 製
電源投入時	圧力 > 8 Bar (120 PSI) バッテリー > 2.75 V
電源切断時	圧力 > 2 分間で 4 Bar (50 PSI)
オーバープレッシャーリリーフバルブ	搭載

22. 規制情報

A) アメリカ合衆国連邦通信委員会 (FCC)

本機は、FCC規則パート15に従い、デジタル機器クラスBの制限に準拠することが試験で確認されています。これらの規制は、住宅に設置した状態で、有害な干渉から適切に保護されるよう規定されています。本機は電磁波を発生、使用、および放射することがあります。説明書に従った設置や使用がなされない場合、無線通信に対して有害な干渉が発生する場合があります。ただし、特定の設置状況においてそのような干渉が起こらないことを保証するものではありません。

本機がラジオやテレビの受信に有害な電磁干渉を引き起こしている場合は（電源をオンオフすることで確認できます）、次のいずれかの方法をいくつか実施して、干渉状態の解決を試みるようお勧めします。

- ・ 受信アンテナの方向または位置を変える
 - ・ 本機と受信装置との距離をより開ける
 - ・ 本機を受信装置が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続する
 - ・ ディーラーまたは経験豊富なラジオやテレビ技術者に相談する
- 規定遵守の責務を有する組織からの明示的な承認がないにもかかわらず、機器の変更または改造を行った場合、ユーザーはこの機器を操作する権利を失うこととなります。

注意：高周波照射に対する暴露

本機は、他のアンテナや送信機に接続して置いたり、操作したりしないでください。

Tericダイブコンピュータは、TX FCC ID:2AA9B05を内蔵しています。

海洋残圧システムトランスミッターは、TX FCC ID:MH8Aを内蔵しています。

B) カナダ産業省 (IC)

本機はカナダ産業省のRSS 210に準拠しています。

動作は以下の2つの条件に準拠しています。

- (1) 本機によって、有害な干渉が発生することはありません。また、
- (2) 本機は、不慮の動作を引き起こす可能性がある干渉も含め、全ての干渉に対応しなければなりません。

L 'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes :

- (1) il ne doit pas produire d'interférence, et
- (2) l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter toute interférence radioélectrique reçue, même si celle-ci est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

注意：高周波照射に対する暴露

この電波を発生する器材の使用者は、一般人のために、アンテナがカナダ保健省の規制を超えるRFフィールドを出さない場所または方向にあるか確認しなければなりません。安全コード6については、カナダ保健省のウェブサイトにてご確認ください。

Tericダイブコンピュータは、TX IC:I2208A-05を内蔵しています。

C) EU指令

- ・ ガス圧力検知部品は、EN250:2014の条項6.11.1に定義されている呼吸装置の要件、テスト、マークに準拠。エアに用いる圧力インジケータは、EN12021基準に準拠（酸素濃度21%）。SGS United Kingdom Limitedより認証済みです。SGS社所在地：202b, Worle Parkway, Weston-super-Mare, BS22 6WA, United Kingdom. 公認機関：0120

・ 深度および時間計測機器は、EN13319:2000に定義されているダイビングアクセサリの深度計測ならびに深度と時間を併せて監視する機器に準拠します

- ・ 電磁適合性は、EN61000-6-3:2007+A1:2011の放射妨害波およびEN61000-6-1:2007の電磁環境耐性に準拠します

・ EU適合宣言はこちらよりご覧いただけます：<https://www.shearwater.com/wp-content/uploads/2017/10/CE-conformity.pdf>

・ EUにおける正式代表者：B. Hudson, Machinery Safety and Compliance Services Ltd, 15 Bentley Court Rd, Paterson Rd, Wellingborough, UK, NN8 4BQ



23. お問い合わせ

本社
13155 Delf Place, Unit 250
Richmond, BC
V6V 2A2
電話 : +1.604.669.9958
info@shearwater.com

USサービスセンター
DIVE-Tronix, LLC.
Snohomish, WA, USA
電話 : +1.858.775.4099
usaservice@shearwater.com

EUサービスセンター
Narked at 90 Ltd
15 Bentley Court,
Paterson Rd,
Wellingborough,
Northants, UK
NN8 4BQ

電話 : +44.1933.681255
info@narkedat90.com

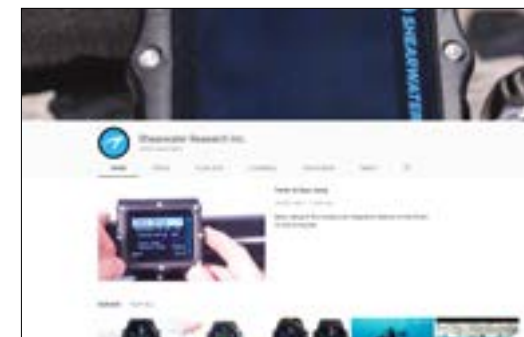
アジア太平洋サービスセンター
Rob Edward
Wellington, NZ
電話 : +64.21.61535378
asiapacservice@shearwater.com



www.shearwater.com



www.facebook.com/DiveShearwater



www.youtube.com/shearwaterresearch